



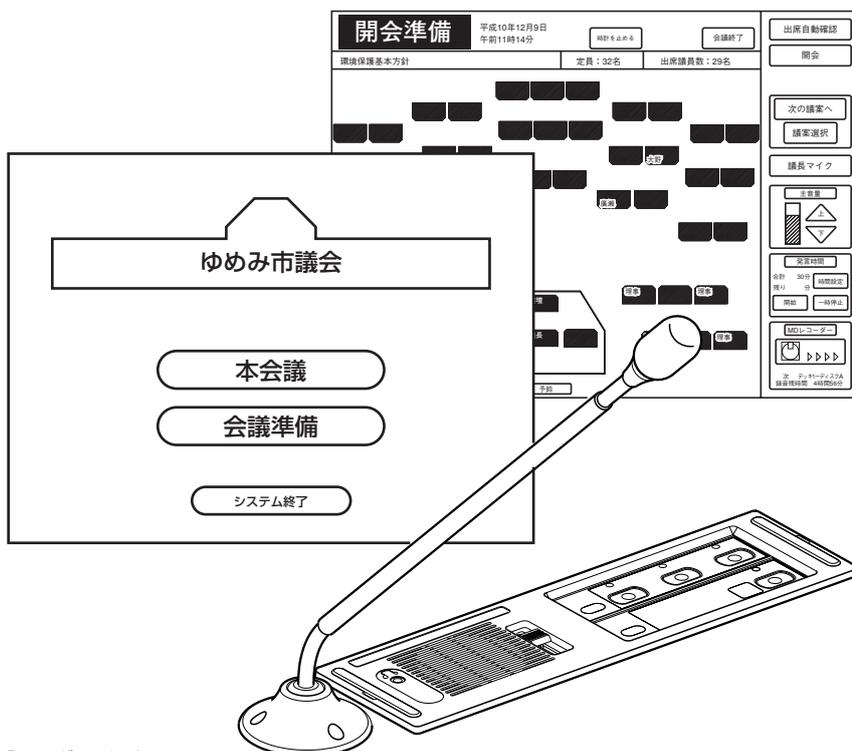
# Victor

## 取扱説明書

1. 議場システムについて
2. 議場システムの操作について
3. 議場システムの電源の入れかた
4. 会場の準備を行うには
5. 開会の準備を行うには
6. 開会するには
7. 休憩に入るには
8. 投票を行うには
9. 散会／延会／閉会するには
10. 議場システムの電源の切りかた
11. エラーメッセージと対処法
12. システムダウンなどの緊急時には
13. 非常放送時には
14. マスターターミナルユニットPM-T30の使いかた
15. メンバーターミナルユニットPM-T31の使いかた
16. MDレコーダーPM-R30の動作について
17. MDレコーダーPM-R30の単独動作モードでの使いかた
18. 主な仕様

## 議場システム

# PM-3000シリーズ



—お買い上げありがとうございます—

ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。  
そのあと、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときお読みください。

私たちは環境・資源をたいせつにしています。  
この取扱説明書は再生紙(古紙100%)を使用しています。

# もくじ 取扱説明書

---

正しくお使いいただくために

1	議場システムについて	1-1
1.1	議場システムの構成機器について	1-1
1.2	システムコントローラー <b>PM-M330</b> の各部のなまえとはたらき	1-4
1.3	MD レコーダー <b>PM-R30</b> の各部のなまえとはたらき	1-5
1.4	マスターターミナルユニット <b>PM-T30</b> の各部のなまえとはたらき	1-8
1.5	メンバーターミナルユニット <b>PM-T31</b> の各部のなまえとはたらき	1-9
1.6	モニターターミナルユニット <b>PM-T32</b> の各部のなまえとはたらき	1-11
2	議場システムの操作について	2-1
2.1	議場システムの操作手順の概要	2-1
2.2	タッチパネルディスプレイについて	2-4
3	議場システムの電源の入れかた	3-1
3.1	議場システムの電源の入れかた	3-1
3.2	コントロールソフトウェアを起動する	3-2
4	会議の準備を行うには	4-1
4.1	登録および点検を行う	4-3
4.1.1	議案を登録するには	4-3
4.1.2	発言時間を登録するには	4-6
4.1.3	パソコン (PC) 内時計を調整するには	4-11
4.1.4	議員名を変更するには	4-13
4.1.5	ターミナルユニットのマイク音量を調整するには	4-16
4.1.6	定員を変更するには	4-18
4.1.7	主音量のボリュームを設定するには	4-20
4.1.8	ターミナルユニットの自動点検を行うには	4-22
4.2	MD レコーダー <b>PM-R30</b> の準備	4-25
5	開会の準備を行うには	5-1
5.1	出席者を登録するには	5-3
5.2	議長のマイクを入/切するには	5-5
5.3	発言時間を変更するには	5-6
5.4	議案を変更するには	5-10
5.5	他の機器を制御するには	5-13
5.6	主音量を調整するには	5-14
5.7	開会準備画面における MD レコーダー <b>PM-R30</b> について	5-15
6	開会するには	6-1
6.1	ターミナルユニットのマイクを入/切するには	6-3
6.1.1	ターミナルユニットのマイクを入れるには	6-3
6.1.2	ターミナルユニットのマイクを切るには	6-4
6.1.3	発言を一斉に取り消すには	6-5
6.1.4	ターミナルユニットのスイッチ操作を受け付ける	6-6
6.2	発言残時間を表示するには	6-7
6.2.1	発言残時間の減算を開始するには	6-7
6.2.2	発言残時間の減算を終了するには	6-9
6.2.3	発言残時間の減算を一時停止/続行するには	6-10
6.2.4	発言時間を変更するには	6-11

# もくじ (つづき) 取扱説明書

---

6.3 議案を変更するには	6-15
6.4 他の機器を制御するには	6-18
6.5 時計を停止するには	6-19
6.6 開会中に出席を登録するには	6-20
6.7 主音量を調整するには	6-23
6.8 開会中画面における MD レコーダー <b>PM-R30</b> について	6-24
<b>7 休憩に入るには</b>	<b>7-1</b>
7.1 再開時刻を表示するには	7-3
7.2 再開するには	7-5
7.3 議長のマイクを入/切するには	7-6
7.4 発言時間を変更するには	7-7
7.5 議案を変更するには	7-11
7.6 他の機器を制御するには	7-14
7.7 休憩中に出席を登録するには	7-15
7.8 主音量を調整するには	7-18
7.9 休憩中画面における MD レコーダー <b>PM-R30</b> について	7-19
<b>8 投票を行うには</b>	<b>8-1</b>
8.1 投票を行うには	8-1
8.1.1 議長のマイクを入/切するには	8-3
8.1.2 議案を変更するには	8-4
8.1.3 他の機器を制御するには	8-6
8.1.4 投票前に出席を登録するには	8-7
8.1.5 投票前における MD レコーダー <b>PM-R30</b> について	8-9
8.2 投票を開始するには	8-13
8.2.1 投票結果を受信する	8-15
8.2.2 議長のマイクを入/切するには	8-16
8.2.3 他の機器を制御するには	8-17
8.2.4 投票中における MD レコーダー <b>PM-R30</b> について	8-18
8.3 投票を締め切るには	8-22
8.3.1 議場内表示、議長向け表示に投票結果を表示するには	8-24
8.3.2 議長裁決を行うには	8-25
8.3.3 もう一度投票を行うには	8-26
8.3.4 投票を終了するには	8-27
8.3.5 議長のマイクを入/切するには	8-28
8.3.6 議案を変更するには	8-29
8.3.7 他の機器を制御するには	8-31
8.3.8 投票後に出席を登録するには	8-32
8.3.9 投票後における MD レコーダー <b>PM-R30</b> について	8-34
<b>9 散会/延会/閉会するには</b>	<b>9-1</b>
9.1 記録ファイルをフロッピーディスクに保存するには	9-4
9.2 会議を終了するには	9-9
9.3 閉会后における MD レコーダー <b>PM-R30</b> について	9-10
<b>10 議場システムの電源の切りかた</b>	<b>10-1</b>
10.1 コントロールソフトウェアを終了する	10-1
10.2 議場システムの電源の切りかた	10-3

# もくじ (つづき) 取扱説明書

---

11 エラーメッセージと対処法 .....	11-1
12 システムダウンなどの緊急時には .....	12-1
13 非常放送時には .....	13-1
14 マスターターミナルユニット PM-T30 の使いかた .....	14-1
14.1 発言するには .....	14-1
14.2 現在の発言を終了させるには .....	14-2
15 メンバーターミナルユニット PM-T31 の使いかた .....	15-1
15.1 発言するには .....	15-1
15.2 投票するには .....	15-2
16 MDレコーダー PM-R30 の動作について .....	16-1
16.1 議場システムでの動作 .....	16-1
16.2 録音済みディスクの交換 .....	16-6
16.3 フロントパネルでの操作のしかた .....	16-7
16.4 エラーメッセージとその対処法 .....	16-9
17 MDレコーダー PM-R30 の単独モードでの使いかた .....	17-1
17.1 単独モードとは .....	17-1
17.2 単独モード時の設定 .....	17-1
17.3 操作のしかた .....	17-2
18 主な仕様 .....	18-1
18.1 システムコントローラー PM-M330 .....	18-1
18.2 MDレコーダー PM-R30 .....	18-2
18.3 マスターターミナルユニット PM-T30 .....	18-3
18.4 メンバーターミナルユニット PM-T31 .....	18-5
18.5 モニターターミナルユニット PM-T32 .....	18-7
18.6 ジャンクションボックス PM-X30 .....	18-8
18.7 フレキシブルマイクロホン PM-TA1/TA2 .....	18-9
18.8 パワーサプライ TZ-51100 .....	18-10

## 保証とアフターサービス

# 正しくお使いいただくために

## ■ 安全上のご注意

### 絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。



**警告**

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



**注意**

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、または物的傷害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



⚠ 記号は、注意（警告を含む）を促す内容があることをお知らせするものです。図の中や近傍に具体的な注意内容が示されています。



⊘ 記号は、禁止の行為であることをお知らせするものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容が示されています。

### ⚠ 警告

- 万一、煙がでてい、へんなにおいがするときは、すぐに電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜くか、またはブレーカーを切る。その後、煙が出なくなるのを確認して、お買い上げ販売店または最寄のビクターサービス窓口にて修理をご依頼ください。



電源プラグをコンセントから抜くこと

- 電源コードの上に重い物をのせたり、電源コードの継ぎ足しはしない。火災や感電の原因となります。



- セット内部に触れることは危険なうえ故障の原因となります。内部の点検・調整は、お買い上げ販売店または最寄のビクターサービス窓口へお任せください。



分解禁止

- 機器の通風孔をふさがない。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり火災の原因になることがあります。



- 本機は日本国内専用です。必ず商用電源 AC100V 50/60Hz でご使用ください。



- 万一、水や異物が機器の内部に入った場合は、まず機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜くか、またはブレーカーを切る。その後、お買い上げ販売店または最寄のビクターサービス窓口にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



電源プラグをコンセントから抜くこと

- この機器の開口部（通風孔、MDの挿入口など）から内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落とし込んだりしない。火災・感電の原因となります。



- 万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜くか、またはブレーカーを切る。その後、お買い上げ販売店および最寄のビクターサービス窓口にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。



電源プラグをコンセントから抜くこと

- この機器を分解・改造しない。火災・感電の原因となります。



分解禁止

- この機器の上に花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器、または小さな金属物を置かない。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。



- 雷が鳴り出したら、機器に接続されている接続線（アンテナ線、電話線、その他の接続線）や電源プラグには触れない。感電の原因となります。



接触禁止

- モニターテレビなどの機器のふたは外さない。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は、お買い上げ販売店または最寄のビクターサービス窓口にご依頼ください。



■ 安全上のご注意 (つづき)

 注意

- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っぱらない。かならずプラグを持って抜いてください。
- 製品に悪い影響を与えますので、ほこりや振動の多い所には置かない。
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- 電源コードを熱器具に近付けない。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 機器間の接続線に足など引っかけないようご注意ください。つまずいてけがの原因となることがあります。
- 電源を入れる前には音量 (ボリューム) を最小にする。突然大きな音がでてスピーカーを破損したり聴力障害などの原因となることがあります。
- 電源コードは、本システムの各機器に付属の物を必ずお使いください。耐圧の異なるコードや、傷付いたコードを使用すると、火災や感電の原因になります。
- 機器に付属しているコードは、その機器以外で使わないでください。



- 電源コードの上に重いものを乗せたり、コードを本機の下敷きにししない。コードが傷付いて、火災、感電の原因となります。
- 長期間、この機器をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜くか、またはブレーカーを切る。
- お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜くか、またはブレーカーを切る。
- 移動させる場合は、電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線、機器間の接続線など外部の接続線を外す。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。感電の原因となることがあります。
- ヘッドホン、又はイヤホンをご使用になるときは、音量を上げすぎない。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。



電源プラグをコンセントから抜くこと



電源プラグをコンセントから抜くこと



電源プラグをコンセントから抜くこと

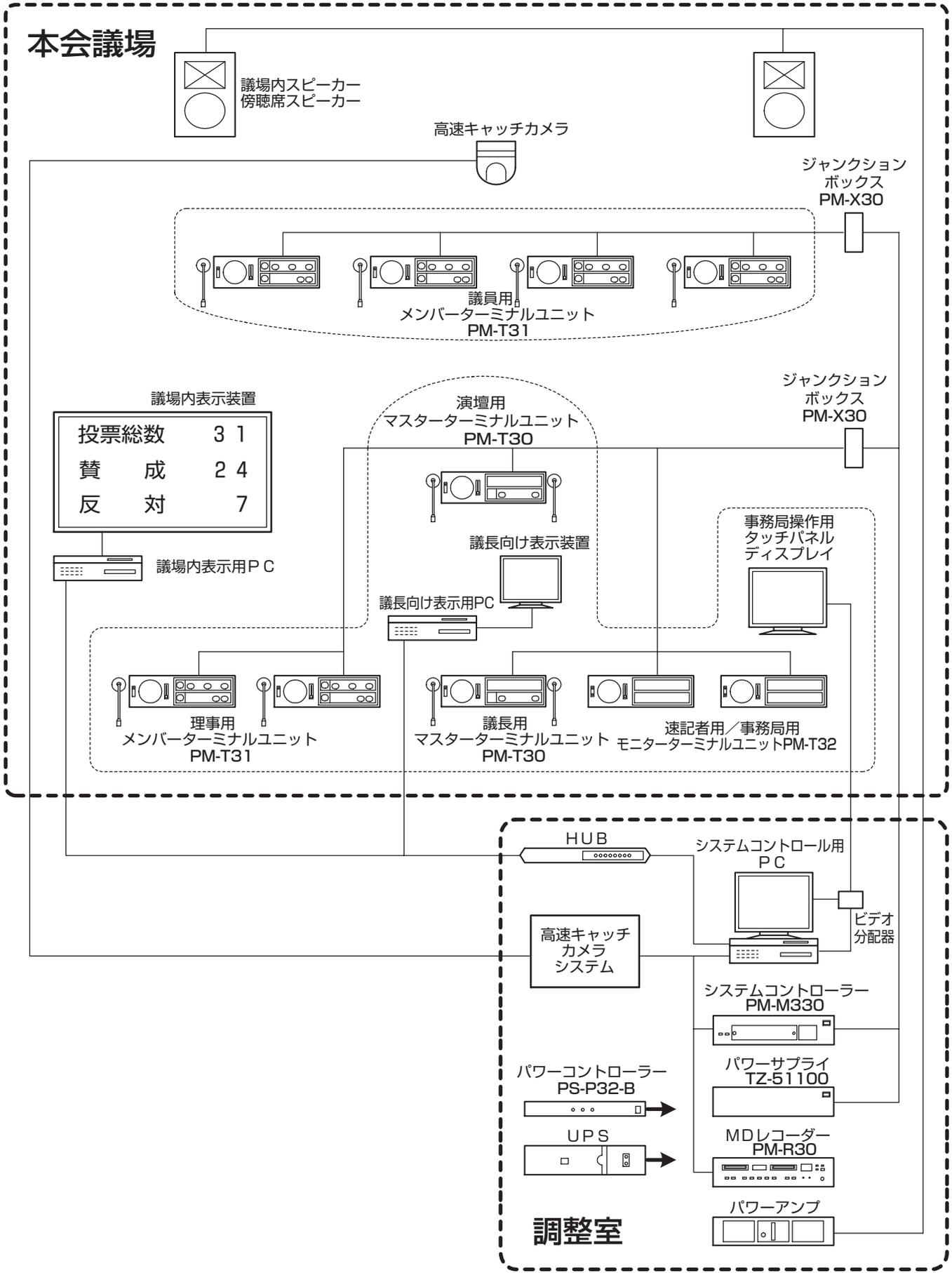


■ 使用上のご注意

- 無停電電源装置(UPS)内のバッテリーの充電が不足していると、万一のときに十分な停電保護ができません。バッテリーの充電は、無停電電源装置(UPS)が商用電源で入電しているとき行われますので、以下のことを守ってください。
  - (1) 配電盤のブレーカーなどによりシステム全体の電源を切る場合は、本書の「10. 議場システムの電源の切りかた」のように、無停電電源装置(UPS)の電源を切り、その後、配電盤のブレーカーを切ってください。
  - (2) 無停電電源装置(UPS)のバッテリーは自然放電しますので、長時間このシステムをご使用にならなかった場合は、使用の数時間前から電源を入れ無停電電源装置(UPS)のバッテリーを充電してください。(無停電電源装置(UPS)の仕様により、3~6ヶ月ごとに、数時間の充電を行なってください。)
- 機器を接続するときは、必ず電源を切った状態で行なってください。機器の故障や誤動作の原因となることがあります。

# 1. 議場システムについて

## 1.1 議場システムの構成機器について

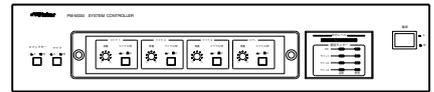


## 1.1 議場システムの構成機器について(つづき)

### ■ システムコントローラー PM-M330 EIA 2U

事務局が操作するタッチパネルディスプレイの指示に従い、ターミナルユニットPM-T30/T31/T32を制御するコントローラーです。

内部のデジタルミキサー(アナウンスプロセッサー、ハウリングサプレッサー等)により、ターミナルユニットのマイク、エアーマイクの音声を選択またはミキシングし、明瞭・快適な音に変換した後、ターミナルユニットのモニター、MDレコーダーPM-R30、パワーアンプへ出力します。

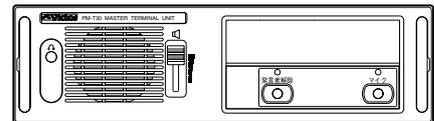


### ■ マスターターミナルユニット PM-T30

議長、事務局長、演壇(質問席)用のユニットです。

緊急用のサブマイクを装備できます。

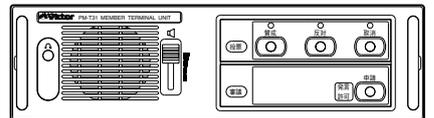
事務局の操作なしにすぐに議長以外のマイクをすべて切ることができる発言者解除ボタンを装備しています。



### ■ メンバーターミナルユニット PM-T31

議員、理事用のユニットです。

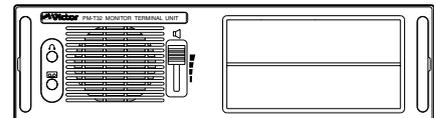
発言申請ボタンと投票用ボタンを装備しています。



### ■ モニターターミナルユニット PM-T32

事務局、速記者、傍聴者(聴覚障害者)、記者用のユニットです。

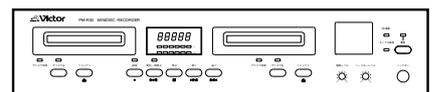
モニタースピーカーのほかヘッドホン出力、録音出力を装備しています。



### ■ MDレコーダー PM-R30 EIA 2U

議事録音用のダブルMDレコーダーです。

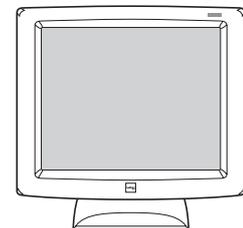
事務局の操作により、議場の発言内容を2枚のMDに交互録音するための長時間レコーダーです。



### ■ タッチパネルディスプレイ

事務局が操作するタッチパネルディスプレイです。

ターミナルユニットPM-T30/T31のマイクの入/切、出席の登録、休憩後の再開時刻の設定、議場内表示装置への表示、開会ブザーの鳴動、投票の開始や集計、MDレコーダーPM-R30の録音開始/停止等を操作できます。

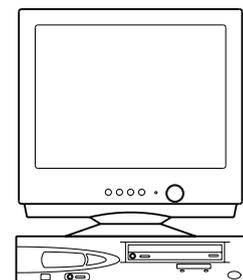


### ■ システムコントロール用PC

本議場システムの中心となるパソコン(PC)です。

タッチパネルディスプレイ、システムコントローラーPM-M330、MDレコーダーPM-R30、高速キャッチカメラシステムを制御します。

また、議案の登録、発言時間の設定、議員名の登録も本パソコンで行います。

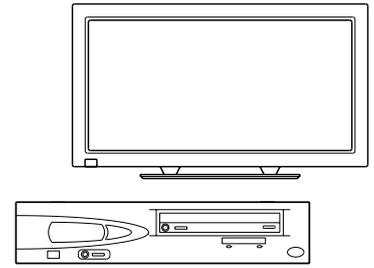


## 1.1 議場システムの構成機器について (つづき)

### ■ 議場内表示用 PC

#### ■ 議場内表示装置

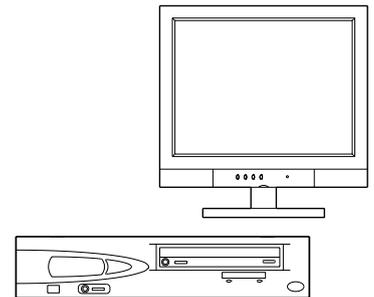
発言残時間、休憩後の再開時刻、投票結果、出席議員数を表示します。



### ■ 議長向け表示用 PC

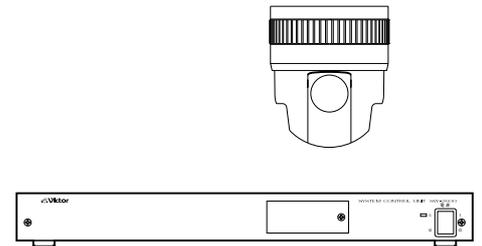
#### ■ 議長向け表示装置

議場内表示装置に表示する内容のほかに、発言中の議員名、発言申請中の議員名、議案を表示します。



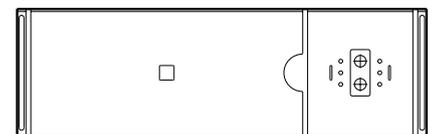
### ■ 高速キャッチカメラシステム

発言者の映像を瞬時にとらえるカメラシステムです。  
ターミナルユニットPM-T30/T31のマイクを入れることにより、自動的にカメラが発言者をとらえます。



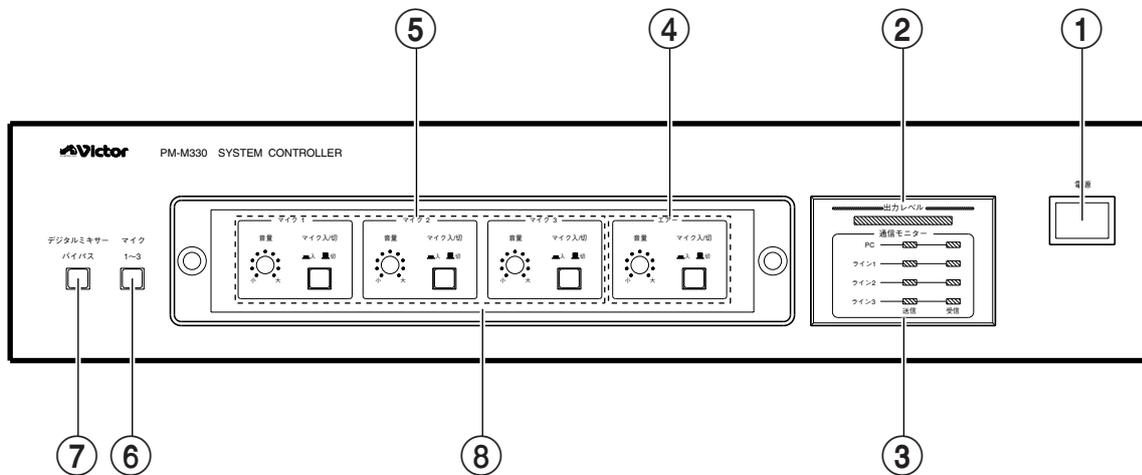
### ■ 無停電電源装置 (UPS)

停電時に、システムコントローラーPM-M330、MDレコーダーPM-R30、システムコントロール用PC、議場内表示用PC、議長向け表示用PCへ電源(AC100V)を供給するためのユニットです。



## 1.2 システムコントローラーPM-M330の各部のなまえとはたらき

### ■ フロントパネル



#### ① 電源

押すごとに電源の入／切を交互に繰り返します。入電の時、内蔵ランプが点灯します。

標準的な電源の接続になっている場合、このスイッチにより、パソコン等を除いて、システム全体の電源をコントロールできます。

#### ② 出力レベル

ターミナルユニットPM-T30/T31/T32へ出力する音声（会議ラインのモニター音声）のレベルを表示します。定格レベルでは緑のランプ4個が点灯します。

#### ③ 通信モニター

パソコン（PC）、ターミナルユニットPM-T30/T31（ライン1～3）との通信の状態を表示します。本機がデータを送信している時は緑、受信している時は赤のランプが点灯します。システムのメンテナンスチェック用です。

#### ④ エアー

エアーモニター用マイクの音量ボリュームと入／切スイッチです。入の時はスイッチの内蔵ランプが点灯し、動作中であることを知らせます。

#### ⑤ マイク1、マイク2、マイク3

サブマイクの音量ボリュームとスイッチです。

#### ⑥ マイク1～3

⑤マイク1、2、3の一括操作スイッチです。

#### ⑦ デジタルミキサーバイパス

本機内のデジタルミキサーをバイパスします。

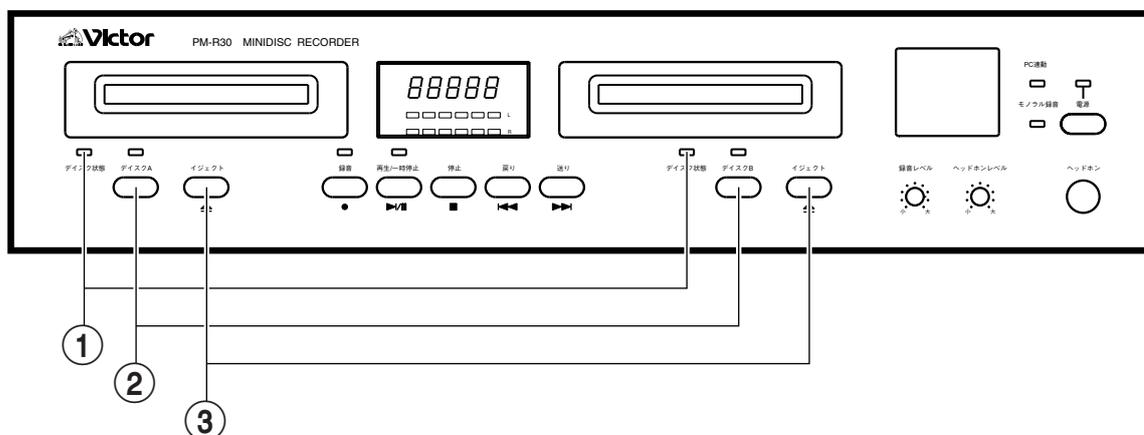
緊急の時は⑥、⑦両方を入（点灯）にしてください。システムコントロール用PCの操作なしに、サブマイクの音がパワーアンプに接続されたスピーカーから出ます。

#### ⑧ アクリルカバー

誤操作防止用カバーです。

# 1.3 MD レコーダー PM-R30 の各部のなまえとはたらき

## ■ フロントパネル



### ① ディスク状態表示ランプ

- ディスクがないとき消灯
- 録音可能なとき ..... 緑点灯
- 録音不可能のとき ..... 赤点灯

**ご注意**  
 PC 連動での録音や単独動作での連続録音は、ブランクディスクのみ使用可能です。  
 PC 連動ランプが点灯したときに、ディスク状態表示ランプが緑から赤に変わるディスクは、使用できません。  
 本機は議事録音用としての使用を考慮し、一部でも使用されているディスクは録音できなくなっていますので、PC 連動で使用されるときや単独使用の連続録音を行うときは、ブランクディスクであることの確認を行ってください。

### ② ディスクドライブ A, B 選択ボタンと表示ランプ(選択時緑点灯)

ディスクドライブ A または、B のボタンで使用するディスクドライブを選択します。

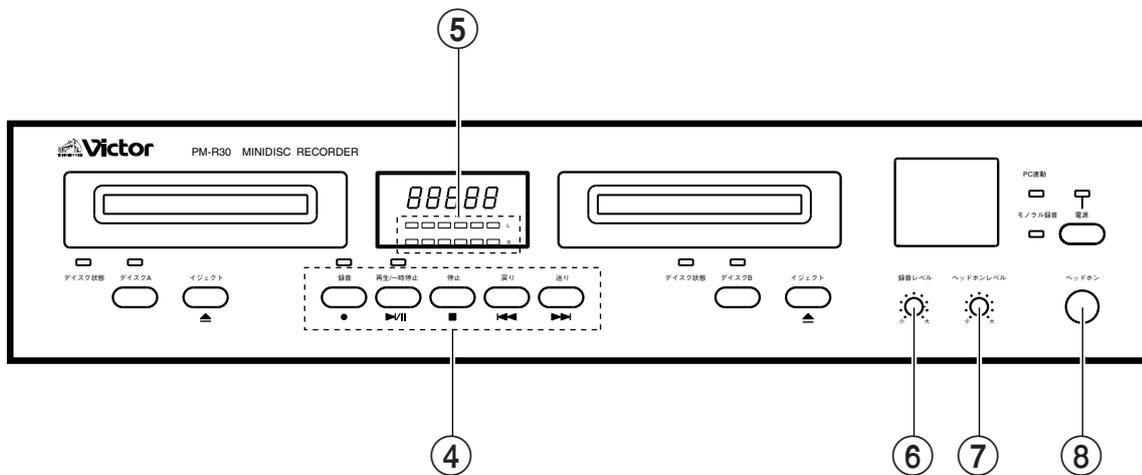
### ③ イジェクトボタン

ディスクを本機から取り出すときに押します。

**ご注意**  
 ディスクドライブが動作中は、ディスクの取り出しはできません。  
 操作は停止中に行ってください。

## 1.3 MDレコーダーPM-R30の各部のなまえとはたらき(つづき)

## ■ フロントパネル (つづき)



## ④ ディスクドライブ操作ボタン

## (1) 録音ボタン (●)

録音を行うときは、録音ボタンを押した後に、再生/一時停止ボタンを押します。  
録音時は、ボタン上の表示が赤く点灯します。

## (2) 再生/一時停止ボタン (▶/||)

MDの再生および録音開始と一時停止を行います。録音、再生時はボタンの上の表示が緑色に点灯、一時停止時は点滅します。

## (3) 停止ボタン (■)

録音や再生を停止するときに押します。

## (4) 戻しボタン (◀◀)

停止中、録音番号を選ぶときに押し、1回押すごとに録音番号が1つずつ減少します。

## (5) 送りボタン (▶▶)

停止中、録音番号を選ぶときに押し、1回押すごとに録音番号が1つずつ増加します。

## ⑤ レベルメーターL,R

録音入力レベルと再生時の音声出力レベルを表示します。  
赤色のランプが1個点灯した状態が、最大入力レベルです。

## ⑥ 録音レベルボリューム

本機を単独で使用する時、録音入力レベルを調整します。⑤のレベルメーターの赤色のランプが点灯しないレベルでご使用ください。

PC連動時にはこのボリュームは機能しません。

## ⑦ ヘッドホンレベルボリューム

録音と再生のモニターができます。

⑧のヘッドホン端子の出力レベルの調整を行います。

## ⑧ ヘッドホン端子

ヘッドホンを接続します。

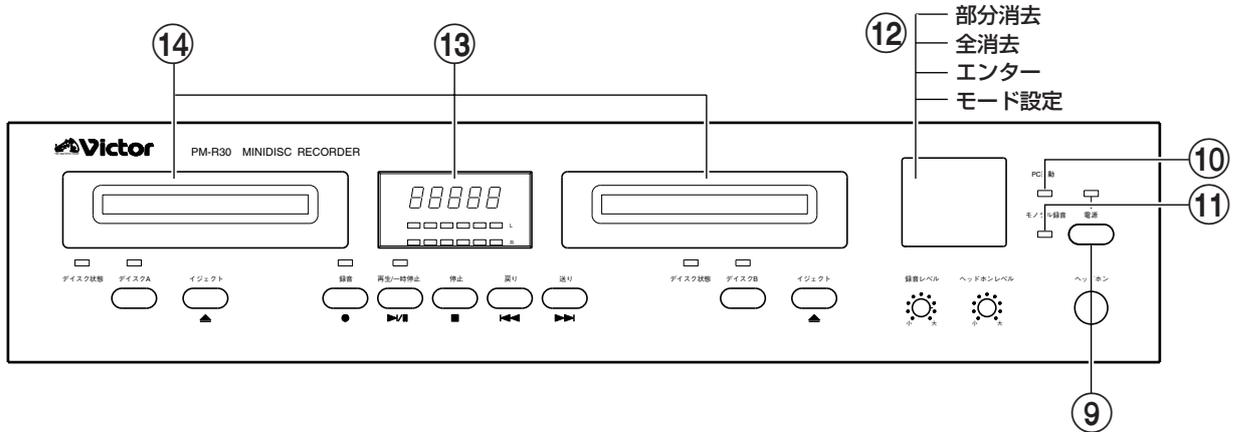
(適合負荷：8Ω以上 適合プラグ：ステレオ標準プラグ[φ6.3])

## ご注意

大音量で耳をいためないよう、接続するときや電源を入れるときは⑦のヘッドホンレベルボリュームを下げ、ヘッドホンをつけない状態で行ってください。

# 1.3 MDレコーダー PM-R30 の各部のなまえとはたらき (つづき)

## ■フロントパネル (つづき)



### ⑨ 電源ボタンと電源表示ランプ

電源を切るときに押します。  
 電源入り..... 緑色点灯  
 電源切り..... 赤色点灯

**ご注意**  
 MD が動作中は電源を切ることができません。  
 必ず停止中に行ってください。

### ⑩ PC連動表示

開会中など、PC から制御されているときランプ (緑) が点灯します。

**ご注意**  
 PC 連動動作時には手動操作はできません。停止時のディスク交換のみ可能です。

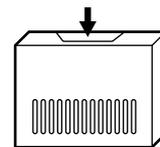
### ⑪ モノラル録音表示

モノラル録音 (長時間モード) 中に、ランプ (緑) が点灯します。

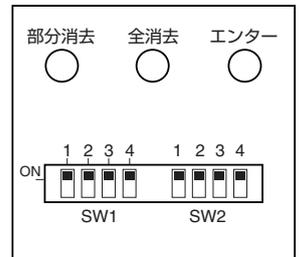
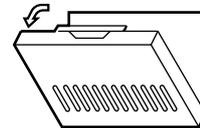
### ⑫ ポケット内操作ボタンとスイッチ

- (1) 部分消去ボタン  
 指定した録音番号を消去するときに使用します。
- (2) 全消去ボタン  
 ディスクに録音されている内容を全て消去し空白ディスクにします。
- (3) エンターボタン  
 部分消去と全消去の実行ボタンです。
- (4) モード設定スイッチ  
 本機の動作モード設定を行います。

ポケットカバーのはずしかた



ペン先でロック部を押しながら軽く手前に引いてください。ロックがはずれます

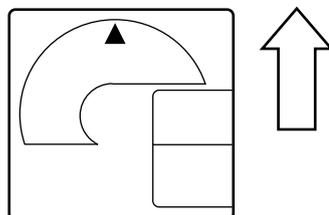


### ⑬ 録音残り時間／録音番号表示

録音時には録音残り時間、再生時には録音番号を表示します。

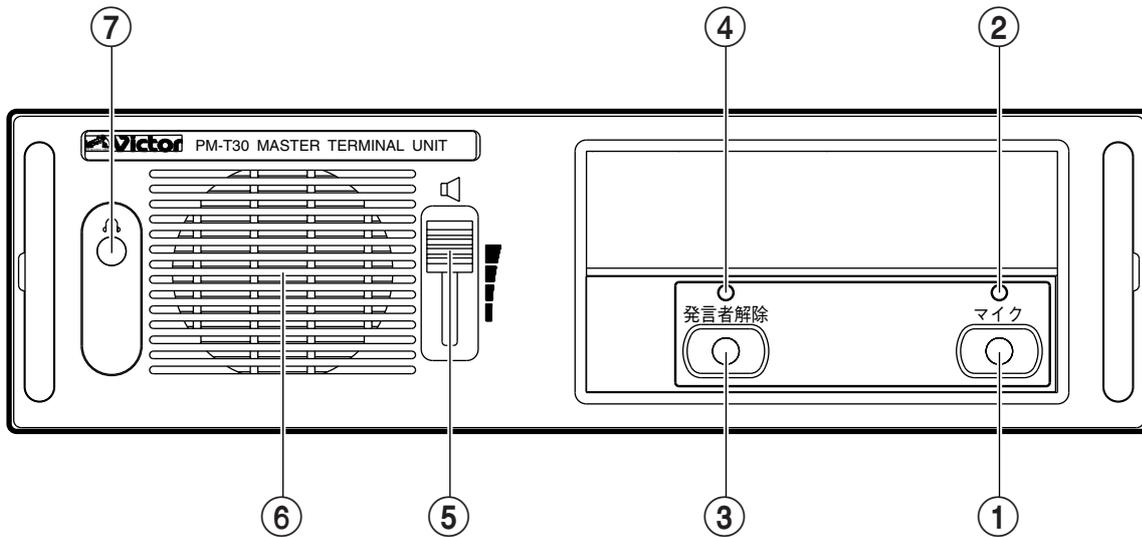
### ⑭ ディスク挿入口

図の方向にディスクをいれます。



## 1.4 マスターターミナルユニットPM-T30の各部のなまえとはたらき

## ■ メインパネル



## ① マイクボタン(黄)

発言するときに押します。

マイクランプ(緑)が点灯し、マイクが入ります。

マイクランプ(緑)が点灯中に押すと、マイクが切れマイクランプ(緑)が消灯します。

## ② マイクランプ(緑)

発言できるときに点灯します。

## ③ 発言者解除ボタン(赤)

議長以外の発言許可を解除させる時に押します。

発言者解除ランプ(緑)が点灯し、議長以外のマイクが切れます。

## ④ 発言者解除ランプ(緑)

発言者解除ボタンを押したときに点灯します。(約5秒点灯した後、消灯します。)

## ⑤ モニターボリューム

モニタースピーカーの音量を調節します。

ヘッドホンを使用しているときは、ヘッドホンの音量を調節します。

## ⑥ モニタースピーカー

発言者の声が聞こえます。

音量はモニターボリュームで調節できます。

ヘッドホン端子を使用しているときは聞こえません。

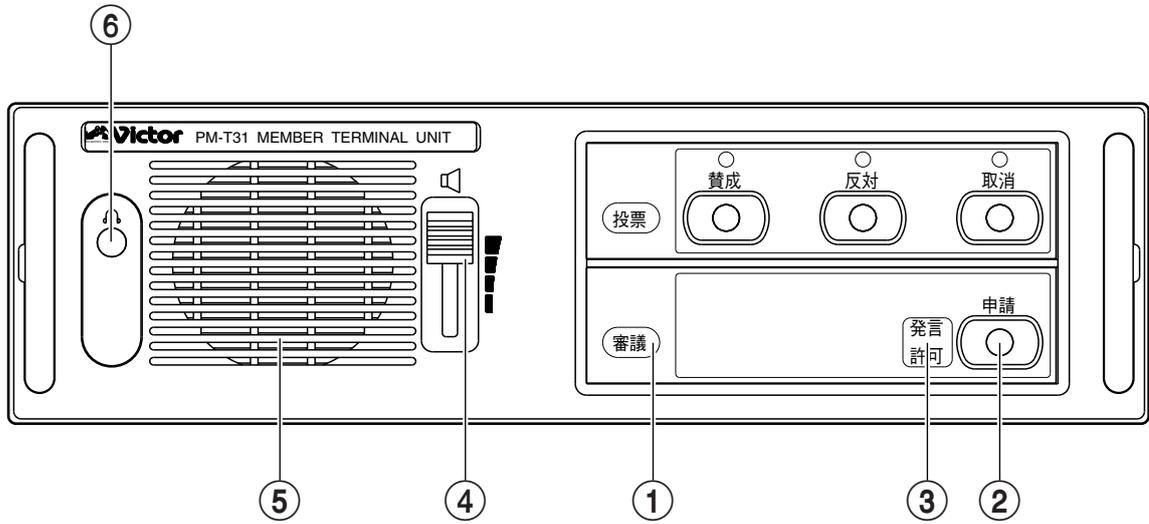
## ⑦ ヘッドホン端子

ヘッドホンを接続します。

(適合負荷：8Ω以上 適合プラグ：ステレオミニプラグ[φ3.5])

## 1.5メンバーターミナルユニットPM-T31の各部のなまえとはたらき

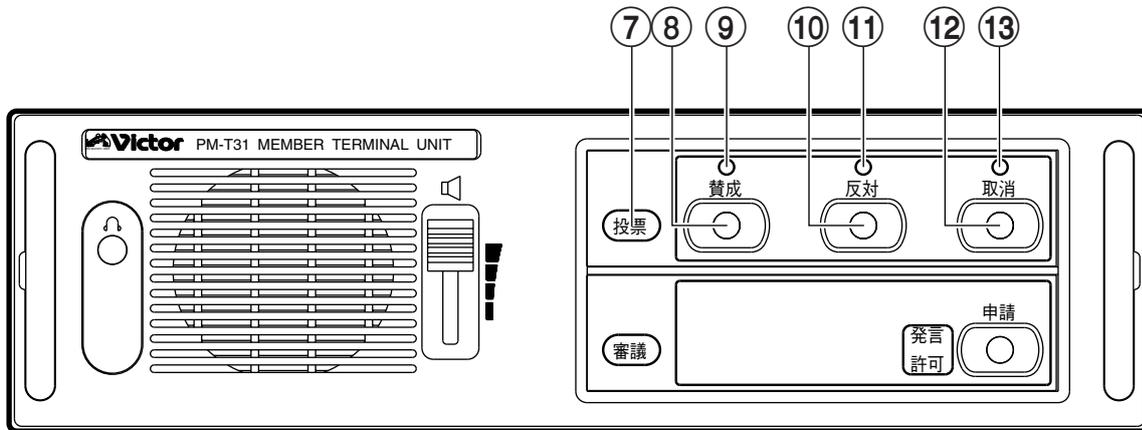
■メインパネル



- ① **審議ランプ(緑)**  
開会中に点灯します。
- ② **発言申請ボタン**  
発言を申請するときに押します。  
発言許可ランプが赤色に点灯し、事務局へ発言申請されます。  
発言許可ランプが赤色の点灯中に押すと、発言申請が取り消されます。  
発言許可ランプが緑色の点灯中に押すと、マイクが切れます。  
審議ランプが点灯中にのみ操作できます。
- ③ **発言許可ランプ**  
発言できるときに、緑色に点灯します。  
発言を申請中は、赤色に点灯します。
- ④ **モニターボリューム**  
モニタースピーカーの音量を調節します。  
ヘッドホンを使用しているときは、ヘッドホンの音量を調節します。
- ⑤ **モニタースピーカー**  
発言者の声が聞こえます。  
音量はモニターボリュームで調節できます。  
ヘッドホン端子を使用しているときは聞こえません。
- ⑥ **ヘッドホン端子**  
ヘッドホンを接続します。  
(適合負荷：8 Ω以上 適合プラグ：ステレオミニプラグ[φ 3.5])

## 1.5 メンバーターミナルユニット PM-T31 の各部のなまえとはたらき (つづき)

### ■ メインパネル (つづき)



#### ⑦ 投票ランプ

投票中に点灯します。

#### ⑧ 賛成ボタン(白)

投票時、賛成するときに押します。

投票ランプが点灯中にのみ操作できます。

投票ランプが消灯中や、賛成ランプ、反対ランプ、取消ランプが赤色の点灯中は操作できません。

#### ⑨ 賛成ランプ

賛成ボタンを押すと赤色に点灯し、事務局へ申請されます。

事務局で集計処理が終わると緑色に点灯します。

#### ⑩ 反対ボタン(緑)

投票時、反対するときに押します。

投票ランプが点灯時にのみ操作できます。

投票ランプが消灯中や、賛成ランプ、反対ランプ、取消ランプが赤色の点灯中は操作できません。

#### ⑪ 反対ランプ

反対ボタンを押すと赤色に点灯し、事務局へ申請されます。

事務局で集計処理が終わると緑色に点灯します。

#### ⑫ 取消ボタン(赤)

投票時、賛成ボタンまたは反対ボタンを押したが、取り消したいときに押します。

投票ランプが消灯中や、賛成ランプ、反対ランプ、取消ランプが赤色の点灯中は操作できません。

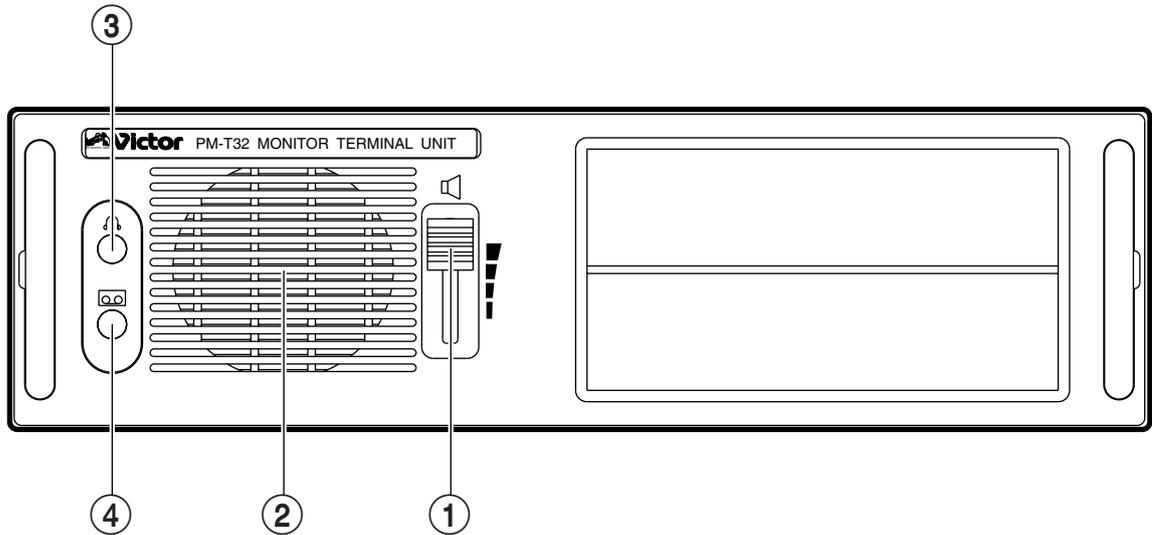
#### ⑬ 取消ランプ

取消ボタンを押すと赤色に点灯し、事務局へ申請されます。

事務局で集計処理が終わると消灯します。

## 1.6 モニターターミナルユニットPM-T32の各部なまえとはたらき

## ■ メインパネル



## ① モニターボリューム

モニタースピーカーの音量を調節します。

ヘッドホンを使用しているときは、ヘッドホンの音量を調節します。

## ② モニタースピーカー

発言者の声が聞こえます。

音量はモニターボリュームで調節できます。

ヘッドホン端子を使用しているときは聞こえません。

## ③ ヘッドホン端子

ヘッドホンを接続します。

(適合負荷：8Ω以上 適合プラグ：ステレオミニプラグ[φ3.5])

## ④ 録音端子

会議内容を録音したいときに、カセットレコーダーやMDレコーダーなどの録音機器を接続します。

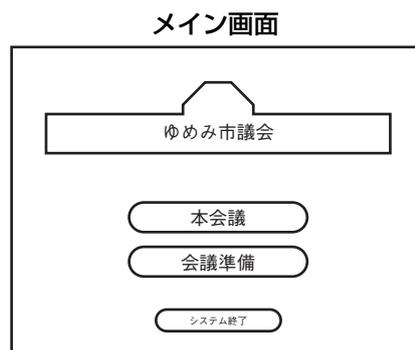
(出力レベル：0dBs 適合負荷：2kΩ以上 適合プラグ：ステレオミニプラグ[φ3.5])

# 2. 議場システムの操作について

## 2.1 議場システムの操作手順の概要

### ① 電源を入れます。

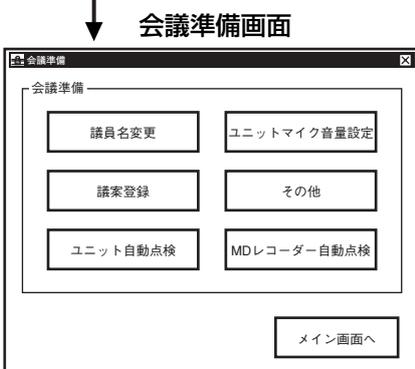
システムコントロール用PCの電源を入れるとメイン画面が表示されます。



### ② 本会議の準備を行います。

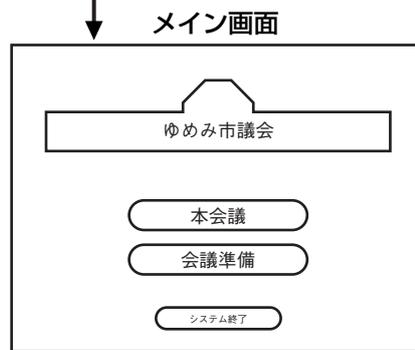
本会議を始める前に、議案の登録、発言時間の登録、ユニットの自動点検などを行います。  
(4. 会議の準備を行うには 参照)

「会議準備」を押します



必要な登録及び点検が終了したら、メイン画面に戻ります。

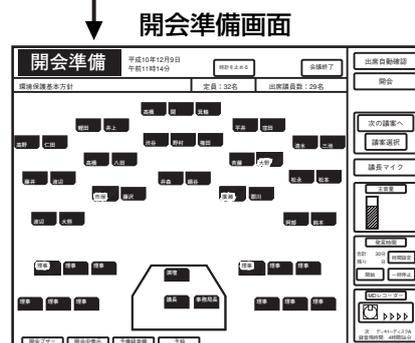
「メイン画面へ」を押します



### ③ 本会議を始めます。

本会議を開会する前に出席者の登録を行います。  
(5. 開会の準備を行うには 参照)

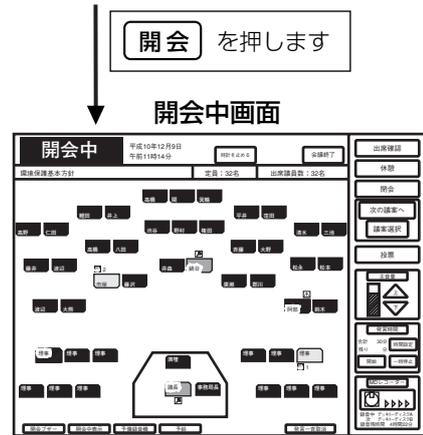
「本会議」を押します



## 2.1 議場システムの操作手順の概要(つづき)

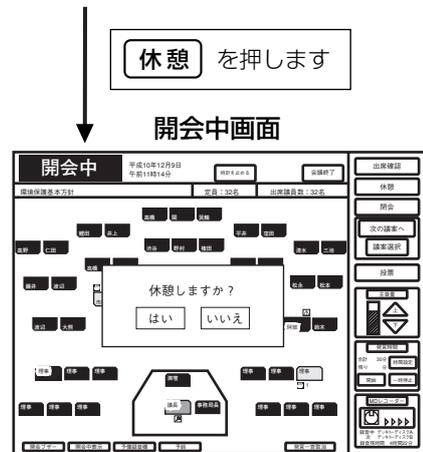
### ④ 本会議を開会します。

本会議を開会し、議案の審議等を行います。  
(6. 開会するには 参照)

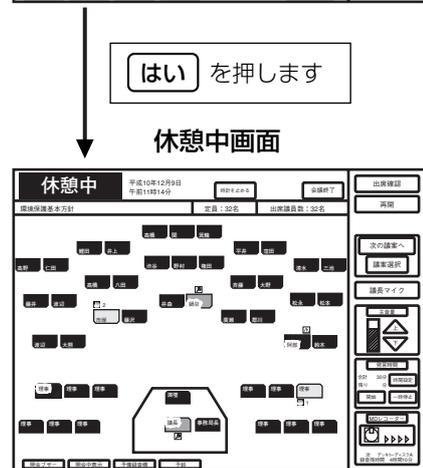


### ⑤ 休憩に入ります。

確認用のダイアログが表示されます。

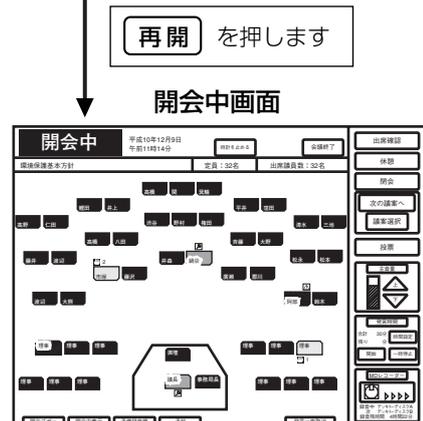


休憩に入ります。  
(7. 休憩に入るには 参照)



### ⑥ 本会議を再開します。

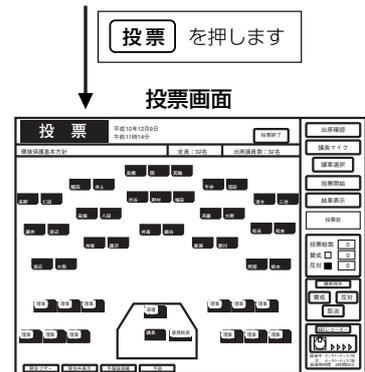
審議を行う画面に戻ります  
(7.1 再開するには 参照)



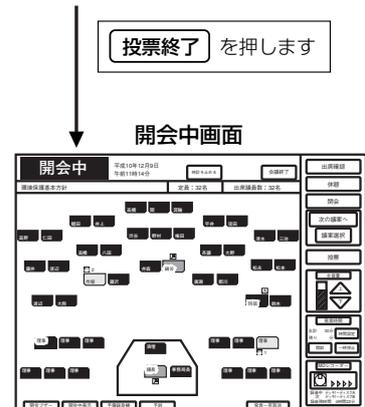
## 2.1 議場システムの操作手順の概要(つづき)

### ⑦ 投票を行います。

投票を行う画面となり、議案の議決を行います。  
(8.1 投票を行うには 参照)

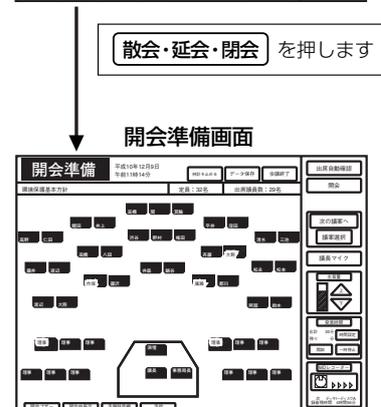


投票を終了し、審議を行う画面に戻ります。  
(8.3.4 投票を終了するには 参照)

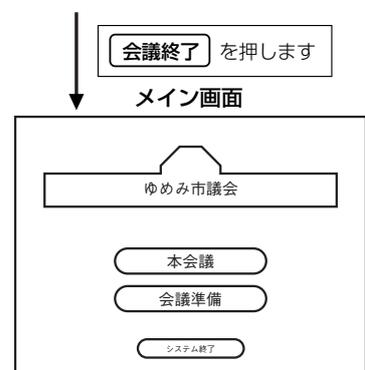


### ⑧ 本会議を散会／延会／閉会します。

本会議を散会／延会／閉会し、開会の準備を行う画面に戻ります。  
(9. 散会／延会／閉会するには 参照)



本会議を終了し、メイン画面に戻ります。  
(9.2 会議を終了するには 参照)



### ⑨ 電源を切ります。

コントロールソフトウェアが終了し、PCの電源が切れます。  
(10. 議場システムの電源の切りかた 参照)

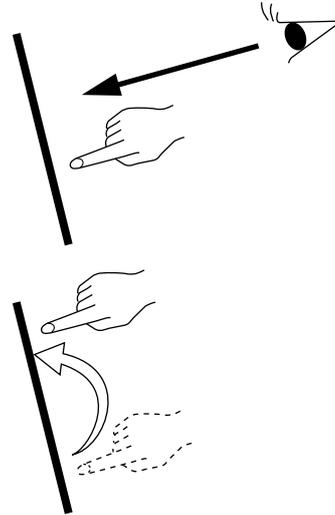


## 2.2 タッチパネルディスプレイについて

### ● 操作のしかた

画面に表示されているボタンを直接指などで触れることにより選択して操作することができます。

操作するときには、できるだけ画面を正面から見て操作するようにしてください。斜めから見て操作すると正しくボタンを選択できなくなります。



連続してボタンを選択する場合には、必ず一度画面より指を離してから(1cm以上)つぎのボタンを選択するようにしてください。

また、同時にふたつの操作はできませんのでひとつずつボタンを操作するようにしてください。

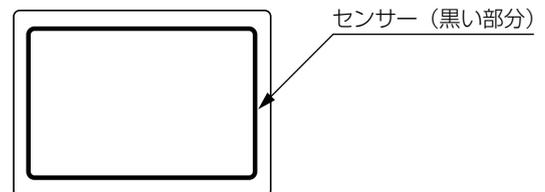
### ● 電源を入れるときのご注意

電源を入れるときには、メニュー画面が表示されるまでの間、画面に触れないように注意してください。タッチパネルの初期設定が正しくできなくなります。

### ● 操作上のご注意

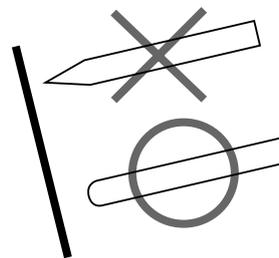
光学式タッチパネルの場合、画面周囲のセンサーを遮るものがあると操作できなくなります。

センサー部分にペンなどのものを置いたり、本や紙などがセンサーに誤ってかからないようにご注意ください。



タッチパネルは、ボールペン等、先が細く尖ったものでは操作できません。指で直接操作しない場合も指先程度の太さのもので操作してください。

先端が尖ったものや堅いもので操作すると画面の表面に傷がつくおそれがありますのでご注意ください。



タッチパネルの方式によっては指以外での操作ができない場合もあります。タッチパネルディスプレイに添付の取扱説明書をご覧ください。

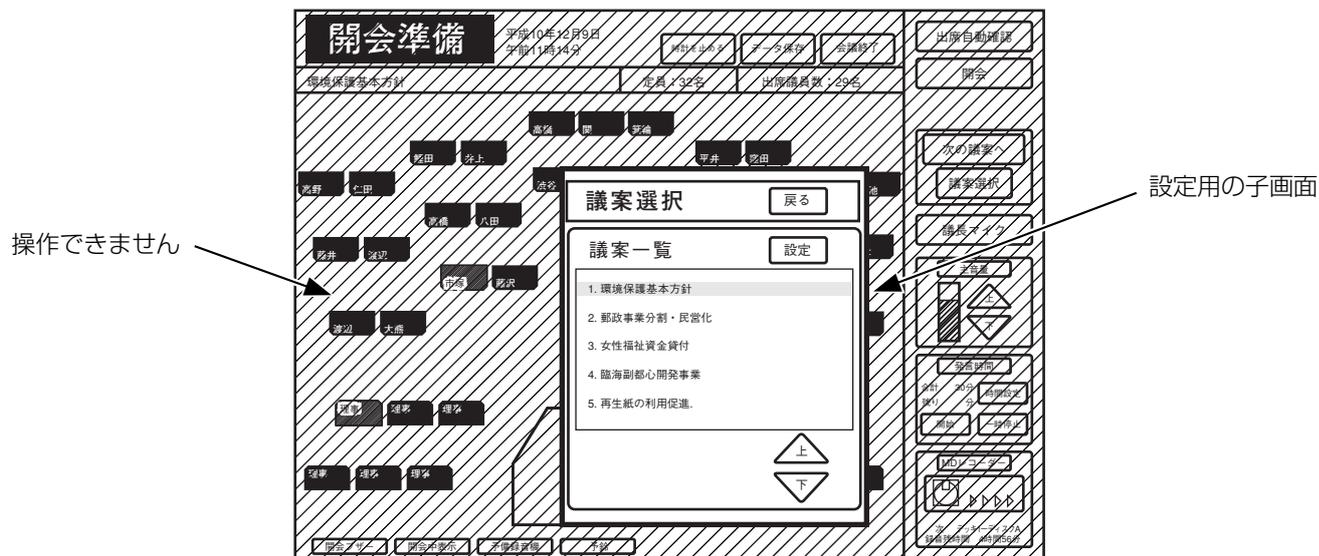
## 2.2 タッチパネルディスプレイについて (つづき)

### ■画面の操作について

画面の中には、設定用の子画面が表示される場合があります。

このときには、設定用の子画面のみが操作できます。

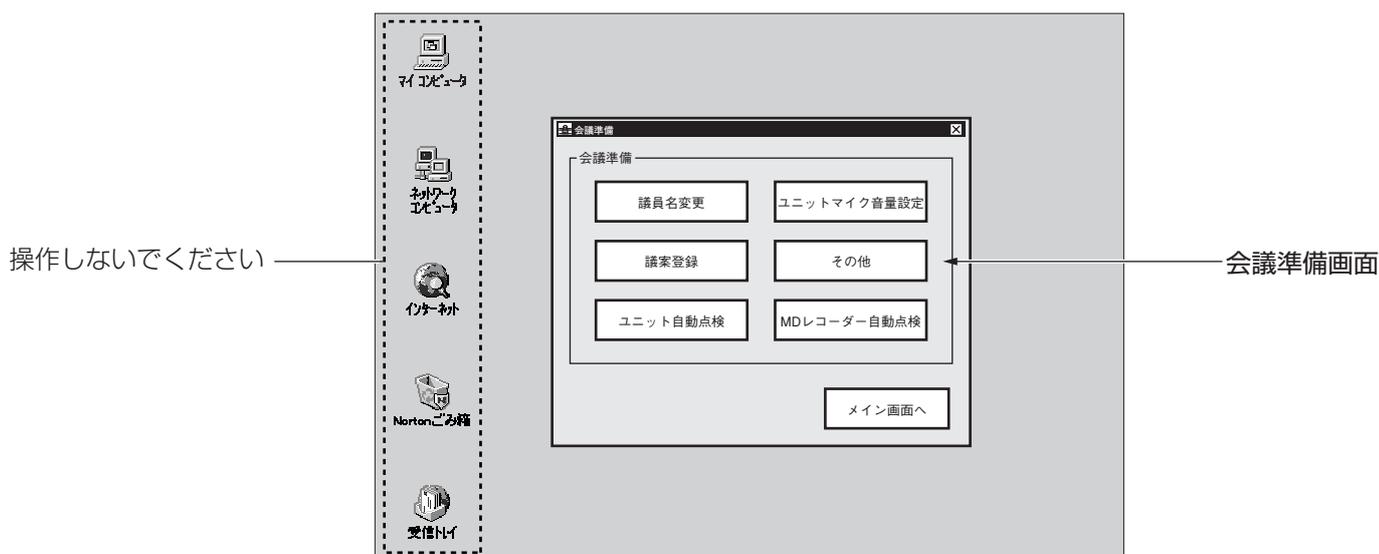
設定が終了したら「戻る」を押して、設定用の子画面を閉じてください。



### ■会議準備画面の操作について

会議準備画面の背後に WINDOWS の画面があります。

WINDOWS 画面上のアイコンは操作しないでください。



# 3. 議場システムの電源の入れかた

## 3.1 議場システムの電源の入れかた

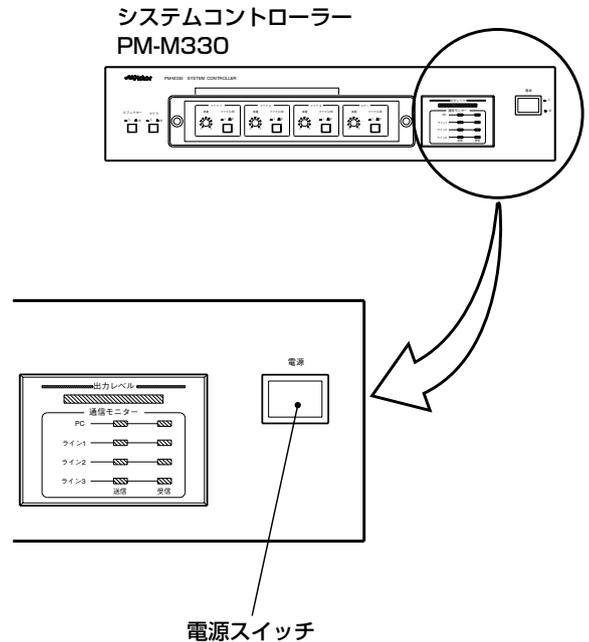
① 無停電電源装置(UPS)の電源を入れます。

② システムコントローラーPM-M330の電源スイッチを押し、電源を入れます。

システムコントローラーPM-M330、ターミナルユニットPM-T30/T31/T32、MDレコーダーPM-R30などの電源が入ります。

③ 15秒程経過した後、システムコントロール用PC、議場内表示用PC、議長向け表示用PCの電源を入れます。

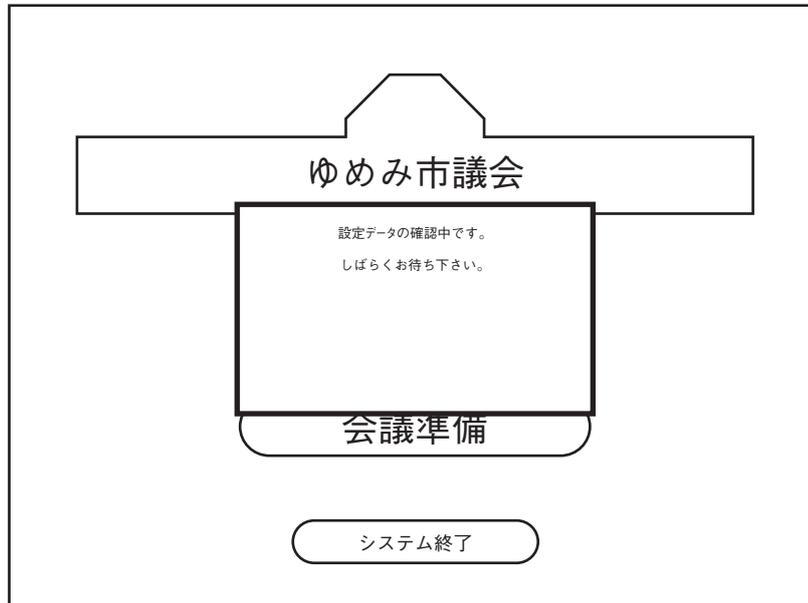
④ その他の機器(議場内表示装置など)の電源を入れます。



## 3.2 コントロールソフトウェアを起動する

システムコントロール用PCの電源を入れると自動的にコントロールソフトウェアが起動し、各機器の点検を行います。

点検中は以下のような画面が表示されます。



点検が終了し、異常がなければダイアログは消え、メイン画面が表示されます。→次ページへ

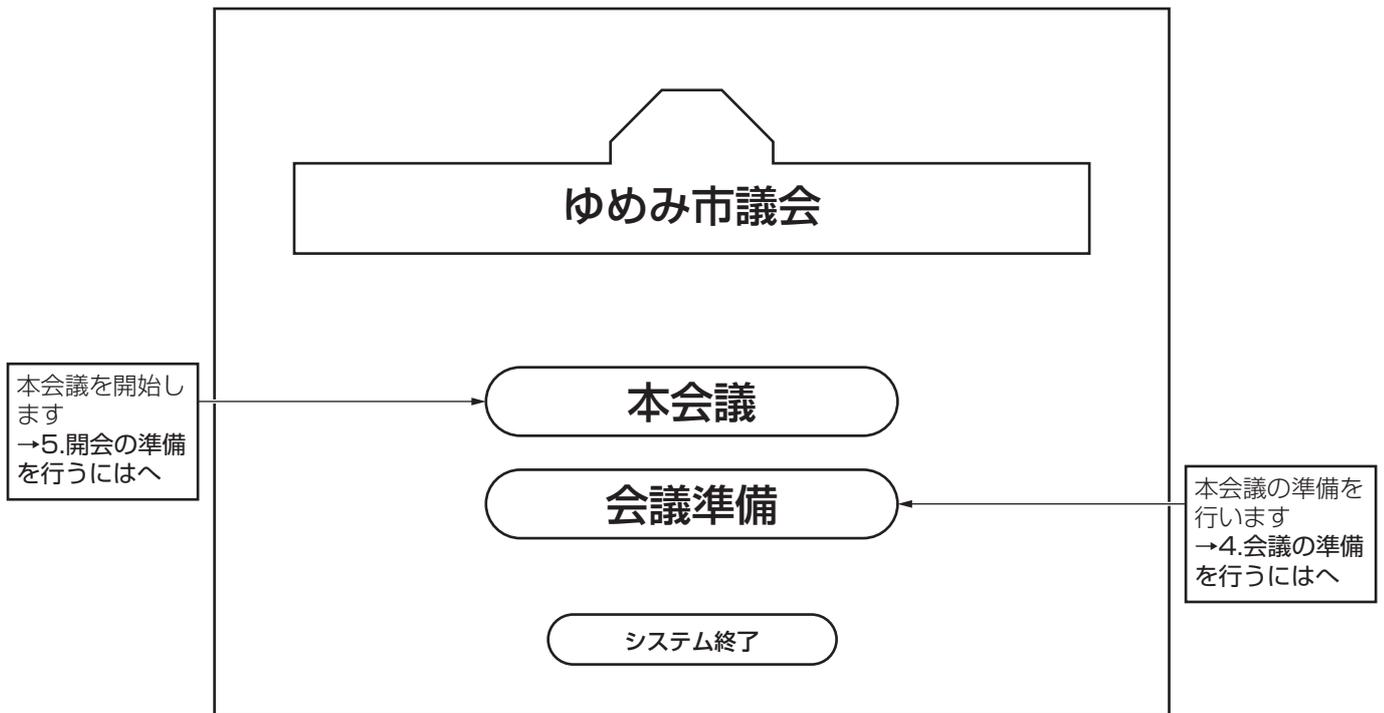
※ データ保存用のフロッピーディスクやUSBメモリー等を挿入した状態で起動しないでください。  
正常に起動できない場合があります。

## 3.2 コントロールソフトウェアを起動する(つづき)

## ① メイン画面が表示されます。

3

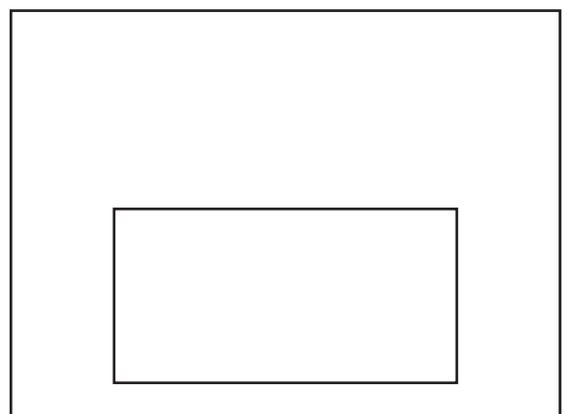
この画面から本会議を行う画面と会議準備を行う画面に入ります。



メイン画面の時は、議場内表示、議長向け表示には表示されません。



議場内表示



議長向け表示 (※1)

(※1) システム設定により、枠を表示させないこともできます。

## 3.2 コントロールソフトウェアを起動する(つづき)

### ■コントロールソフトウェア起動時のエラーメッセージとその対処法

(1)



#### 原因

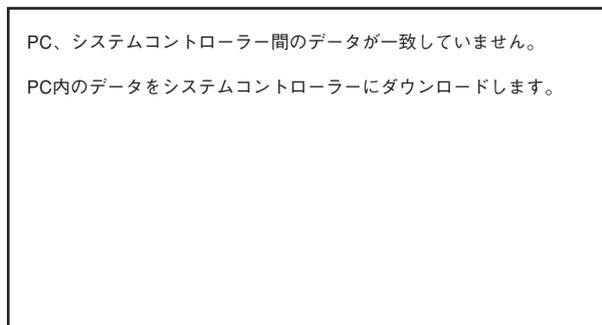
システムコントローラーPM-M330やMDレコーダーPM-R30の電源が切れているときに、システムコントロール用PCの電源を入れた場合に表示されます。

#### 対処法

システムコントローラーPM-M330、MDレコーダーPM-R30の電源を入れてから、**再確認**を押します。

すでに電源が入っている場合や、**再確認**を押しても再度表示する場合には、お買い上げ販売店、もよりのビクターサービス窓口にご相談ください。

(2)



#### 原因

システムコントローラーPM-M330内の設定データがなくなってしまうときに表示されます。

長時間(約6カ月以上)電源が入れられず、内部のメモリーをバックアップできなくなったときに発生します。

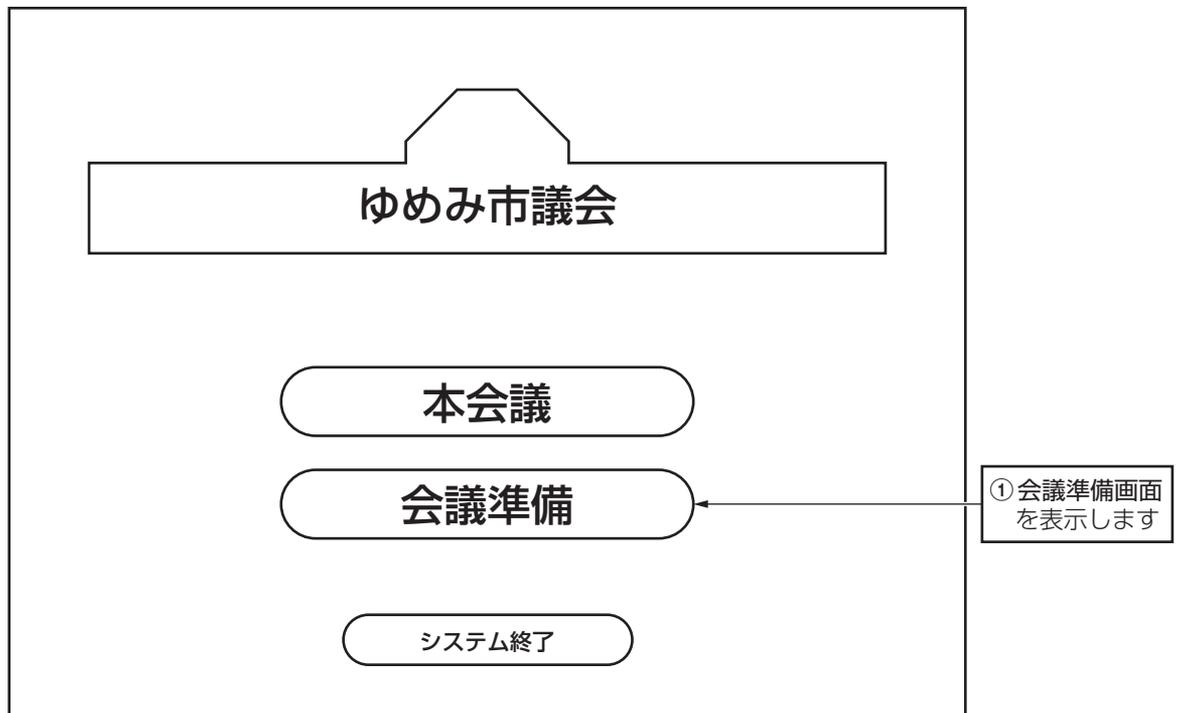
#### 対処法

自動的にシステムコントロール用PCから設定データをダウンロードします。

ダウンロードが終わるまでしばらくお待ちください。

## 4. 会議の準備を行うには

パソコンの電源を入れると、メイン画面(下図)が表示されます。

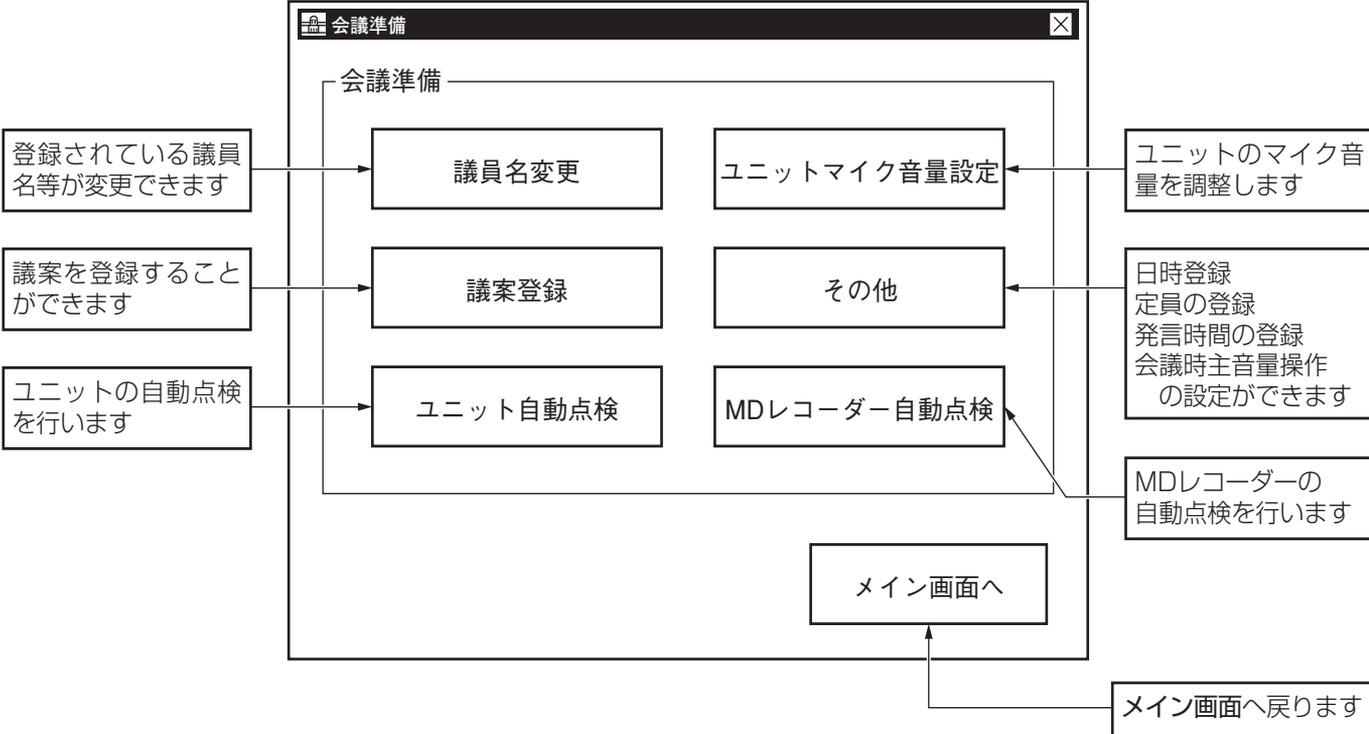


- ① **会議準備** を押します。  
会議準備画面が表示されます。→次ページへ

4. 会議の準備を行うには (つづき)

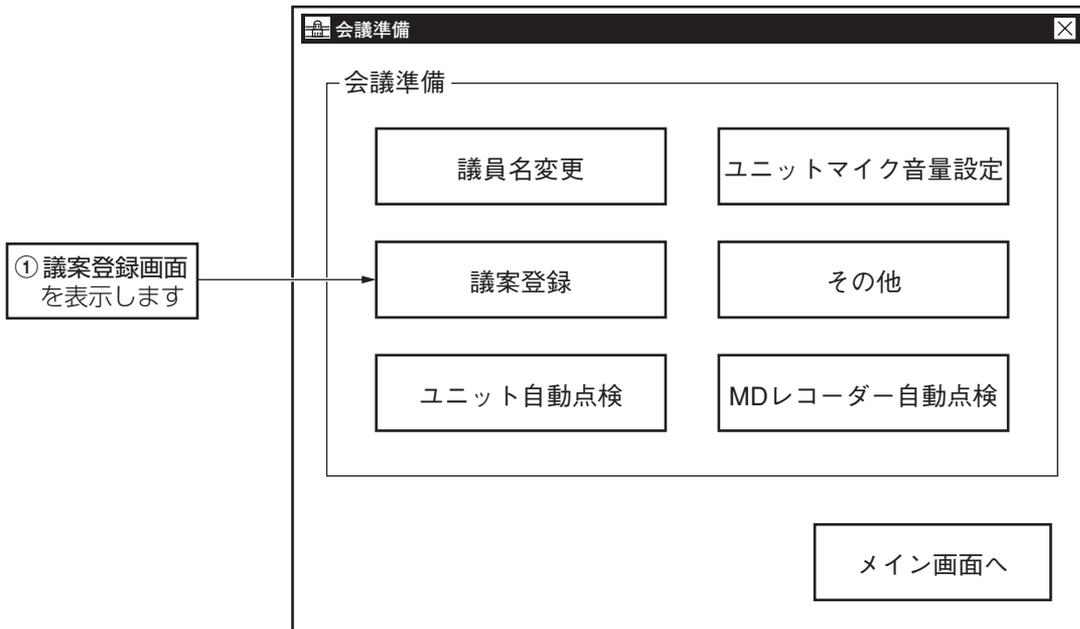
② 会議準備画面が表示されます。

この画面では以下のようなことができます。



## 4.1 登録および点検を行う

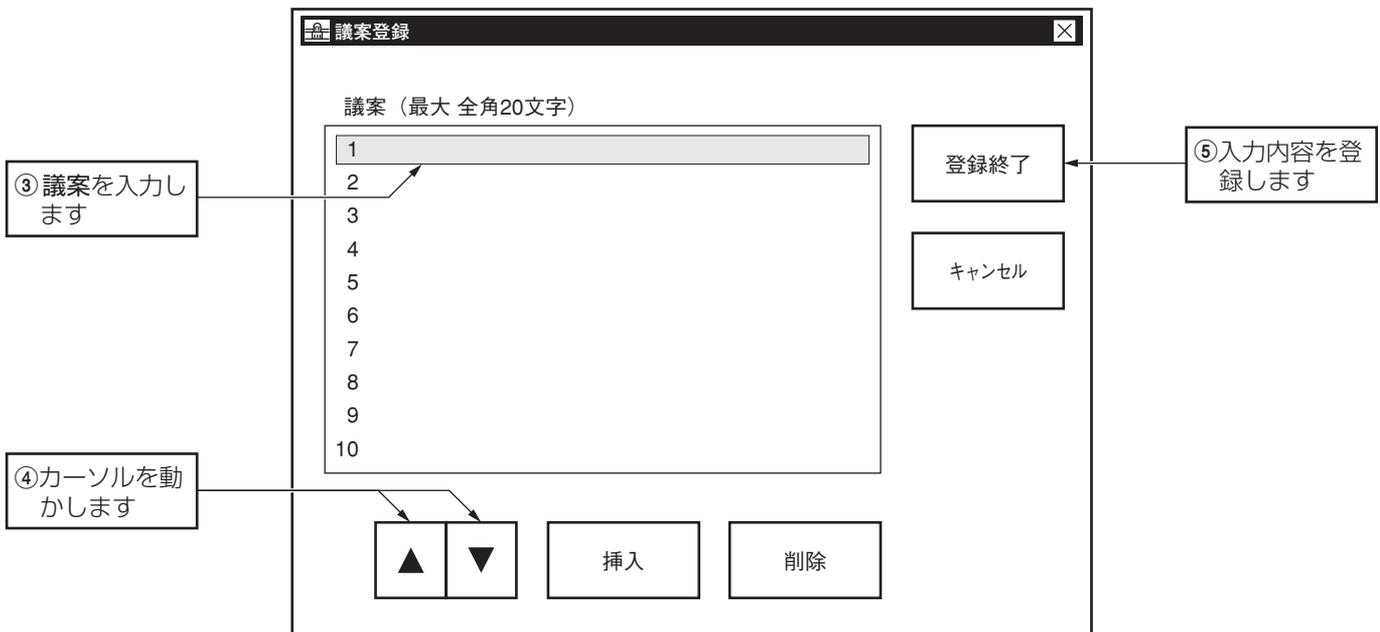
### 4.1.1 議案を登録するには



- ① **議案登録** を押します。  
議案登録画面が表示されます。→次ページへ

### 4.1.1 議案を登録するには(つづき)

#### ② 議案登録画面が表示されます。



#### ③ 議案を入力します。

カーソルの位置が入力可能状態となっています。議案は最大全角20文字まで入力できます。

#### ④ ▼を押します。

カーソルを動かし、次の議案を入力してください。  
すべての議案を入力するまで、くりかえします。

#### ⑤ 登録終了を押します。

入力された議案を登録して、会議準備画面に戻ります。

キャンセルを押すと、登録を行わずに会議準備画面に戻ります。

## 4.1.1 議案を登録するには(つづき)

## ■議案を挿入/削除する



## ① ▲▼ を押します。

カーソルを動かすことができます。挿入したい位置や削除したい議案にあわせてください。

## ② ● 挿入する場合

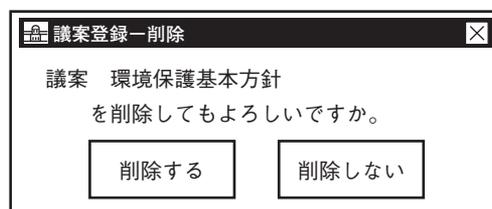
## 挿入 を押します。

カーソル以降の議案が下側に移動し、入力が可能になります。議案を入力してください。

## ● 削除する場合

## 削除 を押します。

次のようなダイアログが表示されます。



削除する を押すと、議案が削除され、それ以降の議案が繰り上がります。

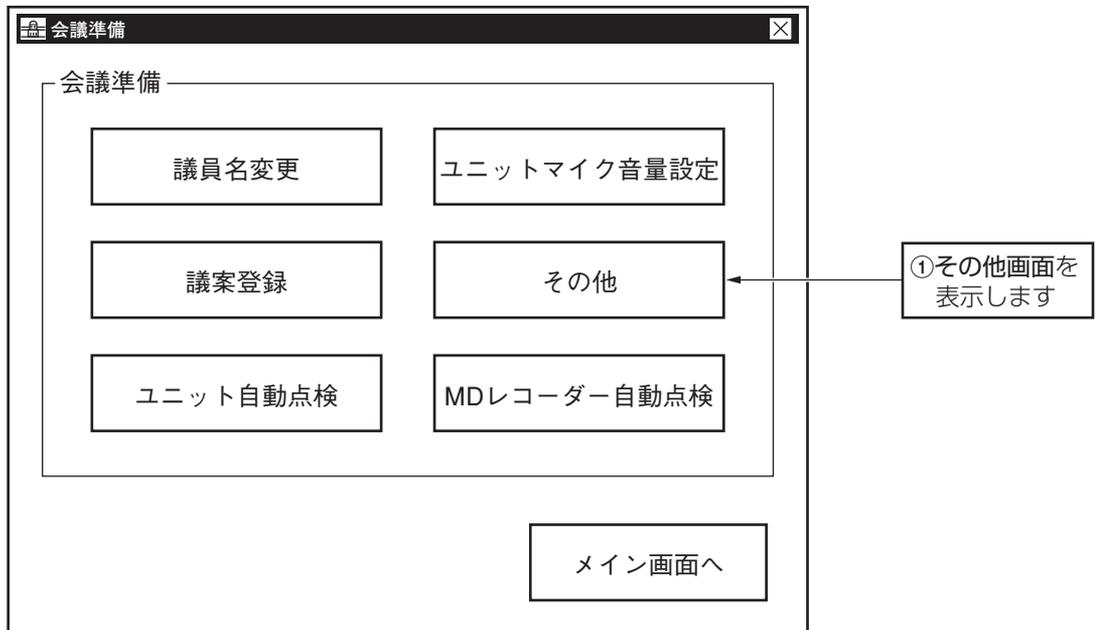
削除しない を押すと、削除がキャンセルになります。

## ③ 登録終了 を押します。

変更内容を登録して、会議準備画面に戻ります。

キャンセル を押すと、変更内容を登録せずに、会議準備画面に戻ります。

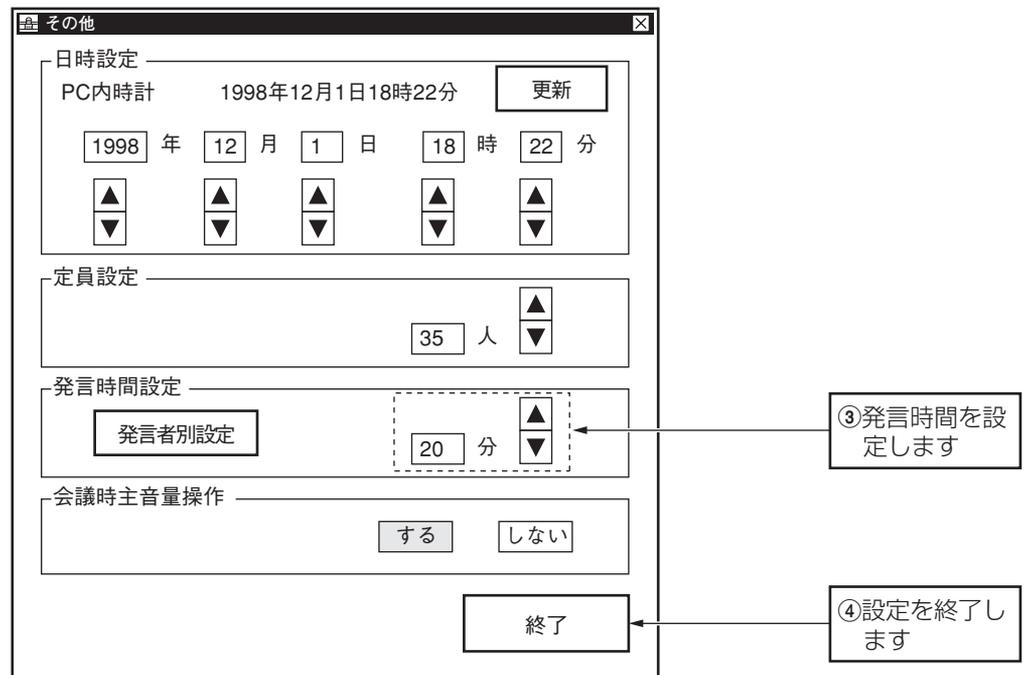
4.1.2 発言時間を登録するには



- ① **その他** を押します。  
その他画面が表示されます。→次ページへ

## 4.1.2 発言時間を登録するには(つづき)

## ② その他画面が表示されます。



## ③ 発言時間設定部分の ▲▼ を押します。

数値が変わります。発言時間を設定してください。

## ④ 終了 を押します。

設定を終了し、会議準備画面に戻ります。

※ 発言時間の初期値は30分になっています。

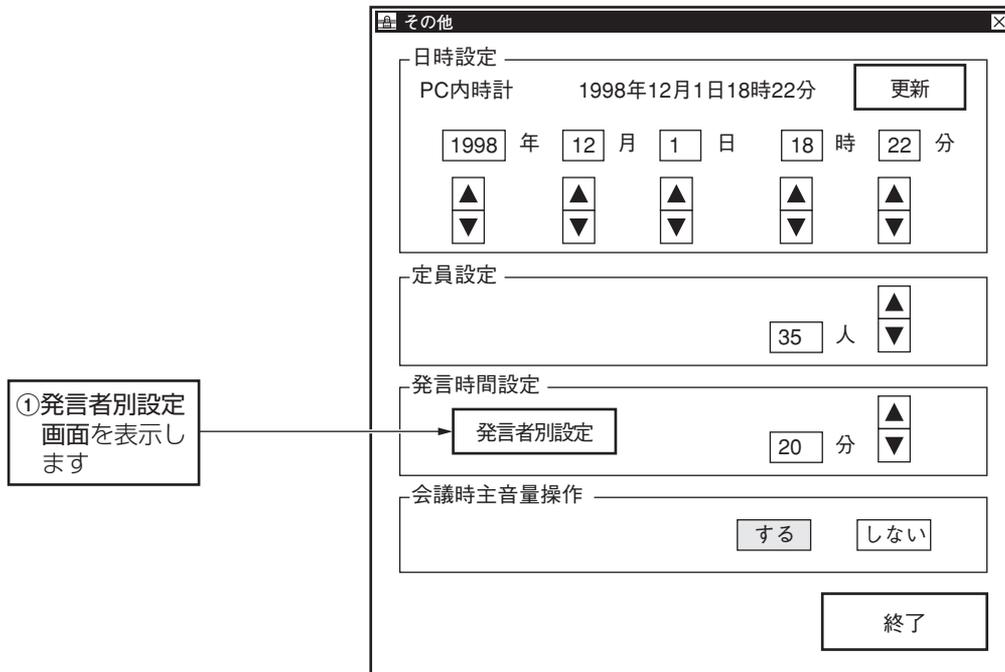
※ 発言時間は最大999分まで設定できます。

※ ここで設定された値は、発言者別に発言時間が設定されなかった場合のみ使用されます。

### 4.1.2 発言時間を登録するには(つづき)

#### ■複数の発言時間を登録するには

その他画面を開きます。



① **発言者別設定** を押します。

発言者別設定画面が表示されます。→次ページへ

## 4.1.2 発言時間を登録するには(つづき)

## ■複数の発言時間を登録するには(つづき)

## ② 発言者別設定画面が表示されます。



## ③ 発言者と発言時間を入力します。

カーソルの位置が入力可能状態となっています。

発言者は最大全角10文字、発言時間は最大半角3桁まで入力することができます。

## ④ ▼を押します。

カーソルを動かし、つぎの発言者と発言時間を入力してください。

すべての発言時間を入力するまで、くりかえします。

## ⑤ 登録終了を押します。

入力された発言時間を登録して、その他画面に戻ります。

キャンセルを押すと、登録を行わずにその他画面に戻ります。

### 4.1.2 発言時間を登録するには(つづき)

#### ■発言時間を挿入／削除する

挿入したい位置、削除したい発言者と発言時間にカーソルをあわせませす

①カーソルを動かします

No.	発言者 (最大10文字)	発言時間 (分)
1	鍋谷	30
2	市塚	40
3	平井	28
4	関	43
5	渡辺	50
6	井上	72
7	高橋	10
8	松本	43
9	藤井	57
10	大野	63

登録終了

キャンセル

③変更内容を登録します

②挿入／削除を行います

▲ ▼ 挿入 削除

① ▲ ▼ を押します。

カーソルを動かすことができます。挿入したい位置や削除したい発言者と発言時間にあわせてください。

② ● 挿入する場合

**挿入** を押します。

カーソル以降の発言者と発言時間が下側に移動し、入力が可能になります。発言者と発言時間を入力してください。

● 削除する場合

**削除** を押します。

次のようなダイアログが表示されます。

発言者別設定-削除

鍋谷 30分  
を削除してもよろしいですか。

削除する 削除しない

**削除する** を押すと、発言者と発言時間が削除され、それ以降の発言者と発言時間が繰り上がります。

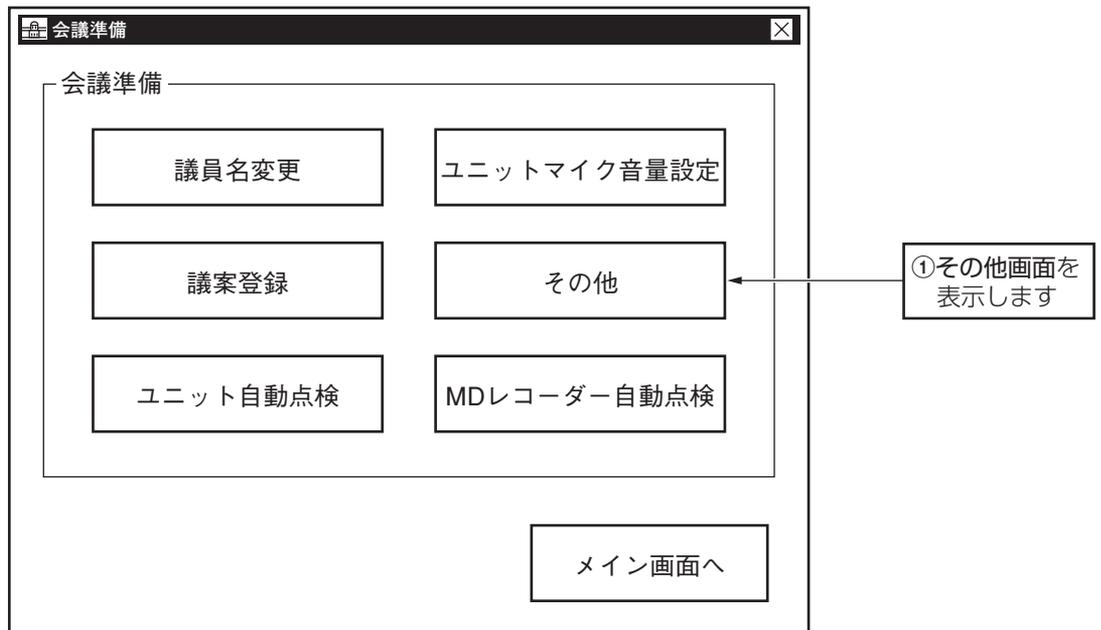
**削除しない** を押すと、削除がキャンセルされます。

③ **登録終了** を押します。

変更内容を登録して、その他画面に戻ります。

**キャンセル** を押すと、変更内容を登録せずにその他画面に戻ります。

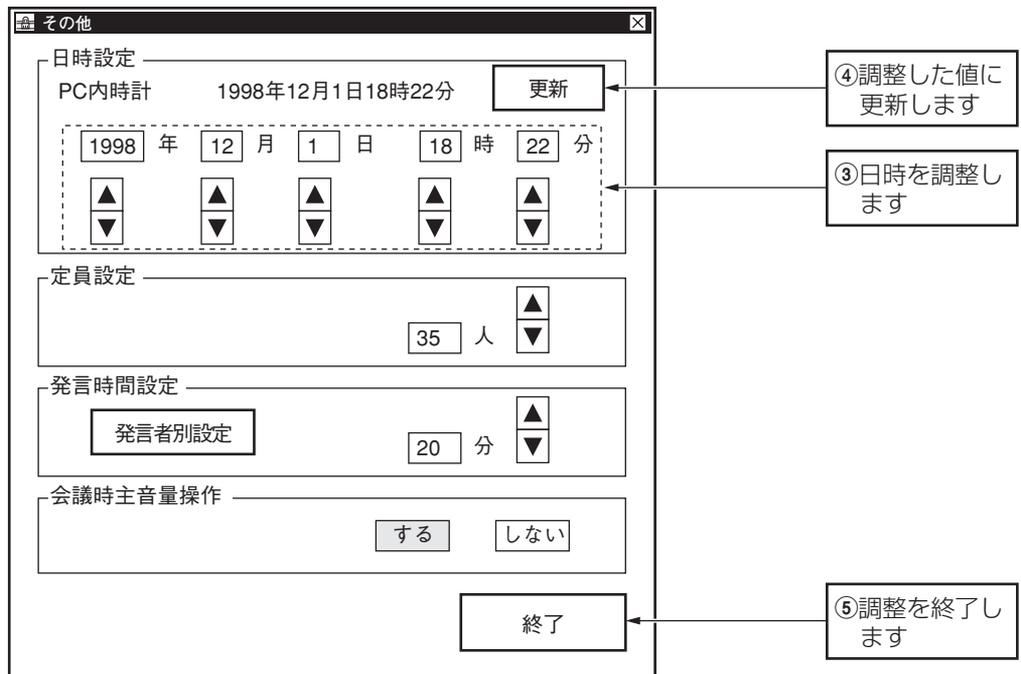
4.1.3 パソコン(PC)内時計を調整するには



- ① **その他** を押します。  
その他画面が表示されます。→次ページへ

## 4.1.3 パソコン(PC)内時計を調整するには(つづき)

## ② その他画面が表示されます。



## ③ 日時設定部分の変更したいところの ▲▼ を押します。

数値が変わります。日時を調整してください。

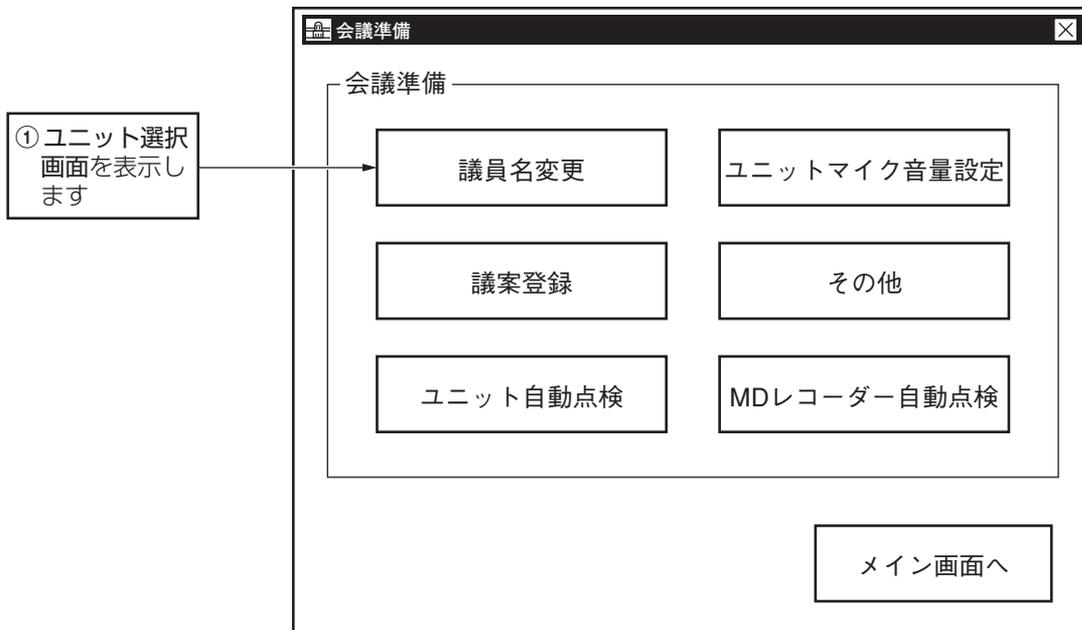
## ④ 更新 を押します。

調整した値に、パソコン(PC)内の時計が更新されます。

## ⑤ 終了 を押します。

調整を終了し、会議準備画面に戻ります。

## 4.1.4 議員名を変更するには

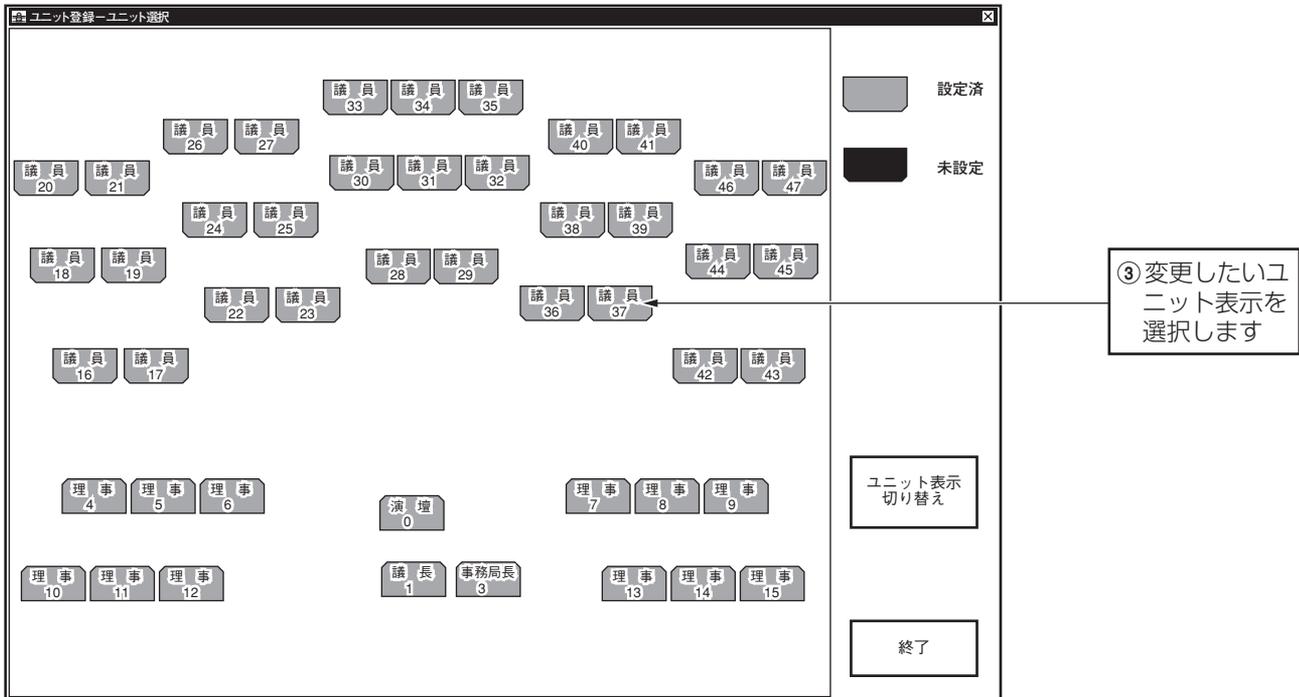
① **議員名変更** を押します。

ユニット登録－ユニット選択画面が表示されます。→次ページへ

## 4. 会議の準備を行うには

### 4.1.4 議員名を変更するには(つづき)

② ユニット登録ーユニット選択画面が表示されます。

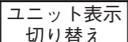


③ (設定済)  を押します。  
緑色

ユニット登録ーユニット登録(詳細)画面が表示されます。→次ページへ

 を押すと、会議準備画面に戻ります。

(未設定)  
※  のユニット表示は選択できません。  
黒色

※  を押すと、ユニットの表示文字が自分で登録した文字に切り替わります。

4.1.4 議員名を変更するには(つづき)

④ ユニット登録－ユニット登録(詳細)画面が表示されます。

⑤ 登録内容を変更します。

名前登録部分の変更したい枠を指定すると文字入力が可能になります。変更できる項目と入力文字数は下記のようになります。

項目	最大文字数
議員No.	半角10桁
氏名	全角10文字
党名	全角10文字
役職名	全角10文字
備考	全角10文字を3行
表示名	全角4文字を2行

⑥ **登録** を押します。

変更内容が登録され、ユニット登録－ユニット選択画面に戻ります。

**キャンセル** を押すと、変更内容は登録されずに、ユニット登録－ユニット選択画面に戻ります。

※この画面では、ユニット登録、マイクレベル、リレー出力設定、他ユニットモニター設定、パワーアンプ出力レベル設定は変更できません。

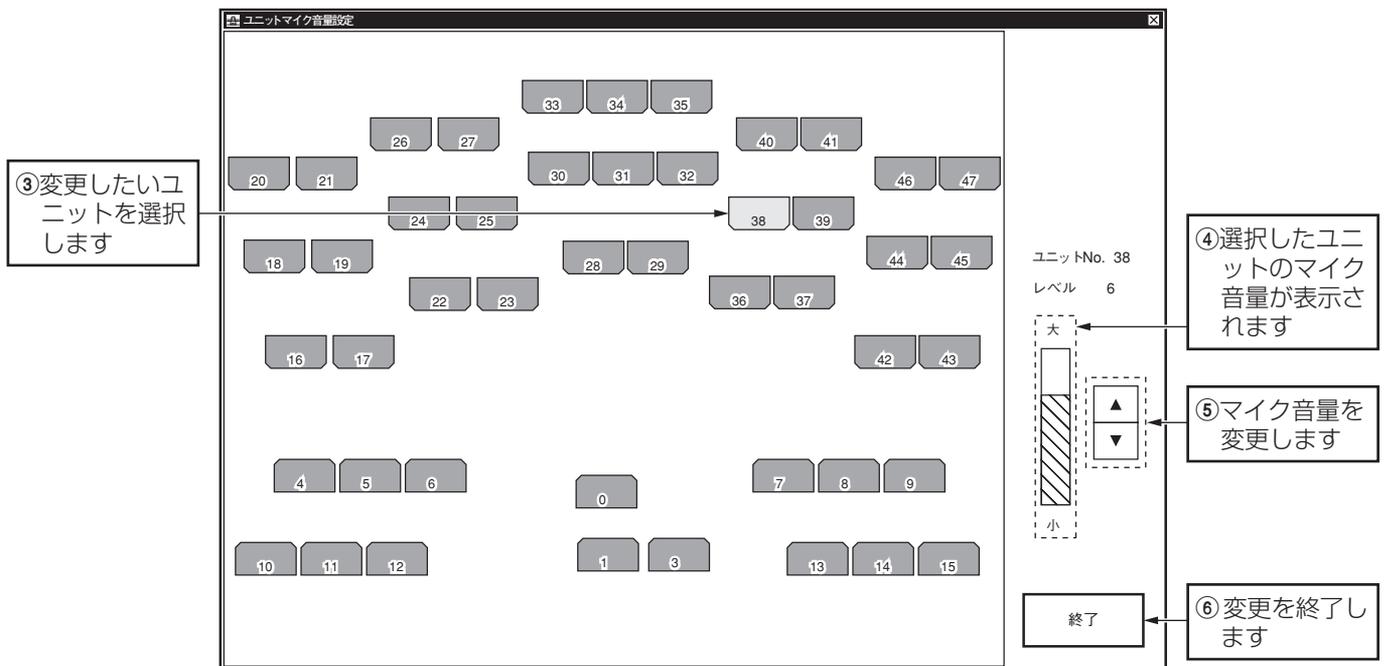
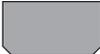
### 4.1.5 ターミナルユニットのマイク音量を調整するには



- ① **ユニットマイク音量設定** を押します。  
ユニットマイク音量設定画面が表示されます。→次ページへ

## 4.1.5 ターミナルユニットのマイク音量を調整するには(つづき)

## ② ユニットマイク音量設定画面が表示されます。

③  を押します。  
黒色

選択されたユニットのマイク音量が変更可能になります。  
 選択されたユニットのユニット表示が黄色になります。

④ 選択したユニットのマイク音量が表示されます。  
現在のマイク音量が数字とバーグラフで表示されます。⑤  を押します。

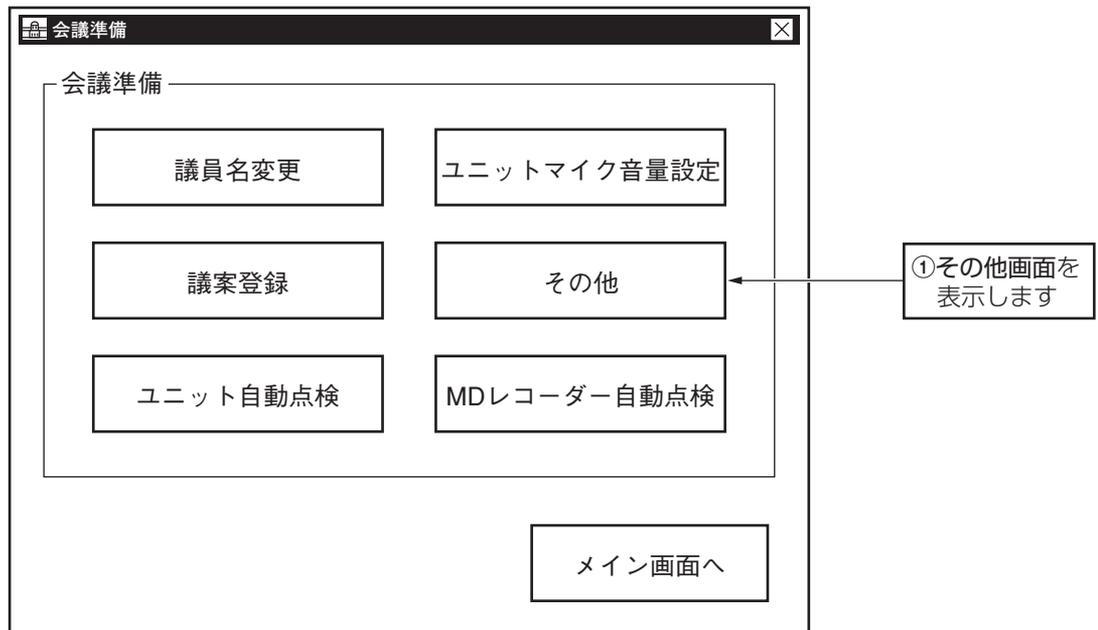
マイク音量が変更されます。  
 マイク音量は1～10の10段階で調整できます。

⑥  を押します。

変更を終了し、会議準備画面に戻ります。

※ ターミナルユニットが未接続の場合は、ユニット表示が赤色になります。ユニット表示が赤色のユニットはマイク音量の変更は行なわないでください。

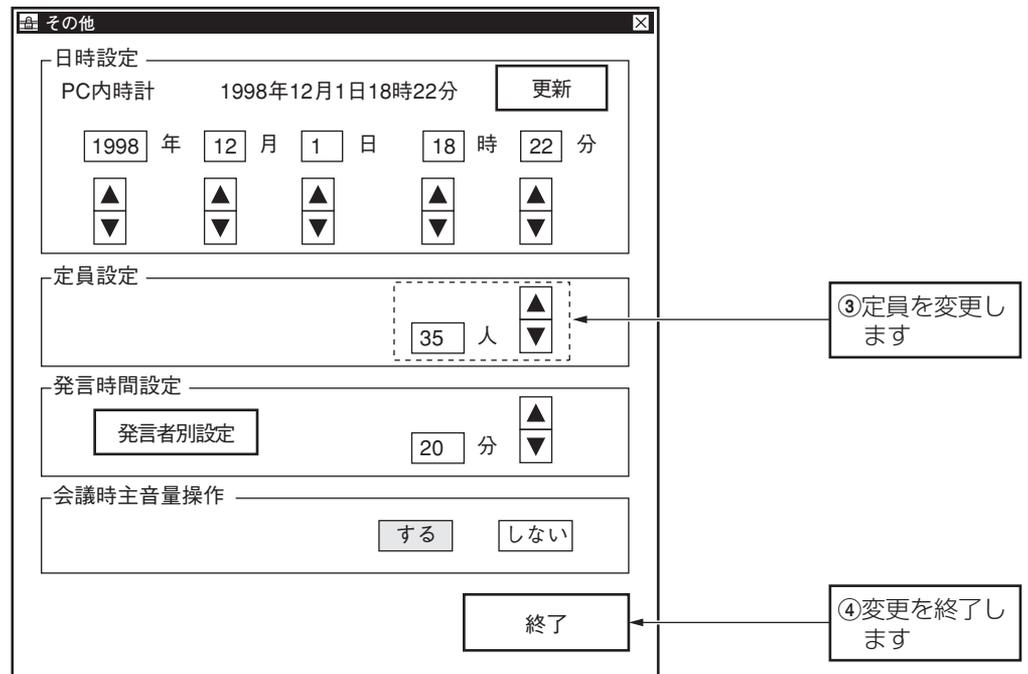
4.1.6 定員を変更するには



- ① **その他** を押します。  
その他画面が表示されます。→次ページへ

## 4.1.6 定員を変更するには(つづき)

## ② その他画面が表示されます。



## ③ 定員設定部分の ▲ ▼ を押します。

数値が変わります。定員を変更してください。

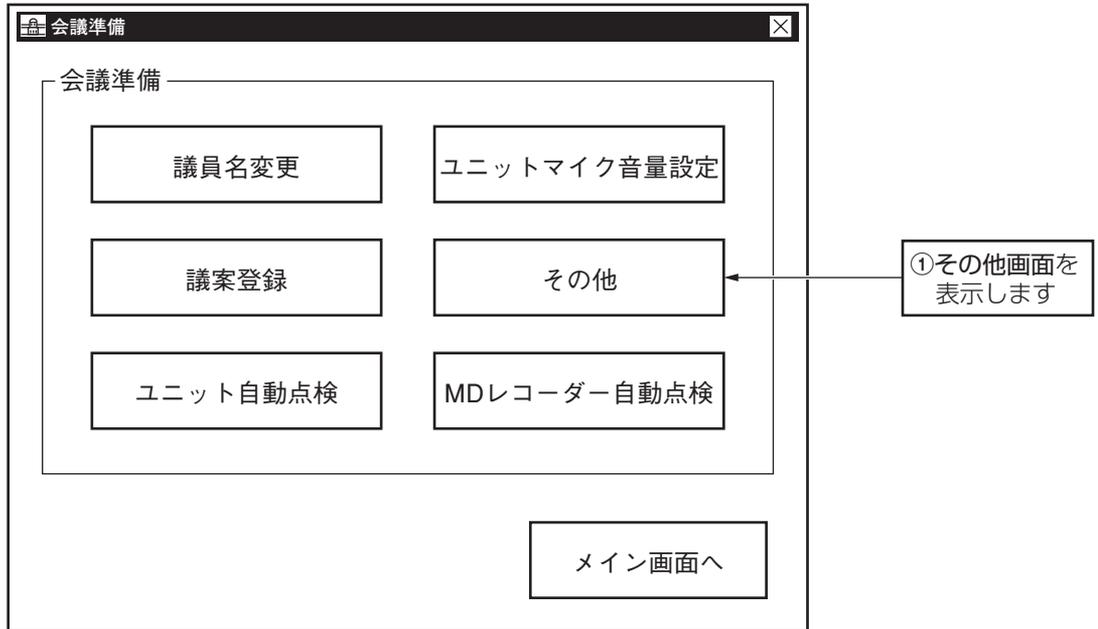
## ④ 終了 を押します。

変更を終了し、会議準備画面に戻ります。

※ 定員の初期値は30人になっています。

※ 定員は最大100人まで設定できます。

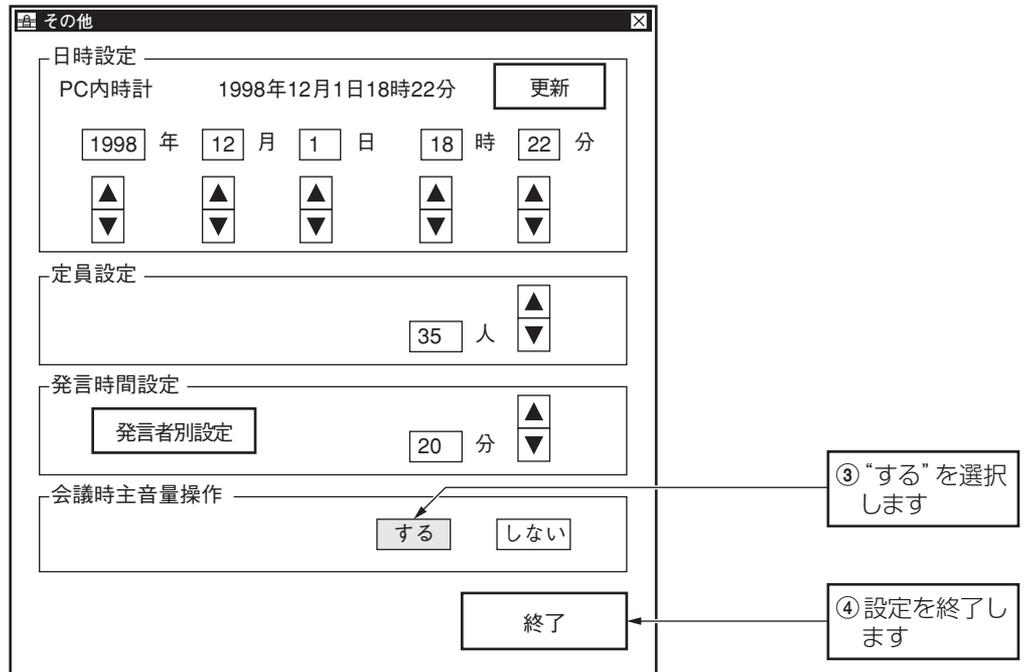
4.1.7 主音量のボリュームを設定するには



- ① **その他** を押します。  
その他画面が表示されます。→次ページへ

## 4.1.7 主音量のボリュームを設定するには(つづき)

## ② その他画面が表示されます。

③ 会議時主音量操作部分の **する** を押します。

会議中に主音量の調整ができるボタンが表示されます。

主音量を調整すると、パワーアンプ出力1~4すべてがそれにともない変化します。

初期値は“しない”になっています。

**しない** を選択すると

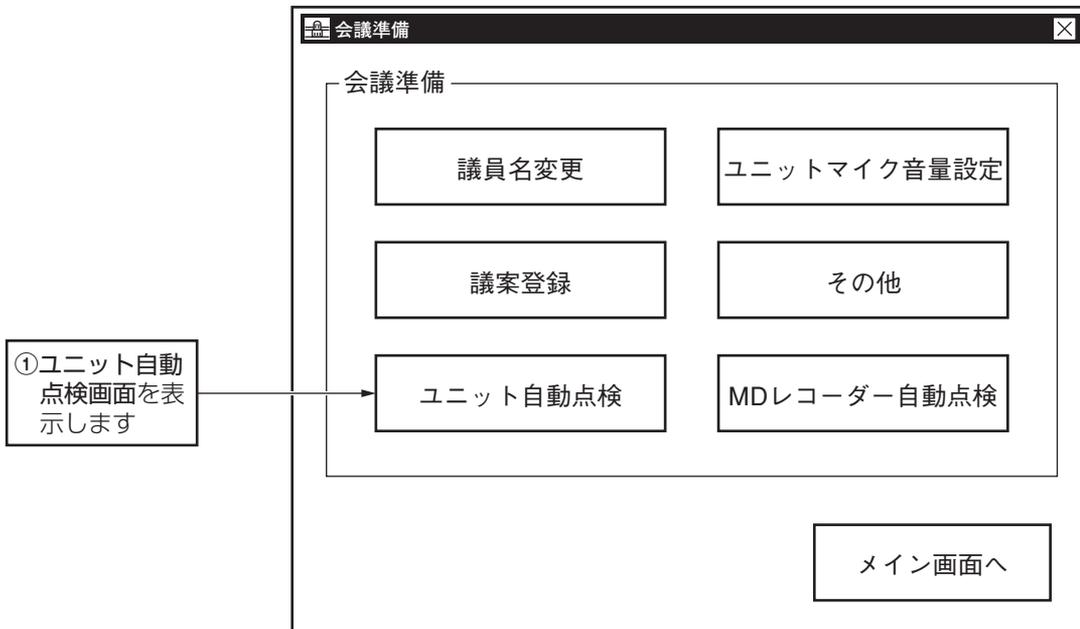
会議中に主音量の調整ができるボタンを表示しません。

④ **終了** を押します。

設定を終了し、会議準備画面に戻ります。

### 4.1.8 ターミナルユニットの自動点検を行うには

ターミナルユニットの自動点検は、モニターからテストトーン(ザー音)を出力し、それをマイクで収録し検知します。点検は静かな状態で行ってください。

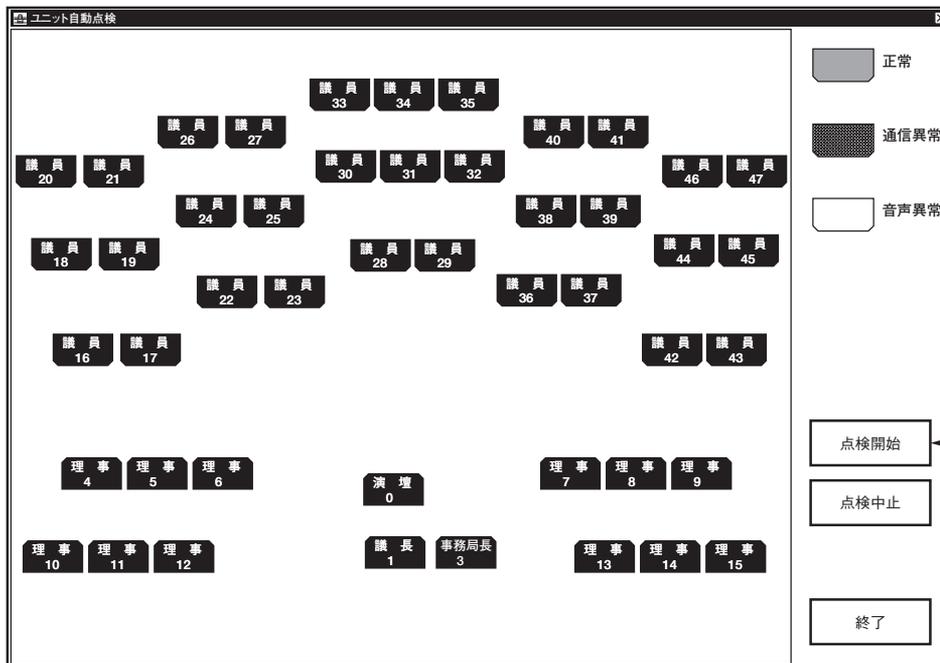


① **ユニット自動点検** を押します。

ユニット自動点検画面が表示されます。→次ページへ

4.1.8 ターミナルユニットの自動点検を行うには(つづき)

② ユニット自動点検画面が表示されます。



③ 点検開始 を押します。

1台ずつモニターからテスト音(ザー音)を出力し点検を行います。→次ページへ

- ※ ユニット登録で自動点検なしに設定されているユニット表示は薄い灰色になります。  
薄い灰色のユニット表示は、自動点検を行いません。
- ※ 未接続のユニットは通信異常として点検開始前に赤色の表示になります。  
赤色のユニット表示は、自動点検を行いません。



### 4.1.8 ターミナルユニットの自動点検を行うには(つづき)

#### ④ 点検結果を表示します。

正常の場合は緑色、音声異常の場合は橙色、通信異常の場合は赤色になります。  
 1つのユニットの点検が終了すると、自動的に次のユニットの点検が開始されます。  
 点検中のユニット表示は黄色になります。

(点検中)	(正常)	(音声異常)	(通信異常)
			
黄色	緑色	橙色	赤色

- ※ **点検中止** を押すと、点検が中止されます。
- ※ 2回目以降の点検は、異常ありとなったユニットのみ点検します。

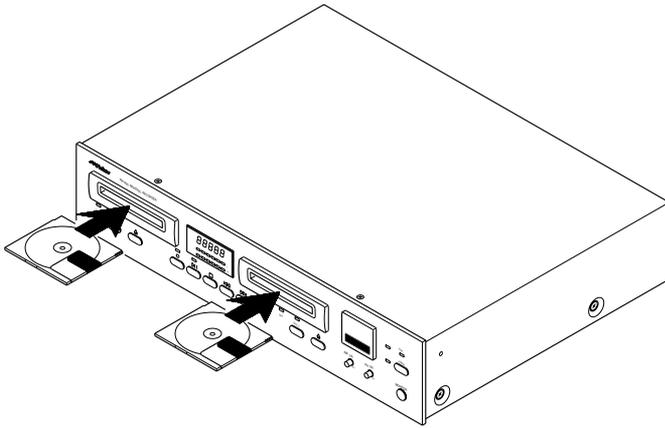
#### ⑤ **終了** を押します。

ユニットの自動点検を終了し、会議準備画面に戻ります。  
 ※点検中は **終了** を押ししても受けつけません。

## 4.2 MDレコーダーPM-R30の準備

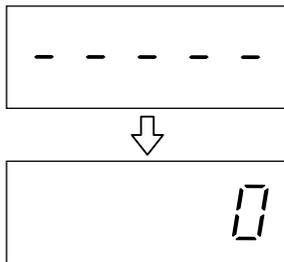
### ■空白ディスクの挿入

- ① すべてのMDレコーダーPM-R30のディスクドライブA, Bに空白ディスクをいれます。



ディスクの矢印のある面を上にしてその矢印の方向に差し込みます。  
ディスクは自動的に中に引き込まれます。

- ② 空白ディスクをいれたら次の表示を確認してください。



点滅(点滅中にTOCを読みんでいます。数秒かかります)

点滅が終了すると空白ディスクでは録音番号0が表示されます

選んでいないディスクドライブ側もディスクAボタン  またはディスクBボタン  を押してディスクA, Bとも録音番号が0であることを確認してください

すべてのMDレコーダーのディスクドライブA, BがTOCを読み終わり録音番号が0になっていることを確認してから自動点検の操作を行ってください。

## 4.2 MDレコーダーPM-R30の準備(つづき)

### ■MDレコーダーの自動点検を行う

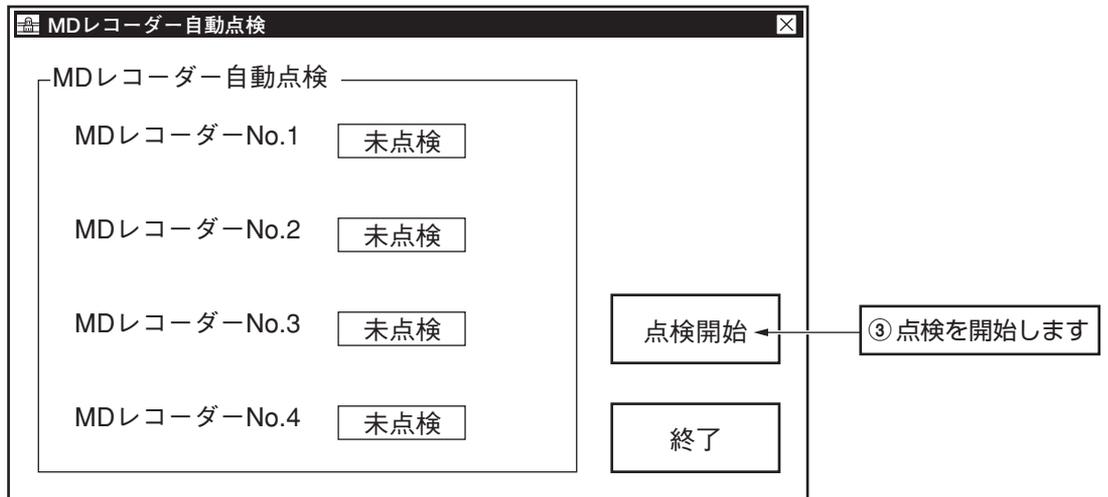


- ① **MDレコーダー自動点検** を押します。  
MDレコーダー自動点検画面が表示されます。→次ページへ

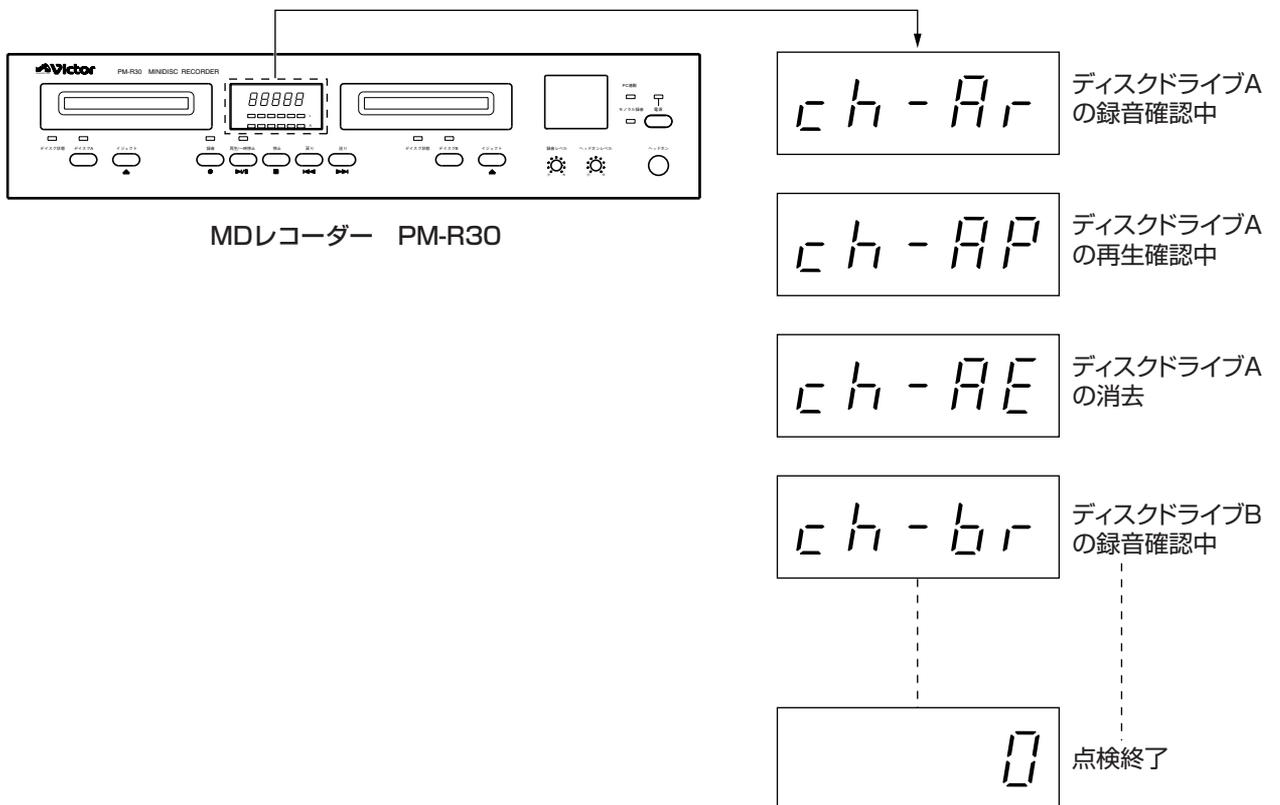
## 4.2 MDレコーダーPM-R30の準備(つづき)

### ■MDレコーダーの自動点検を行う(つづき)

#### ② MDレコーダー自動点検画面が表示されます



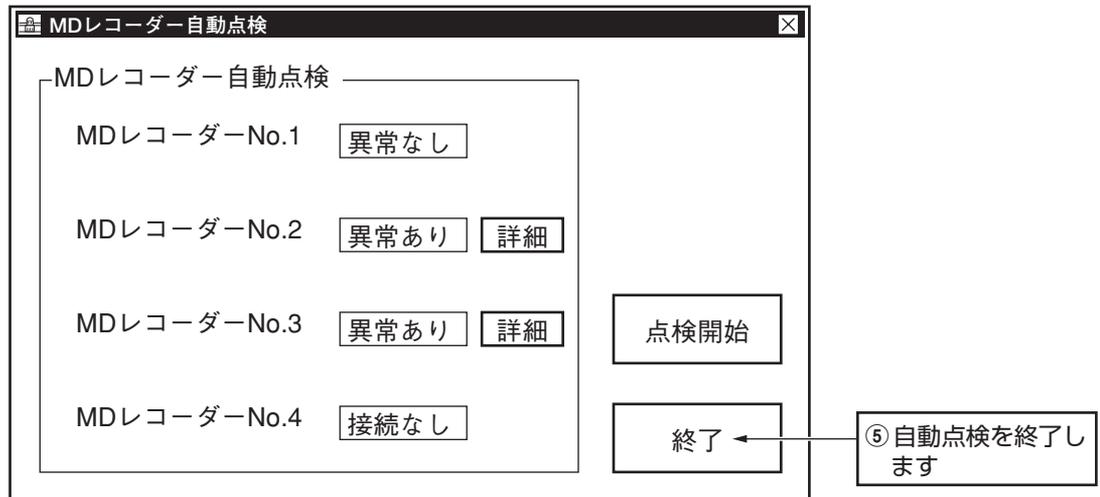
#### ③ 点検開始 を押します。



## 4.2 MDレコーダーPM-R30の準備(つづき)

### ■MDレコーダーの自動点検を行う(つづき)

#### ④ 点検結果を表示します。



表示項目とその内容は次の通りです。

異常なし	正常に動作しています
異常あり	異常項目があります。 [詳細]を押して、異常項目を確認して下さい。 (詳細ボタンは異常ありの場合に表示されます)
接続なし	MDレコーダーは接続されていません

異常ありの場合、[詳細]を押すと異常の内容が表示されます。

異常項目とその内容は以下のようなものがあります。

スタンバイ状態	MDレコーダーがスタンバイ状態になっています。 → MDレコーダーの電源ランプが緑になっているか確認してください。
ブランクディスクなし	ディスクが入っていないか、すでに記録されているディスクが入っています。 → ブランクディスクを挿入して下さい。
再生エラー	MDレコーダーの再生動作に異常があります。他のブランクディスクに交換してください。
録音エラー	MDレコーダーの録音動作に異常があります。他のブランクディスクに交換してください。

再生エラー、録音エラー後、他のブランクディスクに交換し再点検しても、同様のエラーが表示される場合は、お買い上げ販売店またはビクターサービス窓口にご相談ください。

#### ⑤ [終了] を押します。

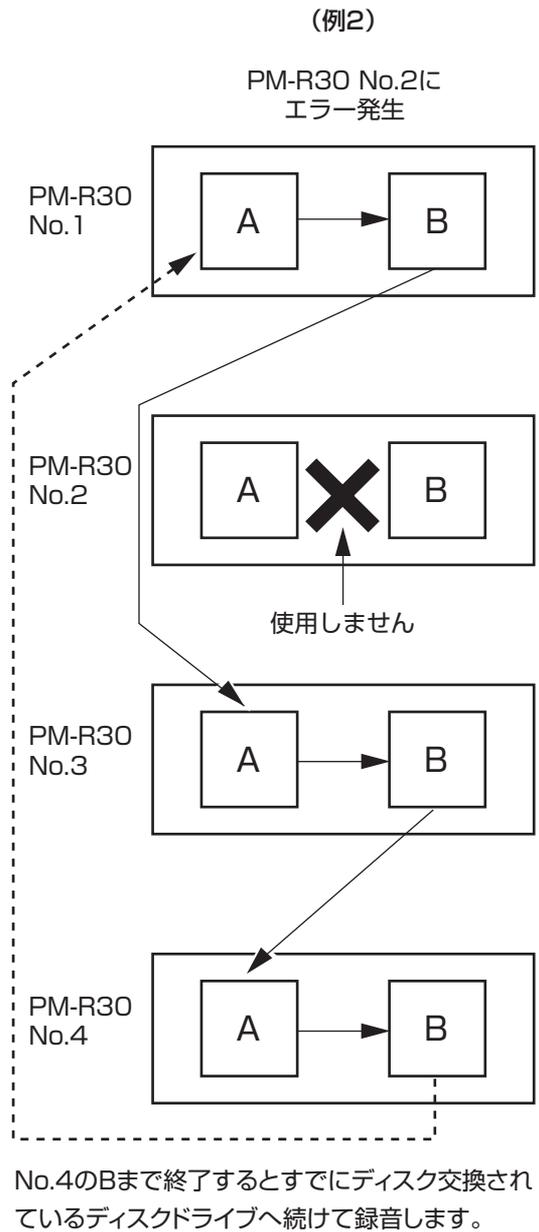
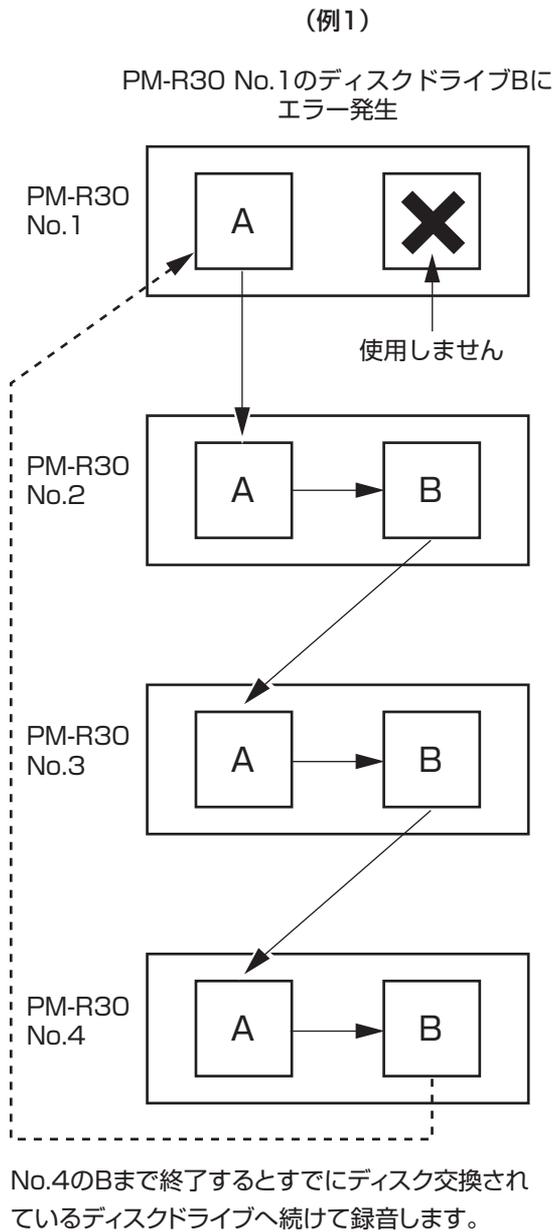
MDレコーダーの自動点検を終了し、会議準備画面に戻ります。

## 4.2 MDレコーダーPM-R30の準備(つづき)

### ■MDレコーダーの異常

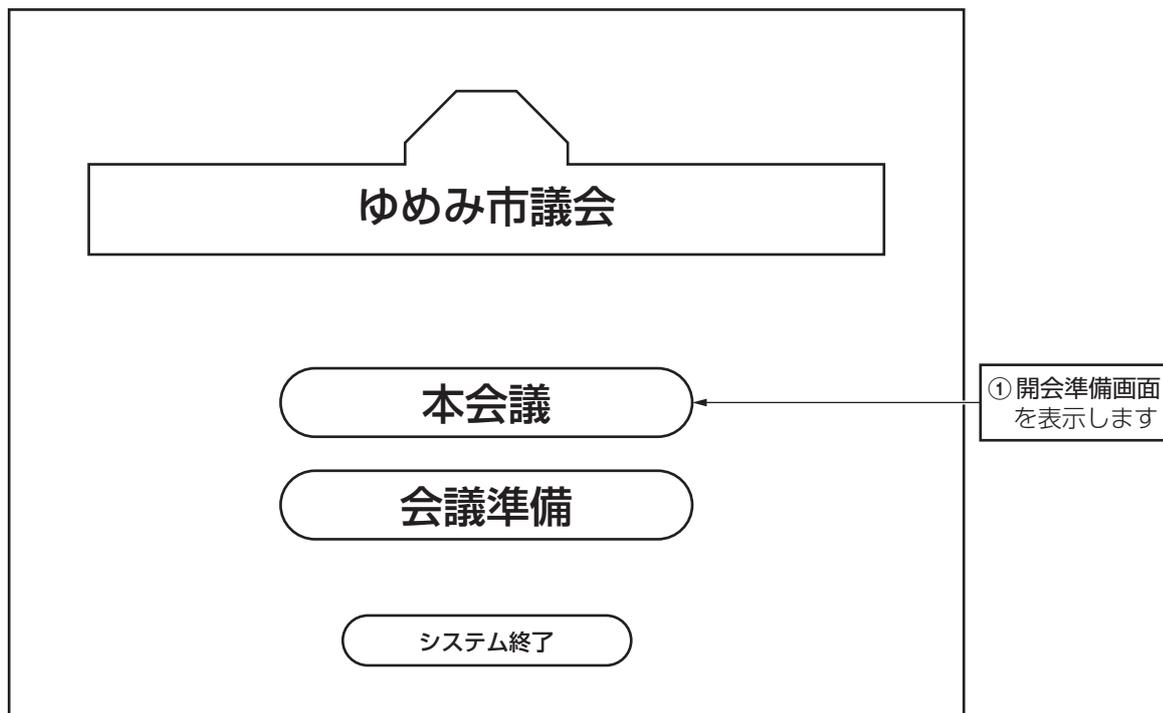
万一、自動点検で異常が発生し、ディスク交換でも修復できないときやPC連続録音中の復旧できないエラーが発生しても正常な側のディスクドライブまたは、正常なレコーダーを自動的に選んで録音します。

#### ●エラー発生時の録音の順序



# 5. 開会の準備を行うには

パソコンの電源を入れると、メイン画面(下図)が表示されます。



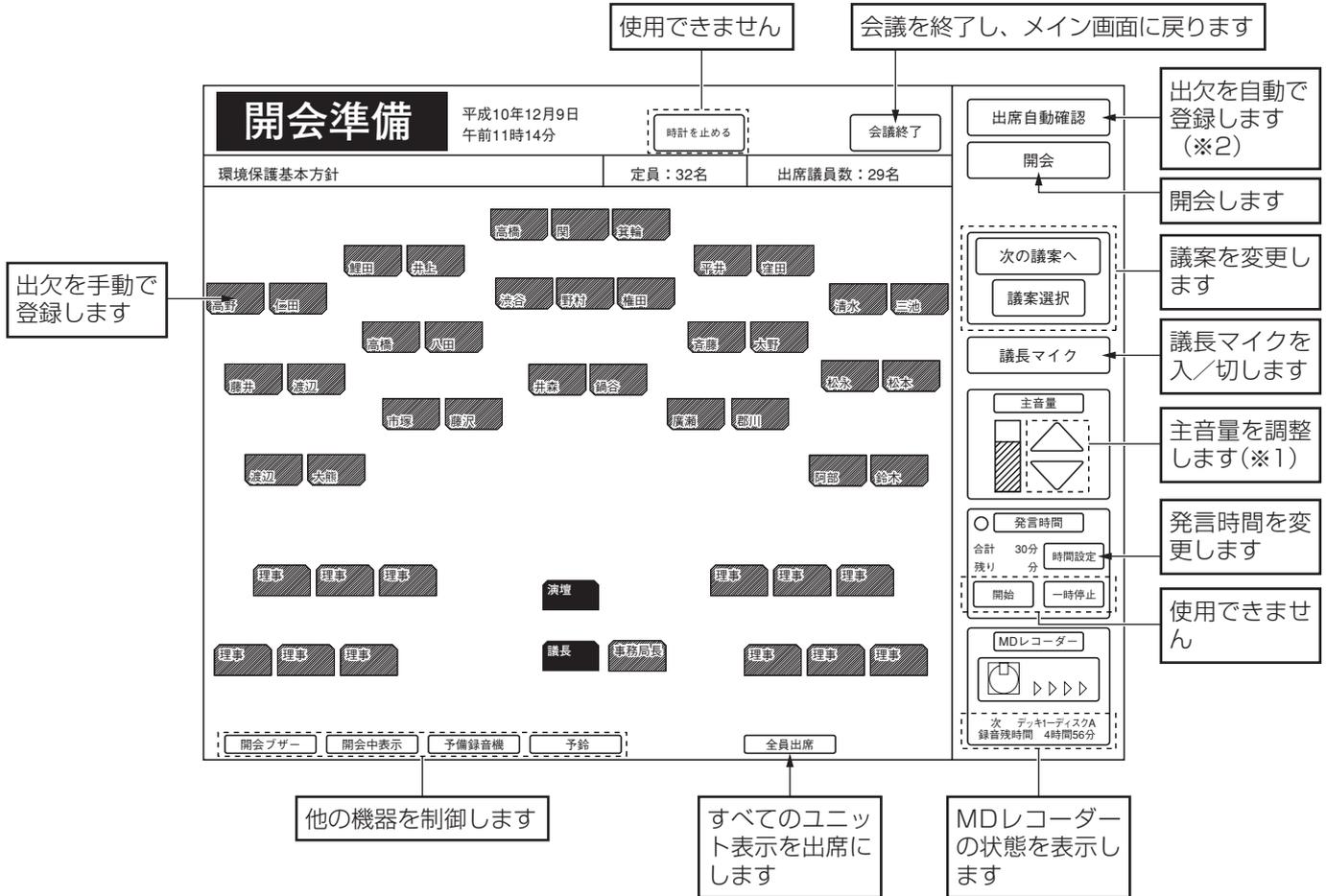
- ① **本会議** を押します。  
開会準備画面が表示されます→次ページへ

## 5. 開会の準備を行うには

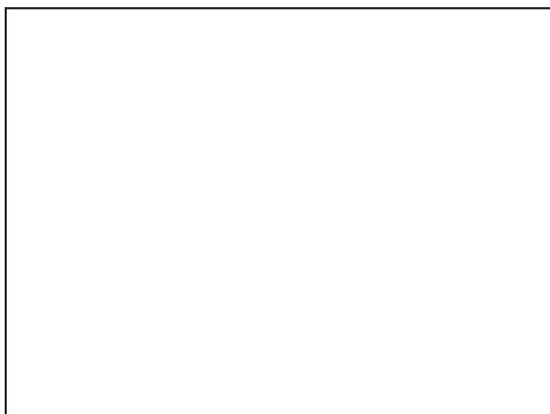
### 5. 開会の準備を行うには (つづき)

#### ② 開会準備画面が表示されます。

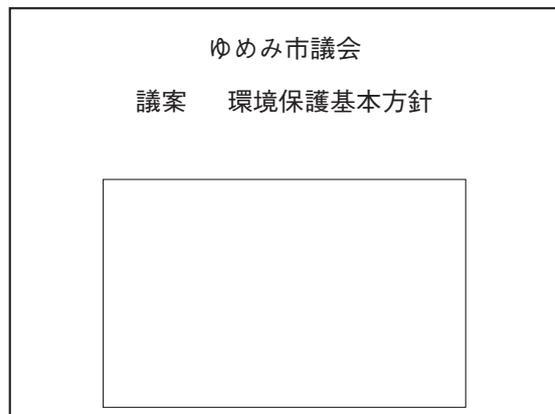
本会議を開会する前は必ずこの画面になります。  
出席等の確認を行ってから、本会議を開会してください。  
この画面では以下のようなことができます。



※開会準備画面では議場内表示、議長向け表示は次のようになります。



議場内表示



議長向け表示 (※3)

- (※1) 会議時主音量操作ですの設定時のみ表示されます。
- (※2) 出席自動確認ありの設定時のみ表示されます。
- (※3) システム設定により、枠を表示させないこともできます。

## 5.1 出席者を登録するには

### ■ 出席者を自動で登録する

ターミナルユニットの出席信号を読み込んで、出席を登録します。

開会準備 平成10年12月9日 午前11時14分 時計を止める 会議終了

出席自動確認 開会

① 出席信号を取り込みます

③ 出席議員数を表示します

② 出席の場合はユニット表示が黒色になります

② 欠席の場合はユニット表示が薄い灰色のままになります

環境保護基本方針 定員：32名 出席議員数：29名

高野 仁田 高橋 八田 藤井 渡辺 渡辺 大熊

高橋 関 箕輪 榊田 井上 平井 窪田 清水 三池

渡谷 野村 権田 高橋 八田 藤井 渡辺 渡辺 大熊

井森 鍋谷 阿部 鈴木

次議案へ 議案選択 議長マイク

主音量

発言時間 合計 30分 残り 分 時間設定 開始 一時停止

MDレコーダー 次 デッキ1-ディスクA 録音残時間 4時間56分

開会ブザー 開会中表示 予備録音機 予鈴 全員出席

#### ① 出席自動確認 を押します。

ターミナルユニットの出席信号を読み込みます。

#### ② ユニット表示が変化します。

出席のユニット表示は黒色、欠席のユニット表示は薄い灰色です。



#### ③ 出席議員数を表示します。

出席者のうち、議員のみ出席議員数として表示します。

※ 議長と演壇に設定されているユニット表示は、その出席信号にかかわらず、常に出席になります。

※ 未使用に設定されているユニット表示は、その出席信号にかかわらず、常に欠席になります。

※ 開会すると出席自動確認は行えません。

## 5. 開会の準備を行うには

### 5.1 出席者を登録するには(つづき)

#### ■ 出席者を手動で登録する

ターミナルユニットの出席信号にかかわらず、手動で出席、欠席を登録することができます。

The screenshot shows a meeting preparation screen for '環境保護基本方針' (Basic Policy on Environmental Protection) on Dec 9, 2018. It displays a seating chart with 32 members and 29 attendees. Callouts indicate: ① Pressing the unit for an attendee registers them as absent; ② Pressing the unit for an absent member registers them as present; ③ Pressing the unit for all members registers everyone as present. The interface includes a timer, a '全員出席' (All Present) button, and various control panels for volume, microphone, and recording.

- ① (出席) (欠席)  
 を押します。  
 黒色 薄い灰色

出席のユニット表示を押すと欠席に、欠席のユニット表示を押すと出席になります。

を押すと、すべてのユニット表示が出席になります。

- ② 出席議員数を表示します。

出席者のうち、議員のみ出席議員数として表示します。

※出席を登録すると、議場内表示、議長向け表示は次のようになります。

議場内表示

出席議員数 29

議長向け表示 (※1)

ゆめみ市議会  
議案 環境保護基本方針

出席議員数 29名

※議長と演壇に設定されているユニット表示は、常に出席を示し欠席にはなりません。

未使用に設定されているユニット表示は、常に欠席を示し出席にはなりません。

※欠席の場合、そのターミナルユニットを操作することはできません。操作したい場合は、必ず出席にしてください。

(※1) システム設定により、枠を表示させないこともできます。

## 5.2 議長のマイクを入／切するには

開会準備画面では、議長のマイクのみ操作することができます。その他のユニットのマイクの操作はできません。

① **議長マイク** を押します。

1回押すとマイクが入に、もう一度押すとマイクが切になります。

② **ユニット表示が変化します。**

マイクが入っている場合、ユニット表示は緑色に、マイクが切れている場合、ユニット表示は黒色になります。



- ※ 議長に設定されたターミナルユニットのマイクボタンを押すことでもマイクを入／切することができます。その時も、画面のユニット表示が変化し、マイクの入／切の状態が分かります。
- ※ **開会準備画面**では議長に設定されたターミナルユニットのマイクボタンのみ受け付けます。その他のターミナルユニットのスイッチ操作は受け付けません。
- ※ 議長のマイクが入るとMDレコーダーは自動的に録音を開始します。また議長のマイクが切れるとMDレコーダーは自動的に録音を停止します。

### 5.3 発言時間を変更するには

■ 登録された発言時間一覧から選択する

開会準備 平成10年12月9日 午前11時14分 時計を止める 会議終了

環境保護基本方針 定員：32名 出席議員数：29名

高野 仁田 高橋 八田 藤井 渡辺 菅野 藤沢 高橋 関 荻輪 高橋 井上 平井 窪田 洗谷 野村 権田 清水 三池 高橋 八田 齊藤 安部 藤井 渡辺 井森 鍋谷 松永 松本 菅野 藤沢 廣瀬 郡川 渡辺 大熊 阿部 鈴木

理事 理事 理事 演壇 議長 事務局長 理事 理事 理事

開会ブザー 開会中表示 予備録音機 予鈴 全員出席

- ① **時間設定** を押します。  
発言時間設定画面が表示されます。→次ページへ

## 5.3 発言時間を変更するには(つづき)

### ■ 登録された発言時間一覧から選択する(つづき)

#### ② 発言時間設定画面が表示されます。

開会準備 平成10年12月9日 午前11時14分 時計を止める 会議終了

環境保護基本方針 定員：32名 出席議員数：29名

高橋 関 箕輪  
鯉田 井上  
高野 仁田  
高橋 八田  
藤井 渡辺  
菅原 藤沢  
渡辺 大熊  
理事 理事 理事  
理事 理事 理事

発言時間設定 戻る

発言時間一覧

鍋谷	30分
市塚	40分
平井	28分
関	43分
渡辺	50分

設定

発言時間 30分

上 下

③ カーソルを上下に動かします

④ 現在選択されている発言時間を表示します

⑤ 枠内に表示されている値で決定します

⑥ 発言時間設定画面を閉じます

決定した値を表示します

戻る

設定

発言時間

主音量

議長マイク

次の議案へ

議案選択

出席自動確認

開会

MDレコーダー

次 デッキ1-ディスクA 録音残時間 4時間56分

開会ブザー 開会中表示 予備録音機 予鈴 全員出席

#### ③ 発言時間一覧横の を押します。

カーソルを動かして発言時間を選択します。

1つの画面に5つの発言時間を表示します。それ以上登録されている場合はスクロールして表示します。

カーソルは現在選択されている発言時間を指しています。

#### ④ 発言時間枠内に選択された発言時間が表示されます。

#### ⑤ を押します。

枠内に表示されている値で決定されます。

#### ⑥ を押します。

発言時間設定画面を閉じます。

### 5.3 発言時間を変更するには(つづき)

#### ■ 発言時間をあらたに設定する

開会準備 平成10年12月9日 午前11時14分

時計を止める 会議終了

出席自動確認

開会

次の議案へ

議案選択

議長マイク

主音量

発言時間

合計 30分 残り 分 時間設定

開始 一時停止

MDレコーダー

次 デッキードイスクA 録音残時間 4時間56分

① 発言時間設定画面を表示します

① 時間設定 を押します。

発言時間設定画面が表示されます。→次ページへ

## 5.3 発言時間を変更するには(つづき)

### ■ 発言時間をあらたに設定する(つづき)

#### ② 発言時間設定画面が表示されます。

変更した値が表示されます

⑤ 発言時間設定画面を閉じます

④ 枠内に表示されている値で決定します

決定した値を表示します

③ 発言時間を1分単位で変更します

#### ③ 発言時間枠横の を押します。

発言時間を1分単位で変更できます。枠内の発言時間が変更されます。

#### ④ を押します。

枠内に表示されている値で決定します。

#### ⑤ を押します。

発言時間設定画面を閉じます。

※ 発言時間は最大999分まで設定できます。

## 5.4 議案を変更するには

### ■ 登録順に議案を変更する

登録されている順番に議案を表示していくことができます。

The screenshot shows a meeting preparation screen titled "開会準備" (Meeting Preparation) for December 9, 2018, at 11:14 AM. The main area displays a list of members in a grid format, with the current agenda item "環境保護基本方針" (Basic Policy on Environmental Protection) selected. The right-hand control panel includes buttons for "出席自動確認" (Automatic Attendance Confirmation), "開会" (Start Meeting), "次の議案へ" (Next Agenda Item), "議案選択" (Agenda Selection), "議長マイク" (Chairman's Microphone), "主音量" (Main Volume), "発言時間" (Speaking Time) with a 30-minute timer, and "MDレコーダー" (MD Recorder) with playback controls. Two callouts provide instructions: ① "登録されている議案を順番に表示します" (Display agenda items in order of registration) points to the "次の議案へ" button, and ② "選択された議案を表示します" (Display the selected agenda item) points to the "環境保護基本方針" item in the list.

① **次の議案へ** を押します。  
次に登録されている議案が選択されます。

② **選択された議案が表示されます。**  
議長向け表示にも変更した議案を表示します。

※ 議案が登録されていない場合は、“議案が登録されていません”と表示されます。

## 5.4 議案を変更するには(つづき)

## ■ 登録された議案一覧から選択する

登録されている順に審議を行わない場合、議案一覧から、所定の議案を選択して表示することができます。

開会準備

平成10年12月9日  
午前11時14分

時計を止める

会議終了

環境保護基本方針

定員：32名

出席議員数：29名

出席自動確認

開会

次の議案へ

議案選択

議長マイク

主音量

○ 発言時間

合計 30分

残り 分

時間設定

開始

一時停止

MDレコーダー

次 デッキ1-ディスクA

録音残時間 4時間56分

開会ブザー

開会中表示

予備録音機

予鈴

全員出席

① 議案選択画面を表示します

## ① 議案選択 を押します。

議案選択画面が表示されます。→次ページへ

## 5.4 議案を変更するには(つづき)

### ■ 登録された議案一覧から選択する(つづき)

#### ② 議案選択画面が表示されます。

#### ③ を押します。

カーソルを動かして、表示したい議案を選択します。

1画面に5つの議案を表示します。それ以上登録されている場合は、スクロールして表示します。

カーソルは、現在選択されている議案を指しています。

#### ④ を押します。

カーソルで選択されている議案で決定します。

議長向け表示にも決定した議案を表示します。

#### ⑤ を押します。

議案選択画面を閉じます。

## 5.5 他の機器を制御するには

他の機器を制御できます。例えば、ブザーなどを動作させることができます。

① 他の機器を制御します

### 例) 開会ブザーを制御する場合

- ① **開会ブザー** を押します。  
 “開会ブザー”の文字色が黄色になり、開会ブザーが鳴動します。
- ② **もう一度 開会ブザー** を押します。  
 “開会ブザー”の文字色が白色になり、開会ブザーが停止します。

## 5.6 主音量を調整するには

会議の準備で、会議時主音量操作をするに設定した場合のみ、主音量を調整するボタンが表示されます。初期設定では会議時主音量操作はしないに設定されています。主音量の調整を行う場合には、会議時主音量操作をするに設定してください。

(4.1.7主音量のボリュームを設定するにはを参照してください。)

The screenshot shows a meeting preparation screen titled "開会準備" (Meeting Preparation). At the top, it displays the date and time: "平成10年12月9日 午前11時14分". There are buttons for "時計を止める" (Stop Clock) and "会議終了" (End Meeting). Below this, it shows "環境保護基本方針" (Basic Policy on Environmental Protection) and statistics: "定員: 32名" (Total Seats: 32) and "出席議員数: 29名" (Number of Attendees: 29). The main area contains a grid of participant names, some with shaded boxes indicating they are speaking or have a microphone on. On the right side, there is a control panel with several buttons: "出席自動確認" (Automatic Attendance Confirmation), "開会" (Start Meeting), "次の議案へ" (Next Agenda Item), "議案選択" (Select Agenda Item), "議長マイク" (Speaker's Microphone), and "主音量" (Volume). The "主音量" section includes a volume slider and two triangular buttons (up and down). Two callout boxes with arrows point to these buttons: "① 主音量を調整します" (Adjust volume) points to the up/down buttons, and "② 現在の主音量を表示します" (Display current volume) points to the volume slider. Below the volume control, there are buttons for "発言時間" (Speaking Time), "合計 30分 残り 分" (Total 30 min, Remaining min), "開始" (Start), and "一時停止" (Pause). At the bottom of the control panel, there is an "MDレコーダー" (MD Recorder) section with a play button and "次 デッキ1-ディスクA 録音残時間 4時間56分" (Next Deck 1-Disk A Recording Remaining Time 4h 56m). At the bottom of the screen, there are buttons for "開会ブザー" (Start Meeting Buzzer), "開会中表示" (Start Meeting Display), "予備録音機" (Pre-recording Device), "予鈴" (Pre-bell), and "全員出席" (All Attendees Present).

① ▲ ▼ を押します。  
主音量が調整できます。音量は0～10の11段階で変更できます。

② 設定された値を表示します。

## 5.7 開会準備画面におけるMDレコーダーPM-R30について

開会準備画面に入ると、MDレコーダーはPC連動を開始します。MDレコーダーがスタンバイ状態のときはPC連動を開始できません。必ず電源を入にしておいてください。

PC連動が開始されると、MDレコーダーはイジェクトボタン以外、使用できなくなります。

この時、MDレコーダーはすべて停止しています。MDレコーダーはブランクディスクへの録音のみが可能です。必ずブランクディスクを挿入しておいてください。

### ■ MDレコーダーの状態を確認する

The screenshot shows a meeting preparation interface. At the top, it displays the date and time: 平成10年12月9日 午前11時14分. Below this, there are buttons for '時計を止める' and '会議終了'. The main area shows a list of participants, including names like 高橋, 関, 箕輪, 鯉田, 井上, 平井, 窪田, 高野, 仁田, 渡谷, 野村, 権田, 清水, 三池, 高橋, 八田, 斉藤, 森野, 藤井, 渡辺, 井森, 鍋谷, 松永, 松本, 渡辺, 大熊, 市見, 藤沢, 廣瀬, 郡川, 阿部, 鈴木, and several '理事' (Council Members) and '議長' (Chairman). At the bottom, there are buttons for '開会ブザー', '開会中表示', '予備録音機', '予鈴', and '全員出席'. On the right side, there is a control panel with buttons for '出席自動確認', '開会', '次の議案へ', '議案選択', '議長マイク', '主音量', '発言時間', '合計 30分', '残り 分', '時間設定', '開始', '一時停止', and 'MDレコーダー'. The 'MDレコーダー' section shows a play button icon and text: '次 ディッキードイスA', '録音残時間 4時間59分'. Callout boxes indicate that clicking the play button (①) shows the MD recorder status, and clicking the 'MDレコーダー' text (②) shows the MD recorder screen.

#### ① MDレコーダーの状態を表示します

最初に録音を開始する録音機No.とシステムの総録音残時間を表示します。

#### ② 詳しいMDレコーダーの状態を知りたい場合は



を押します。

MDレコーダー画面が表示されます。→次ページへ

※ MDレコーダーがなしに設定されている場合は、“MDが接続されていません”と表示されます。

MDレコーダーのドライブにブランクディスクが1枚も挿入されていない場合は、“ディスク記録不可”と表示されます。

※ 開会準備画面では、議長のマイクの入/切で自動的に録音を開始/停止します。

## 5.7 開会準備画面におけるMDレコーダーPM-R30について(つづき)

### ■ MDレコーダーの状態を確認する(つづき)

#### ③ MDレコーダー画面が表示されます。

The screenshot shows a meeting preparation interface with a central MD Recorder window. The MD Recorder window displays the following information:

- デッキ 1-ディスク A: 録音 (Recording)
- デッキ 1-ディスク A: 停止: 74分 (Stopped: 74 min)
- デッキ 1-ディスク B: 停止: 74分 (Stopped: 74 min)
- デッキ 2-ディスク A: 停止: 74分 (Stopped: 74 min)
- デッキ 2-ディスク B: 停止: 74分 (Stopped: 74 min)
- デッキ 3-ディスク A: ディスクなし (No disk)
- デッキ 3-ディスク B: ディスクなし (No disk)
- デッキ 4-ディスク A: 未接続 (Not connected)
- デッキ 4-ディスク B: 未接続 (Not connected)

Callouts on the right side of the screenshot:

- ⑤ MDレコーダー画面を閉じます (Close MD Recorder screen)
- MDレコーダーの状態が個別にわかります (MD Recorder status is visible individually)

※表示とMDレコーダーの状態は次のようになります。

表示	MDの状態
停止:74分	停止中です(録音残時間は74分です)
録音中:50分	録音中です(録音残時間は50分です)
ディスク記録不可	挿入されているディスクは記録不可です →ブランクディスクを挿入してください
ディスクなし	ディスクが挿入されていません →ブランクディスクを挿入してください
ディスク異常	ディスクが異常です →他のブランクディスクに交換してください。
録音済	録音済です →必要に応じてディスクを交換してください
TOC読み書き中	TOC読み書き中です TOC読み書き中はMDの操作を行わないでください
未接続	MDレコーダーは接続されていません
通信エラー	MDレコーダー間の通信異常です
MD通信異常	MDメカとの通信異常です

#### ④ 戻る を押します。

MDレコーダー画面を閉じます。

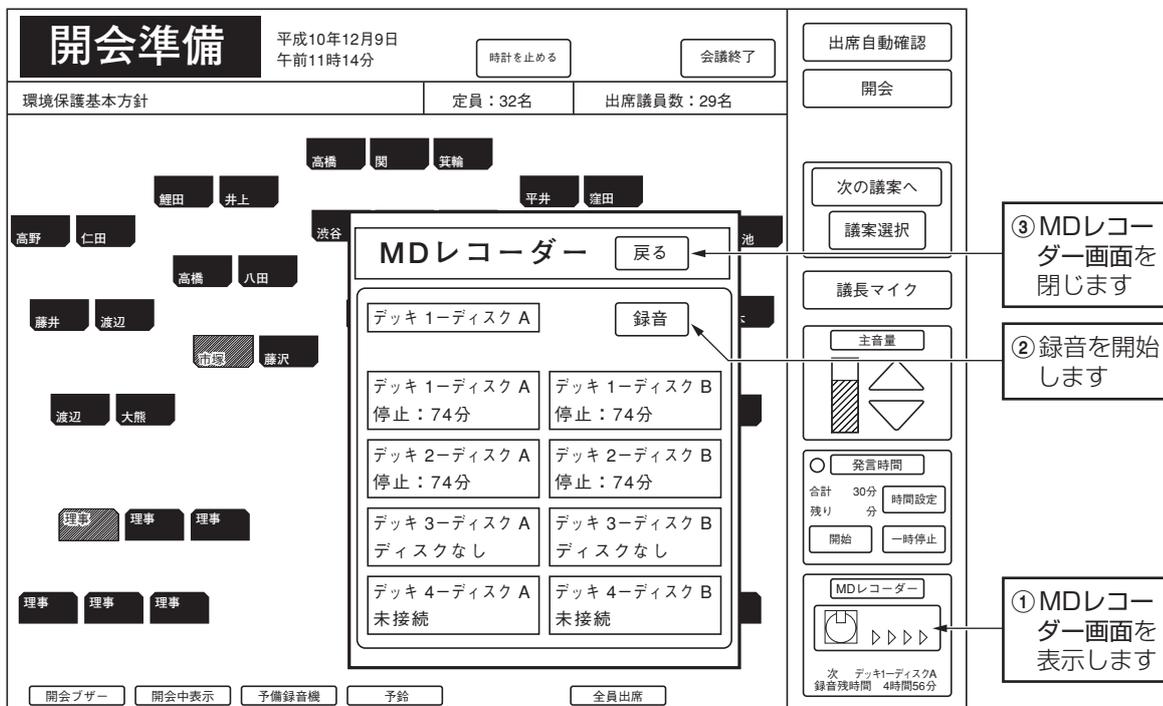
## 5.7 開会準備画面におけるMDレコーダーPM-R30について(つづき)

## ■手動で録音を開始する

開会準備画面ではMDレコーダーは停止しています。MDレコーダー画面で録音を開始することができます。

① MDレコーダー画面を表示します(  を押します)

5



開会準備画面のスクリーンショット。中央にはMDレコーダー画面が表示されています。MDレコーダー画面には「録音」ボタンと「戻る」ボタンがあります。右側の操作パネルには「MDレコーダー画面を閉じます」、「録音を開始します」、「MDレコーダー画面を表示します」の指示があります。

②  を押します。

MDレコーダーが録音を開始します。

録音を開始したMDレコーダーの状態が“録音中”に変化します。

③  を押します。

MDレコーダー画面を閉じます。

## ※録音を停止するには

 を押します。

(録音が始まると、 ボタンは  ボタンに変わります)

# 6. 開会するには

開会準備 平成10年12月9日 午前11時14分 時計を止める 会議終了

環境保護基本方針 定員：32名 出席議員数：32名

出席自動確認

開会 ①開会します

次の議案へ

議案選択

議長マイク

主音量

発言時間 合計 30分 残り 分 時間設定 開始 一時停止

MDレコーダー

次 デッキ1-ディスクA 録音残時間 4時間56分

開会ブザー 開会中表示 予備録音機 予鈴 全員出席

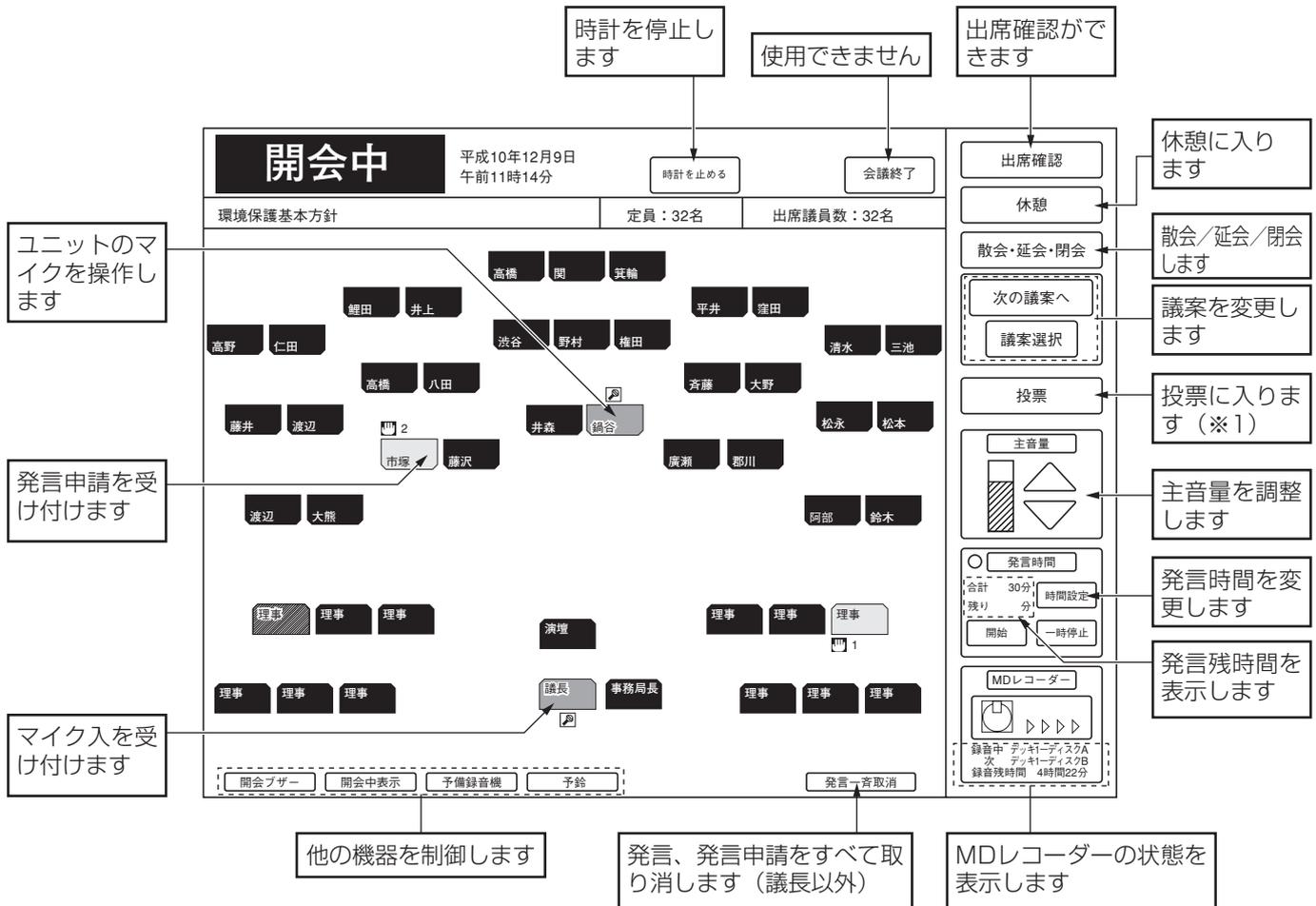
6

- ①  を押します。  
開会中画面が表示されます。→次ページへ

6. 開会するには (つづき)

② 開会中画面が表示されます。

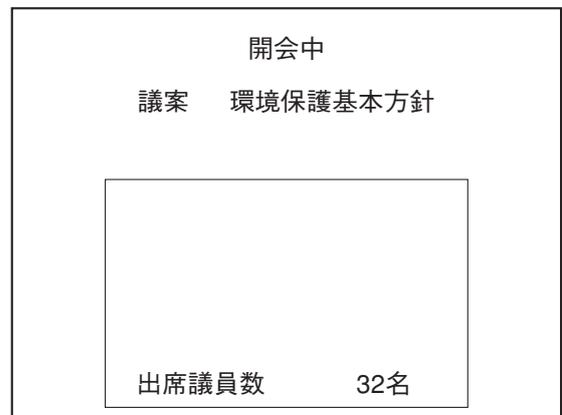
開会すると開会中画面が表示されます。  
この画面で、会議を進めていきます。  
この画面では以下のようなことができます。



※開会すると議場内表示、議長向け表示は次のようになります。



議場内表示



議長向け表示 (※2)

(※1) 議会の設定で投票機能ありを選択している時のみ表示されます。

(※2) システム設定により、枠を表示させないこともできます。

## 6.1 ターミナルユニットのマイクを入／切するには

### 6.1.1 ターミナルユニットのマイクを入れるには

- ① (出席) (発言申請中)  
  を押します。  
 黒色 黄色

出席、発言申請中のユニットはマイクが入になり、ユニット表示が緑色になります。

※マイクを入にした時、議場内表示、議長向け表示は次のようになります。

- (発言中)  
  
 緑色

議場内表示

議長向け表示 (※1)

※議長向け表示には誰が発言中であるかを表示します。  
 (議員、理事の名前を表示します。議長、事務局長は発言中であっても表示されません。)

(※1) システム設定により、枠を表示させないこともできます。

6.1.2 ターミナルユニットのマイクを切るには

- ① (発言中)  を押します。  
  
 緑色

発言中のユニットはマイクが切になり、ユニット表示は黒色に戻ります。

※ 同時発言者の設定について  
 同時発言者数の設定はシステム設定で行います。  
 同時発言者数にマスターターミナルユニットは含まれません。  
**同時発言者が1人のとき**  
 次のユニットがマイク入になると、前のユニットは自動的に切になります。

**同時発言者が2人、3人のとき**  
 設定した同時発言者数以上のマイクは入にできません。  
 マイクが入になっているユニットのマイクを切にしてから、次のユニットを入にしてください。



6.1.4 ターミナルユニットのスイッチ操作を受け付ける

開会中 平成10年12月9日 午前11時14分

時計を止める 会議終了

環境保護基本方針 定員：32名 出席議員数：32名

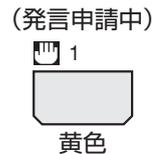
出席確認  
休憩  
散会・延会・閉会  
次の議案へ  
議案選択  
投票  
主音量  
発言時間  
合計 30分 残り 分 時間設定  
開始 一時停止  
MDレコーダー  
録音中 デッキードディスクA  
次 デッキードディスクB  
録音残時間 4時間22分

① 発言申請を受け付けます

② マイクが入ったことを受け付けます

① 発言申請を受け付けます。(メンバーターミナルユニットより)

発言申請中の場合、ユニット表示は黄色(発言申請中)になります。



② マイクが入ったことを受け付けます。(マスターターミナルユニットより)

マスターターミナルユニットはPCから操作しなくてもマイクを入にすることができます。マイクが入になった場合、ユニット表示は緑色(発言中)になります。



※発言申請を受け付けた時、議場内表示、議長向け表示は次のようになります。

出席議員数 32

議場内表示

開会中

議案 環境保護基本方針

発言中 鍋谷

発言申請中 山口  
市塚

出席議員数 32名

議長向け表示(※1)

※議長向け表示には誰が発言申請中かを表示します。(議員, 理事の名前を表示します。議長, 事務局長は発言中であっても表示されません。)

※マスターターミナルユニットからの発言者解除を受け付けた場合

議長以外のすべてのユニットのマイクが切になり、ユニット表示は黒色に戻ります。発言者解除を行ったユニットが事務局長の場合、発言者解除を行う時にマイクが入であっても、発言者解除により、事務局長のマイクは切になります。発言申請はそのまま残ります。

(※1) システム設定により、枠を表示させないこともできます。

## 6.2 発言残時間を表示するには

### 6.2.1 発言残時間の減算を開始するには

開会中 平成10年12月9日 午前11時14分 時計を止める 会議終了

環境保護基本方針 定員：32名 出席議員数：32名

高橋 関 箕輪  
鯉田 井上 平井 窪田  
高野 仁田 渋谷 野村 権田 清水 三池  
高橋 八田 斉藤 大野  
藤井 渡辺 井森 綿谷 松永 松本  
市塚 藤沢 廣瀬 郡川  
渡辺 大熊 阿部 鈴木  
理事 理事 理事 演壇 理事 理事 理事  
理事 理事 理事 議長 事務局長 理事 理事 理事

開会ブザー 開会中表示 予備録音機 予鈴 発言一言取消

出席確認  
休憩  
散会・延会・閉会  
次の議案へ  
議案選択  
投票  
主音量  
発言残時間  
MDレコーダー

① ランプが点滅を開始します  
現在設定されている発言時間が表示されます  
① 発言残時間の減算を開始します

② 発言残時間を表示します

#### ① 開始 を押します。

発言残時間の減算が開始されます。  
緑色のランプが点滅を開始します。

#### ② 発言残時間を表示します。

議場内表示、議長向け表示にも発言残時間が表示されます。

※残り時間が1分を切ると、残時間が点滅表示します。

残り時間がなくなると

- ・ 発言超過時間表示ありの場合、超過時間を赤い文字で表示します。
- ・ 発言超過時間表示なしの場合、0分のまま点滅表示します。

※ 発言超過時間表示のあり／なし設定はシステム設定で行います。

### 6.2.1 発言残時間の減算を開始するには(つづき)

※発言残時間の減算を開始すると、議場内表示、議長向け表示は次のようになります。

《発言残時間表示》

発言残時間	8分
出席議員数	32

議場内表示

開会中		
議案	環境保護基本方針	
発言中	鍋谷	残時間 8分
発言申請中	山口 市塚	
出席議員数	32名	

議長向け表示 (※1)

※発言残時間が1秒～60秒のときは“1分”と表示し、“1”の部分が点滅します。

61秒～120秒のときは“2分”と表示します。

《発言超過時間表示》

発言超過	1分
出席議員数	32

議場内表示

開会中		
議案	環境保護基本方針	
発言中	鍋谷	超 過 1分
発言申請中	山口 市塚	
出席議員数	32名	

議長向け表示 (※1)

※0秒～59秒の超過は“0分”、60秒～119秒の超過は“1分”と表示します。

(※1) システム設定により、枠を表示させないこともできます。

## 6.2.2 発言残時間の減算を終了するには

開会中 平成10年12月9日 午前11時14分 時計を止める 会議終了

環境保護基本方針 定員：32名 出席議員数：32名

高野 仁田 高橋 八田 藤井 渡辺 市塚 藤沢 高橋 関 箕輪 鯉田 井上 平井 窪田 洗谷 野村 権田 清水 三池 高橋 八田 齊藤 大野 井森 錦谷 松永 松本 渡辺 大熊 阿部 鈴木 議長 事務局長

① 発言残時間の減算を終了します

② 確認用のダイアログが表示されます。はい を押します。

③ 発言残時間表示が終了します

④ 次の値がセットされます

③ ランプの点滅が終了します

- ①  を押します。  
(発言残時間の減算を開始すると、 ボタンが  ボタンになります)

- ② 確認用のダイアログが表示されます。  を押します。

発言残時間の減算を終了しますか？

- ③ 発言残時間の表示が終了します。  
議場内表示、議長向け表示の残時間表示と緑色のランプの点滅も終了します。

- ④ 次に登録されている発言時間がセットされます。  
登録されている発言時間の次の値がセットされます。

6.2.3 発言残時間の減算を一時停止／続行するには

The screenshot shows a meeting control interface. At the top, it displays '開会中' (Meeting in Progress), the date '平成10年12月9日 午前11時14分', and buttons for '時計を止める' (Stop Clock) and '会議終了' (Meeting Ended). Below this, it shows '環境保護基本方針' (Basic Policy on Environmental Protection) and '定員：32名 出席議員数：32名' (Capacity: 32, Attendance: 32). The main area is a seating chart with names of members. On the right, there are control buttons: '出席確認' (Check Attendance), '休憩' (Break), '散会・延会・閉会' (Dismissal/Adjournment/End of Meeting), '次の議案へ' (Next Agenda Item), '議案選択' (Agenda Selection), '投票' (Vote), '主音量' (Main Volume), '発言時間' (Speaking Time) with a progress bar showing '合計 30分 残り 8分' (Total 30 min, Remaining 8 min), and buttons for '停止' (Stop) and '一時停止' (Pause). Below these are 'MDレコーダー' (MD Recorder) controls and recording status. At the bottom, there are buttons for '開会ブザー' (Meeting Buzzer), '開会中表示' (Meeting Start Display), '予備録音機' (Pre-recording Device), '予鈴' (Pre-bell), and '発言一斉取消' (Cancel All Speaking). Two callouts point to the '一時停止' button and the '発言時間' progress bar, with text: '① ランプの点滅が停止／再開します' (① Lamp flashing stops/resumes) and '① 発言残時間の減算を一時停止します' (① Stop the deduction of remaining speaking time).

- ① **一時停止** を押します。  
 発言残時間の減算を一時停止します。  
 点滅表示中に一時停止した場合は、点滅表示を止めます。  
 緑色のランプの点滅が停止します。

※一時停止を解除するには

- 続行** を押します。  
 (発言残時間の減算を一時停止すると、**一時停止** ボタンが **続行** ボタンになります)  
 発言残時間の減算を再開します。  
 一時停止前に点滅表示であった場合は、点滅表示を再開します。  
 緑色のランプの点滅が再開します。

### 6.2.4 発言時間を変更するには

#### ■ 登録された発言時間一覧から選択する

① 発言時間設定画面を表示します

- ① **時間設定** を押します。  
発言時間設定画面が表示されます。→次ページへ

6.2.4 発言時間を変更するには(つづき)

■登録された発言時間一覧から選択する(つづき)

② 発言時間設定画面が表示されます。

The screenshot shows a meeting interface with a '発言時間設定' (Speaking Time Setting) dialog box. The dialog box contains a table of registered speakers and their times:

発言時間一覧	時間
鍋谷	30分
市塚	40分
平井	28分
関	43分
渡辺	50分

Below the table, the '発言時間' (Speaking Time) is set to 30分. The dialog box has '戻る' (Back) and '設定' (Set) buttons. Callouts explain the interface elements:

- ③ 発言時間一覧横の ▲ ▼ を押します。 (Push the ▲ ▼ buttons on the side of the speaking time list.)
- ④ 現在選択されている発言時間を表示します (Displays the speaking time currently selected.)
- ⑤ 枠内に表示されている値で決定します (Decide with the value displayed in the frame.)
- ⑥ 発言時間設定画面を閉じます (Close the speaking time setting screen.)

③ 発言時間一覧横の ▲ ▼ を押します。

カーソルを動かして発言時間を選択します。

1つの画面に5つの発言時間を表示します。それ以上登録されている場合はスクロールして表示します。

カーソルは現在選択されている発言時間を指しています。

④ 発言時間枠内に選択された発言時間が表示されます。

⑤ 設定 を押します。

枠内に表示されている値で決定されます。

⑥ 戻る を押します。

発言時間設定画面を閉じます。

### 6.2.4 発言時間を変更するには (つづき)

#### ■ 発言時間をあらたに設定する

- ① **時間設定** を押します。  
発言時間設定画面が表示されます。→次ページへ

6.2.4 発言時間を変更するには(つづき)

■ 発言時間をあらたに設定する (つづき)

② 発言時間設定画面が表示されます。

開会中 平成10年12月9日 午前11時14分 時計を止める 会議終了

環境保護基本方針 定員：32名 出席議員数：32名

高橋 関 箕輪  
鯉田 井上  
高野 仁田  
高橋 八田  
藤井 渡辺  
市塚 藤沢  
渡辺 大熊  
理事 理事 理事

発言時間設定

発言時間一覧

鍋谷	30分
市塚	40分
平井	28分
関	43分
渡辺	50分

発言時間 → 30分

戻る 設定

③ 発言時間枠横の 上 下 を押します。  
発言時間を1分単位で変更できます。枠内の発言時間が変更されます。

④ 設定 を押します。  
枠内に表示されている値で決定します。

⑤ 戻る を押します。  
発言時間設定画面を閉じます。

変更した値が表示されます

⑤ 発言時間設定画面を閉じます

④ 枠内に表示されている値で決定します

決定した値を表示します

③ 発言時間を1分単位で変更します

出席確認  
休憩  
散会・延会・閉会  
次の議案へ  
議案選択  
投票  
主音量  
発言時間  
合計 30分 残り 分 時間設定  
開始 一時停止  
MDレコーダー  
録音中 デッキ1-ディスクA  
次 デッキ1-ディスクB  
録音残時間 4時間22分

開会ブザー 開会中表示 予備録音機 予鈴 発言一斉取消

- ③ 発言時間枠横の を押します。  
発言時間を1分単位で変更できます。枠内の発言時間が変更されます。
- ④ **設定** を押します。  
枠内に表示されている値で決定します。
- ⑤ **戻る** を押します。  
発言時間設定画面を閉じます。

※ 発言時間は最大999分まで設定できます。

## 6.3 議案を変更するには

## ■登録順に議案を変更する

登録されている順番に議案を表示していくことができます。

The screenshot shows a meeting interface with the following elements:

- Header:** 開会中 (Meeting in Progress), 平成10年12月9日 午前11時14分 (December 9, 2018, 11:14 AM), 時計を止める (Stop Clock), 会議終了 (End Meeting).
- Topic:** 環境保護基本方針 (Basic Policy on Environmental Protection).
- Attendance:** 定員: 32名 (Total Members: 32), 出席議員数: 32名 (Number of Members Present: 32).
- Member List:** A grid of member names including 高橋, 関, 延輪, 鯉田, 井上, 平井, 窪田, 高野, 仁田, 渋谷, 野村, 権田, 清水, 三池, 高橋, 八田, 斎藤, 大野, 藤井, 渡辺, 市場, 藤沢, 井森, 鍋谷, 松永, 松本, 渡辺, 大熊, 阿部, 鈴木, 理事 (Councilor), 演壇 (Stage), 議長 (Chairman), 事務局長 (Secretary General).
- Right Sidebar:**
  - 出席確認 (Check Attendance)
  - 休憩 (Break)
  - 散会・延会・閉会 (Dismiss Meeting / Postpone Meeting / End Meeting)
  - 次の議案へ (Next Proposal) - Callout ① points to this button.
  - 議案選択 (Select Proposal)
  - 投票 (Vote)
  - 主音量 (Main Volume) controls.
  - 発言時間 (Speaking Time) controls: 合計 30分 (Total 30 min), 残り 分 (Remaining min), 時間設定 (Time Setting), 開始 (Start), 一時停止 (Pause).
  - MDレコーダー (MD Recorder) controls: 録音中 (Recording), デッキ1-ディスクA (Deck 1 - Disc A), 次 (Next), デッキ1-ディスクB (Deck 1 - Disc B), 録音残時間 4時間22分 (Recording Remaining Time 4h 22m).
- Bottom Bar:** 開会ブザー (Meeting Buzzer), 開会中表示 (Show Meeting Start), 予備録音機 (Pre-recording Machine), 予鈴 (Pre-bell), 発言一言取消 (Cancel One Statement).

Callout ② points to the '次の議案へ' button, and callout ① points to the '議案選択' button.

① 次の議案へ を押します。  
次に登録されている議案が選択されます。

② 選択された議案が表示されます。  
議長向け表示にも変更した議案を表示します。

## 6.3 議案を変更するには (つづき)

### ■ 登録された議案一覧から選択する

登録されている順に審議を行わない場合、議案一覧から、所定の議案を選択して表示することができます。

The screenshot shows a meeting interface titled "開会中" (Meeting in Progress) for December 9, 2024, at 11:14 AM. The topic is "環境保護基本方針" (Basic Policy on Environmental Protection). There are 32 members and 32 attendees. The interface includes a grid of participant names, a control panel on the right, and a callout box indicating that the "議案選択" (Motion Selection) button is used to display the motion selection screen.

- ① **議案選択** を押します。  
議案選択画面が表示されます。→次ページへ

## 6.3 議案を変更するには (つづき)

## ■ 登録された議案一覧から選択する(つづき)

## ② 議案選択画面が表示されます。

決定した議案を表示します

登録されている議案の一覧が表示されます

⑤ 議案選択画面を閉じます

④ 議案を決定します

③ カーソルを上下に動かします

③   を押します。

カーソルを動かして、表示したい議案を選択します。

1画面に5つの議案を表示します。それ以上登録されている場合は、スクロールして表示します。

カーソルは、現在選択されている議案を指しています。

④  を押します。

カーソルで選択されている議案で決定します。

議長向け表示にも決定した議案を表示します。

⑤  を押します。

議案選択画面を閉じます。

## 6.4 他の機器を制御するには

他の機器を制御できます。例えば、ブザーなどを動作させることができます。

① 他の機器を制御します

### 例) 開会ブザーを制御する場合

- ① **開会ブザー** を押します。  
 “開会ブザー”の文字色が黄色になり、開会ブザーが鳴動します。
- ② **もう一度 開会ブザー** を押します。  
 “開会ブザー”の文字色が白色になり、開会ブザーが停止します。

## 6.5 時計を停止するには

① 時計を止める を押します。

② 時計を止めた時刻で表示されます。

会議記録ファイル、投票記録ファイルは時計を止めた時刻で記録されます。

※現在時刻に戻すには

① 現在時刻に戻す を押します。

(時計を止めると、「時計を止める」ボタンが「現在時刻に戻す」ボタンになります)

## 6.6 開会中に出席を登録するには

会議を開会した後に出席者に変更があった場合、出欠を登録することができます。

ただし、ターミナルユニットの出席信号は取り込みません。手動で出欠を登録することになります。

The screenshot shows a meeting control interface. At the top left, it says '開会中' (In Session) and '平成10年12月9日 午前11時14分'. Below this, it lists '環境保護基本方針' (Basic Policy on Environmental Protection) and '定員：32名 出席議員数：32名'. The main area is a seating chart with names of participants. On the right, there is a control panel with buttons for '出席確認' (Attendance Confirmation), '休憩' (Break), '散会・延会・閉会' (Dismissal/Extension/Closing), '次の議案へ' (Next Agenda Item), '議案選択' (Agenda Selection), '投票' (Vote), '音量' (Volume), '発言時間' (Speaking Time), and 'MDレコーダー' (MD Recorder). A callout box points to the '出席確認' button with the text '① 出席確認画面を表示します'.

- ① **出席確認** を押します。  
出席確認画面が表示されます。→次ページへ

## 6.6 開会中に出席を登録するには(つづき)

## ② 出席確認画面が表示されます。

③ 欠席のユニット表示を押すと出席になります

④ 出席議員数を表示します

③ 出席のユニット表示を押すと欠席になります

③ (出席) (欠席) を押します。

黒色 薄い灰色

出席のユニット表示を押すと欠席に、欠席のユニット表示を押すと出席になります。

## ④ 出席議員数を表示します。

出席者のうち、議員のみ出席議員数として表示します。

## ⑤ 確認終了 を押します。

出席確認を終了し、開会中画面に戻ります。

※ 議長と演壇に設定されているユニット表示は、常に出席を示し欠席にはなりません。

未使用に設定されているユニット表示は、常に欠席を示し出席にはなりません。

発言中、発言申請中のユニット表示を欠席にすることはできません。

※ 欠席の場合、そのターミナルユニットを操作することはできません。操作したい場合は、必ず出席にしてください。

※ 出席記録ファイルは登録するたびに更新されます。

## 6.6 開会中に出席を登録するには(つづき)

■ 出席確認画面では次のようなこともできます。

**出席確認** 平成10年12月9日 午前11時14分 確認終了

議長マイク

定員: 32名  
出席議員数: 31名

議長マイクを入/切します  
→5.2 議長のマイクを入/切するにはへ

発言申請、マイクが入ったことを受け付けます  
→ 6.1.4ターミナルユニットのスイッチ操作を受け付けるへ

MDレコーダーの状態を表示します  
→6.8開会中画面におけるMDレコーダーPM-R30についてへ

録音中 デッキ-ディスクA  
次 デッキ-ディスクB  
録音残時間: 4時間22分

※この画面は出席確認を行なう画面です。議長以外のユニットのマイクを入/切することはできません。会議を行なうには、**確認終了** で必ず開会中画面に戻ってください。



## 6.8 開会中画面におけるMDレコーダーPM-R30について

開会するとMDレコーダーは自動的に録音を開始します。

### ■ MDレコーダーの状態を確認する

The screenshot shows a meeting interface with the following elements:

- Header:** Meeting title "開会中" (Meeting in Progress), date "平成10年12月9日 午前11時14分", and buttons for "時計を止める" (Stop Clock) and "会議終了" (End Meeting).
- Participant List:** A grid of names including 高橋, 関, 箕輪, 鯉田, 井上, 平井, 窪田, 高野, 仁田, 渡谷, 野村, 権田, 清水, 三池, 高橋, 八田, 菅藤, 大野, 藤井, 渡辺, 市塚, 藤沢, 井森, 徳谷, 松永, 松本, 渡辺, 大熊, 阿部, 鈴木, 理事, 演壇, 議長, 事務局長.
- Right Sidebar:** Buttons for "出席確認" (Check Attendance), "休憩" (Break), "散会・延会・閉会" (End/Postpone/Close Meeting), "次の議案へ" (Next Agenda Item), "議案選択" (Select Agenda Item), "投票" (Vote), "主音量" (Main Volume), "発言時間" (Speaking Time) with a timer showing 30 minutes total and 0 minutes remaining, and "MDレコーダー" (MD Recorder) with a play button icon.
- Status Bar:** Buttons for "開会ブザー" (Meeting Buzzer), "開会中表示" (Meeting in Progress Display), "予備録音機" (Pre-recording Device), "予鈴" (Pre-bell), and "発言一言取消" (Cancel One Statement).

Callout ① points to the recording status in the status bar, indicating "録音中の表示になります" (The recording status will be displayed).

Callout ② points to the MD Recorder icon in the sidebar, indicating "MDレコーダー画面を表示します" (Display the MD Recorder screen).

#### ① 録音中の表示になります。

録音を開始した録音機No.、次に録音状態になる録音機No.、システムの総録音残時間を表示します。

#### ② さらに詳しいMDレコーダーの状態を知りたい場合は

を押します。

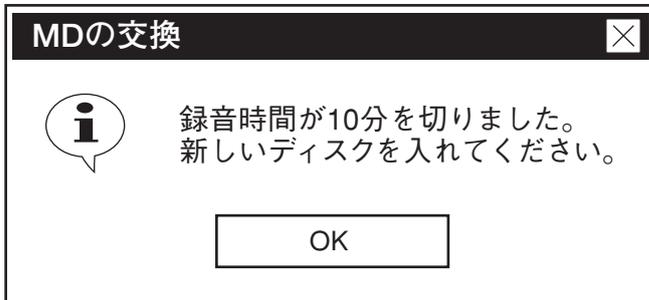
MDレコーダー画面が表示されます。→次のページへ



## 6.8 開会中画面におけるMDレコーダーPM-R30について(つづき)

### ■MDレコーダーの状態を確認する(つづき)

※録音残時間が10分未満になると、次のような表示が出ます。下記のように対処してください。



録音済みのディスクをブランクディスクと交換してください。  
ディスクを交換後、録音残時間が充分であるかを確認してください。

OK を押すと表示が消えます。















































































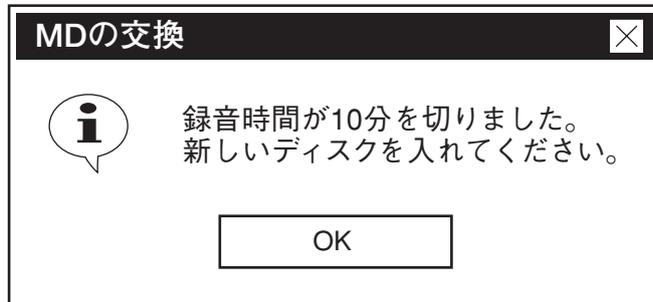




## 8.2.4 投票中におけるMDレコーダーPM-R30について(つづき)

### ■MDレコーダーの状態を確認する(つづき)

※ 録音残時間が10分未満になると、次のような表示が出ます。下記のように対処してください。



録音済のディスクをブランクディスクと交換してください。  
ディスクを交換後、録音残時間が充分であるかを確認してください。

を押すと表示が消えます。







































































































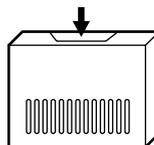
## 16.3 フロントパネルでの操作のしかた(つづき)

## ■消去のしかた(ポケットカバーをはずします)

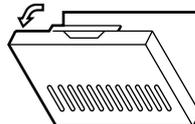
ご注意

- PC連動ランプが点灯しているときは手動操作はできません。プリマスタートディスクや消去防止状態になっているディスクは消去できません。
- 一度消去した録音は戻すことが出来ません。大切な録音のいったMDは消去防止つまみを録音禁止側にずらしておいてください。
- 部分消去、全消去とも各操作の後にイジェクト操作を行うことで消去作業が完了します。

ポケットカバーのはずしかた



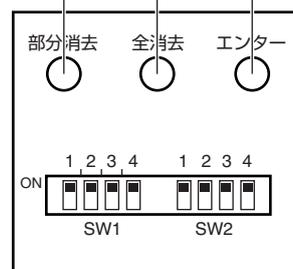
ペン先でロック部を押しながら軽く手前に引いてください。ロックがはずれます



部分消去ボタン

全消去ボタン

エンターボタン

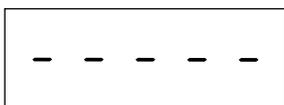


### 部分消去

指定した録音番号を消去するときに使用します。

- ① 停止時に送り  または戻しボタン  で消去したい録音番号を選んで部分消去ボタンを押します。中止するときは停止ボタン  を押してください。
- ② 録音番号が点滅している状態でエンターボタンを押します。
- ③ 終わったらイジェクトボタン  を押してディスクを取り出してください。

ディスクが出てくる前にメモリーICの消去作業内容をディスクに記録します。ディスクに記録中は

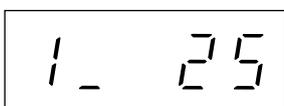


の表示が点滅します。

### 全消去

ディスクに録音されている内容を全て消去し、ブランクディスクにします。

- ① 停止時に全消去ボタンを押すと

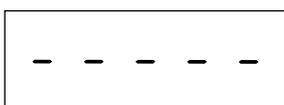


が点滅して表示されます。

録音番号1から最大録音番号を表示します。

中止するときは停止ボタン  を押してください。

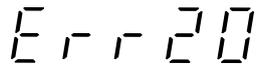
- ② エンターボタンで実行します。
- ③ 終わったらイジェクトボタン  を押してディスクを取り出してください。ディスクが出てくる前にメモリーICの消去作業内容をディスクに記録します。ディスクに記録中は



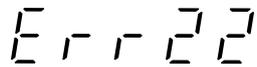
の表示が点滅します。

※ 部分消去ボタン、全消去ボタンを押して10秒以内にエンターボタンを操作しないと録音番号が点滅から点灯になり消去できなくなります。

## 16.4 エラーメッセージとその対処法



Err20...ディスクエラー  
ディスクを交換してください。



Err22...録音中に異常が発生  
停止ボタン  を押して停止してからイジェクトボタン  を押してMDを取り出し、  
もう1度操作しなおしてください。

再操作後、または電源を入れなおしてもErr(エラー)を表示する場合はお買い上げ販売店またはビクターサービス窓口へご連絡ください。

# 17. MDレコーダーPM-R30の単独モードでの使いかた

## 17.1 単独モードとは

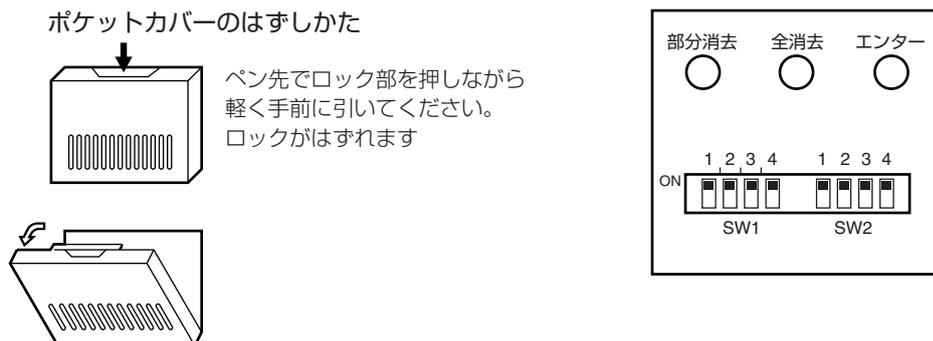
MDレコーダーPM-R30を議場システムでPCやシステムコントローラーPM-M330と組み合わせて使用することをPC連動モードと呼びます。

PC連動に対してMDレコーダーPM-R30を本機1台単独で使用することを単独モードと呼びます。

## 17.2 単独モード時の設定

### ■モード設定スイッチ(ディップスイッチ)の設定と電源投入

フロントパネルにあるポケットを図のようにはずしディップスイッチの設定を行ってください。



17

① 電源プラグを抜いておきます。

② SW1-1を単独モードにします。

③ SW1-2でモノラル、ステレオ録音を選びます。

モノラル録音をするとき(上)

ステレオ録音をするとき(下)

(モノラル、ステレオ録音の切替はディスクドライブ停止時にも変更できます)

④ SW1-3、SW1-4、SW2-1、SW2-2はすべてON(上)側に設定します。

⑤ SW2-3で録音モードを選びます。

連続録音をするとき(上)

ディスクA ⇄ ディスクBの交互連続録音を行います。

録音時には、ブランクディスク(録音されていないディスク)が必要です。

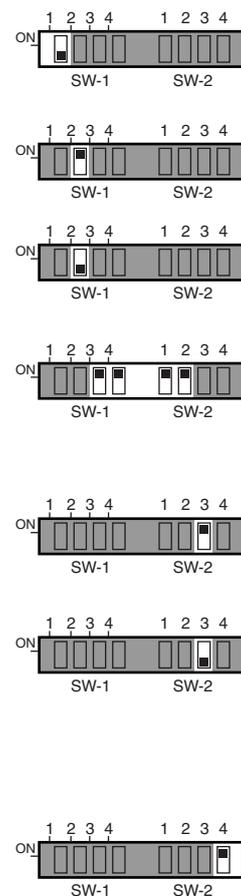
連続録音をしないとき(下)

ディスクA ⇄ ディスクBの交互連続録音を行わず、録音操作した側のディスクのみに録音します。

途中で録音してあるディスクでも録音できます。

自動的に録音の終わりをさがして、その続きから録音します。

⑥ SW2-4はON(上)側にしてください。













## 18.2 MDレコーダー PM-R30

### ■ 定 格

形 式 ミニディスクデジタルオーディオシステム

記 録 方 式 磁界変調オーバーライト方式

信 号 読 取 方 式 非接触光学方式

サンプリング周波数 44.1kHz

音 声 圧 縮 方 式 ATRAC方式

チャ ン ン ル 数 2チャンネル(L,R)またはモノラル

録 音 時 間 295分(74分タイプMD2枚使用、モノラル連続録音時)  
(ステレオ時は74分×2枚)

ダ ビ ン グ 本機内では不可

周 波 数 特 性 20Hz～20kHz

S N 比 80dB以上

ワウフラッター 測定限界(±0.001%W,PEAK)以下

入 力 端 子 RCAピンジャック  
(入力L,R、順送り出力L,R)  
-10dBs/5kΩ(不平衡)

出 力 端 子 RCAピンジャック(L,R)  
-6dBs/100Ω(不平衡)

ヘッドホン出力 3mW

パソコンとの接続 D-sub9ピンコネクター  
(RS-232C準拠)

MDレコーダーとの接続 10ピンコネクター(RS-485準拠)

電 源 AC100V50Hz/60Hz

消 費 電 力 15W(電気用品取締法基準)

使 用 温 度 範 囲 5～35℃

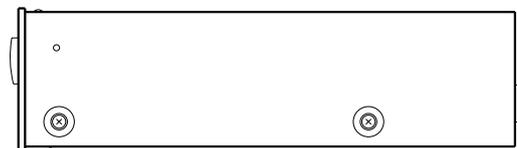
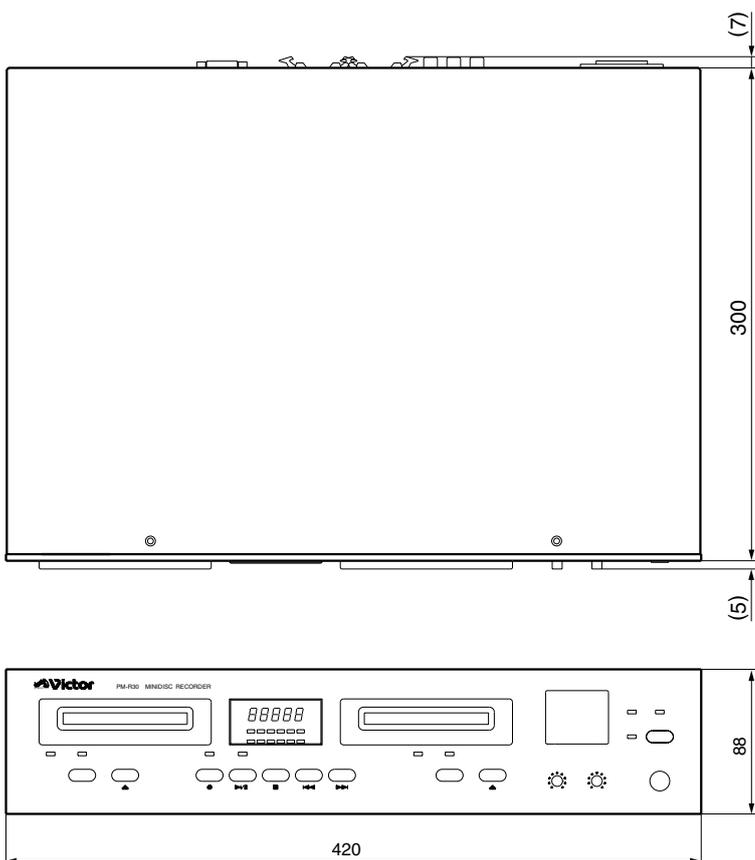
外 形 寸 法 幅420mm×高さ88mm×奥行300mm  
(突起物含まず)

仕 上 げ 黒色アルマイト仕上(マンセルN-1近似)

質 量 約5.9kg

付 属 品 RCAピンケーブル×1  
フラットケーブル(10P)×1  
電源コード×1  
ラックマウント金具×2  
(EIA19インチラック取り付け可能)  
M4ねじ×4、M5ねじ×4

### ■ 外観寸法図 単位:mm



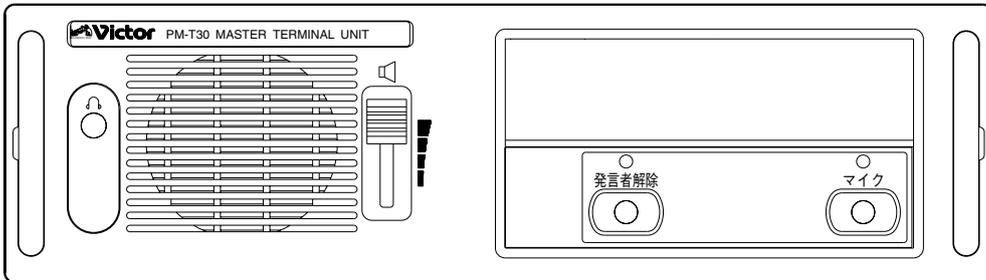


### 18.3 マスターターミナルユニット PM-T30(つづき)

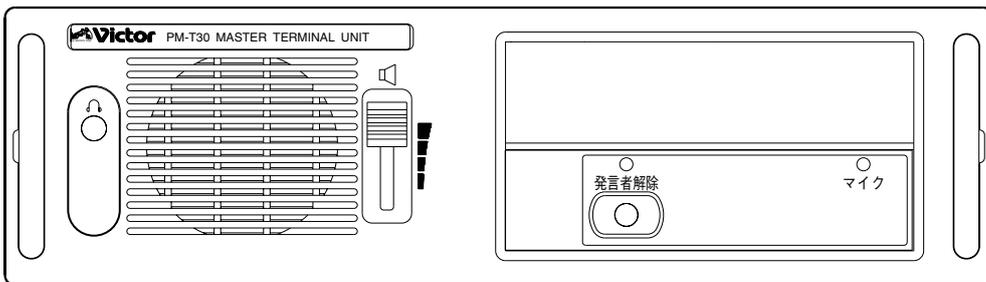
#### ■ パネルのバリエーション

設置時、付属のパネルシートを使用して操作部を以下のタイプに変えられます。

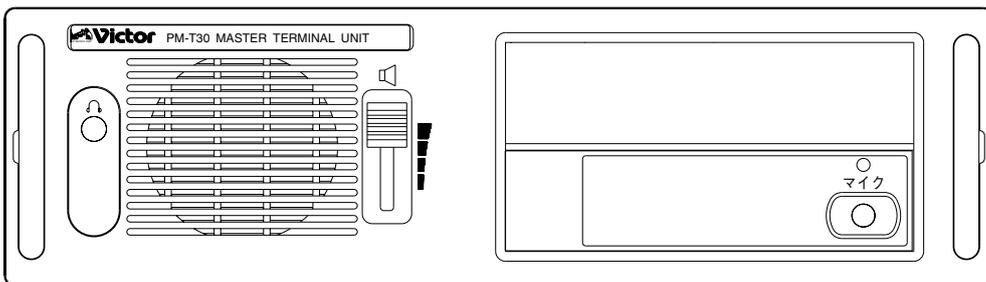
**タイプ A** 議長用標準 (出荷状態)



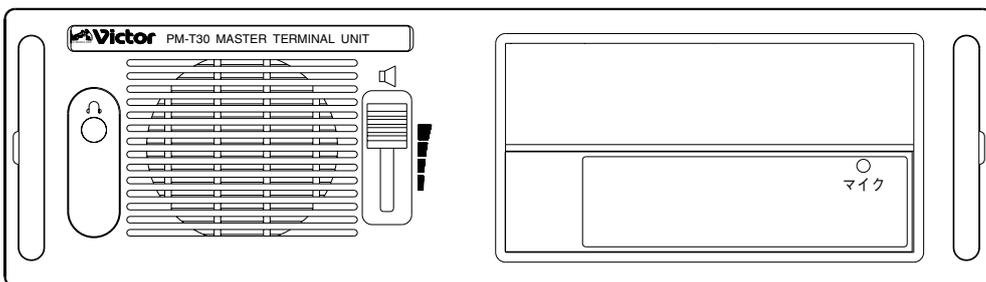
**タイプ B** 議長用 マイクボタンなし



**タイプ C** 演壇用標準



**タイプ D** 議長、演壇用 発言者解除ボタン、マイクボタンなし



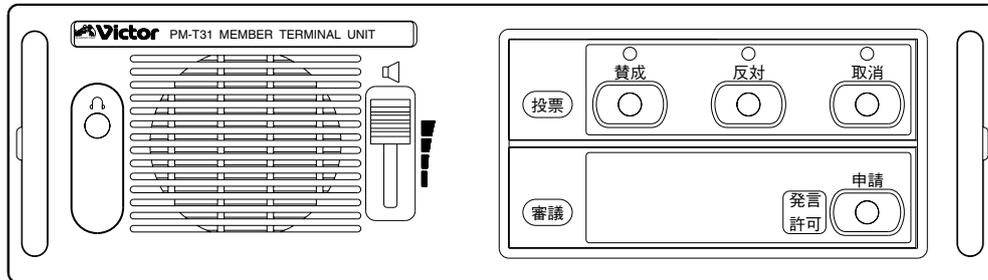


## 18.4 メンバーターミナルユニット PM-T31(つづき)

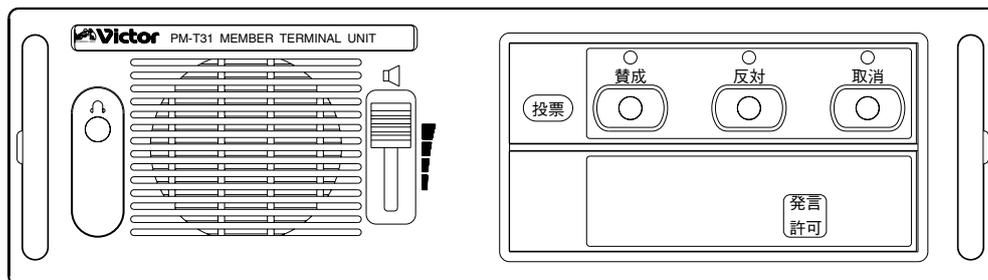
### ■ パネルのバリエーション

設置時、付属のパネルシートを使用して操作部を以下のタイプに変えられます。

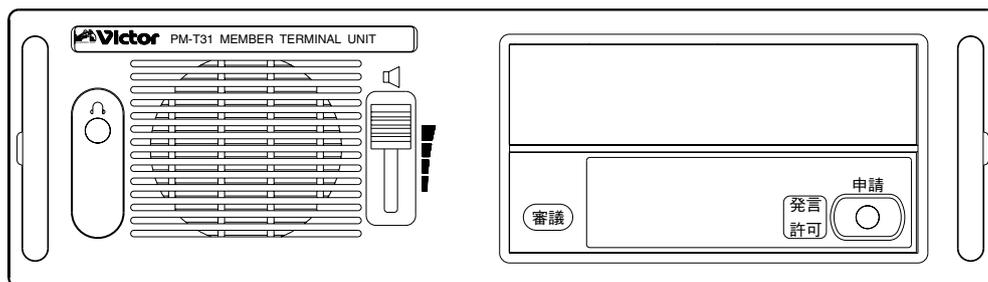
#### タイプA 議員用標準 (出荷状態)



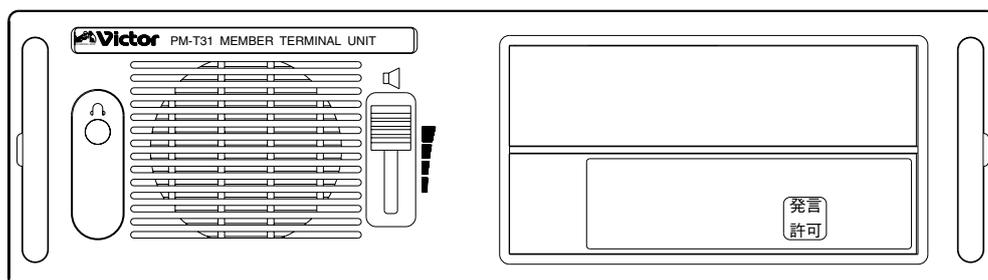
#### タイプB 議員用 挙手で発言要求



#### タイプC 議員用 投票なし 理事用標準



#### タイプD 議員用 投票なし、挙手で発言要求 理事用 挙手で発言要求

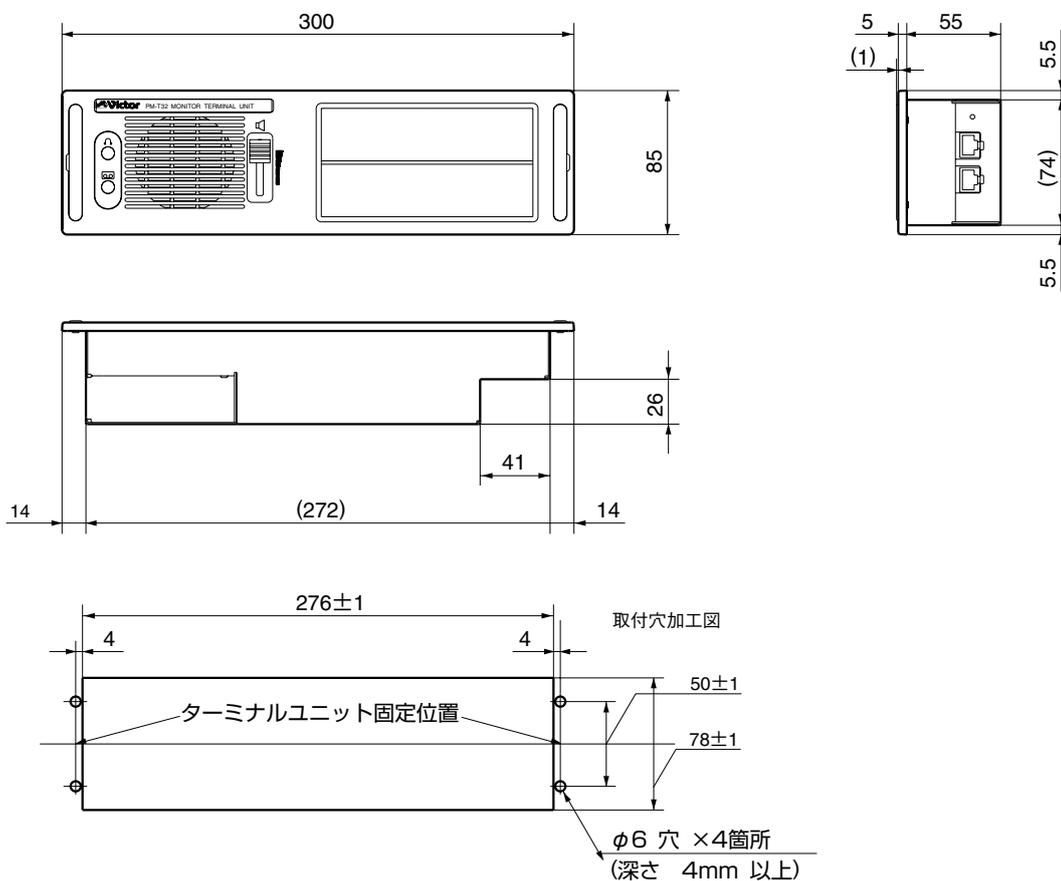


# 18.5 モニターターミナルユニット PM-T32

## ■ 定 格

会議ラインコネクター	8ピンモジュラーjack×2 (上り、下り)	音量調節器	付(ヘッドホン出力、モニター音量共用)
D C 電源	+24V、0V	周波数特性	ヘッドホン出力: 100Hz 0dB ±2dB、5kHz -1.5dB±2dB
マイク音声	H、C(電子平衡) 下り: +4dBs/10k $\Omega$ 入力 上り: +4dBs/100 $\Omega$ 出力	電 源	モニター、録音出力: 100Hz~10kHz 0dB±2dB
モニター音声	H、C(電子平衡) +4dBs/10k $\Omega$ 入力 (上り-下り間はスルー)	外形寸法	幅300mm×高さ60mm×奥行85mm
シリアル通信	RS-485準拠	仕 上 げ	ダークブルー(日塗工T69-20D (1999年版)近似) (マンセル10B2/2近似)
オーディオ部		質 量	0.8kg
録音出力	ミニジャック、0dBs/100 $\Omega$ 、不平衡	付属品	ジャックシート 木ねじ(M3.1)×2 ワイヤークランプ×2
ヘッドホン出力	ミニジャック、3mW(32 $\Omega$ 負荷時)		
モ ニ タ ー	0.3W		

## ■ 外観寸法図 単位: mm



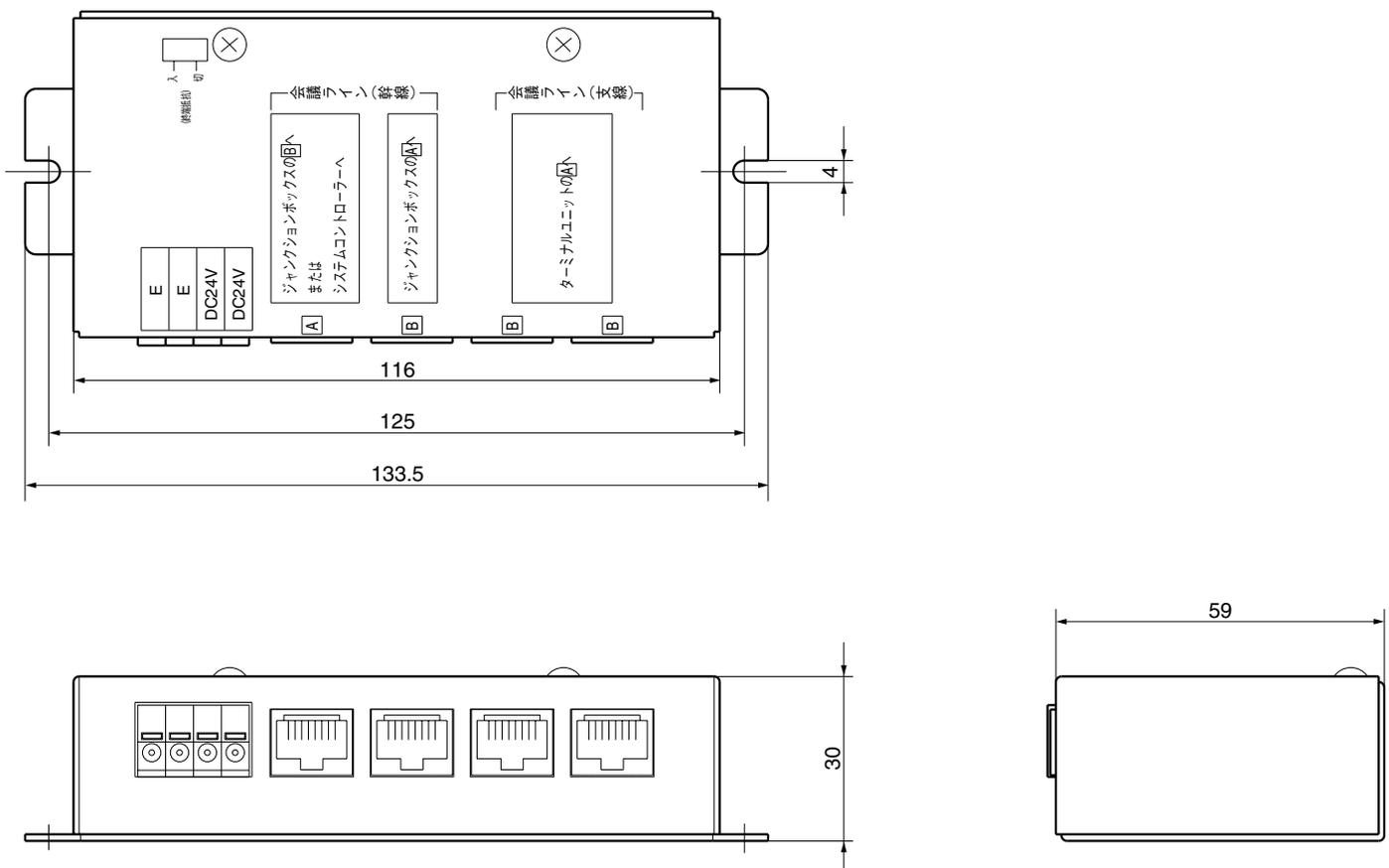
# 18.6 ジャンクションボックス PM-X30

## ■ 定 格

電源線コネクタ	スクリューレス端子 (+24V,0V 各2個)
会議ラインコネクタ	8ピンモジュージャック×4 (中継用×2、ターミナルユニット 用×2)
D C 電 源	+24V,0V
マ イ ク 音 声	H,C +4dBs(電子平衡)
モ ニ ター 音 声	H,C +4dBs(電子平衡)
シ リ アル 通 信	RS-485準拠
周 波 数 特 性	50Hz～15,000Hz ±2dB

電	源	DC24V、25mA
外	形	寸
法	法	幅116mm×高さ30mm×奥行59mm (突起物含まず)
仕	上	げ
質	量	垂鉛メッキ処理鋼板 0.26kg

## ■ 外観寸法図 単位:mm



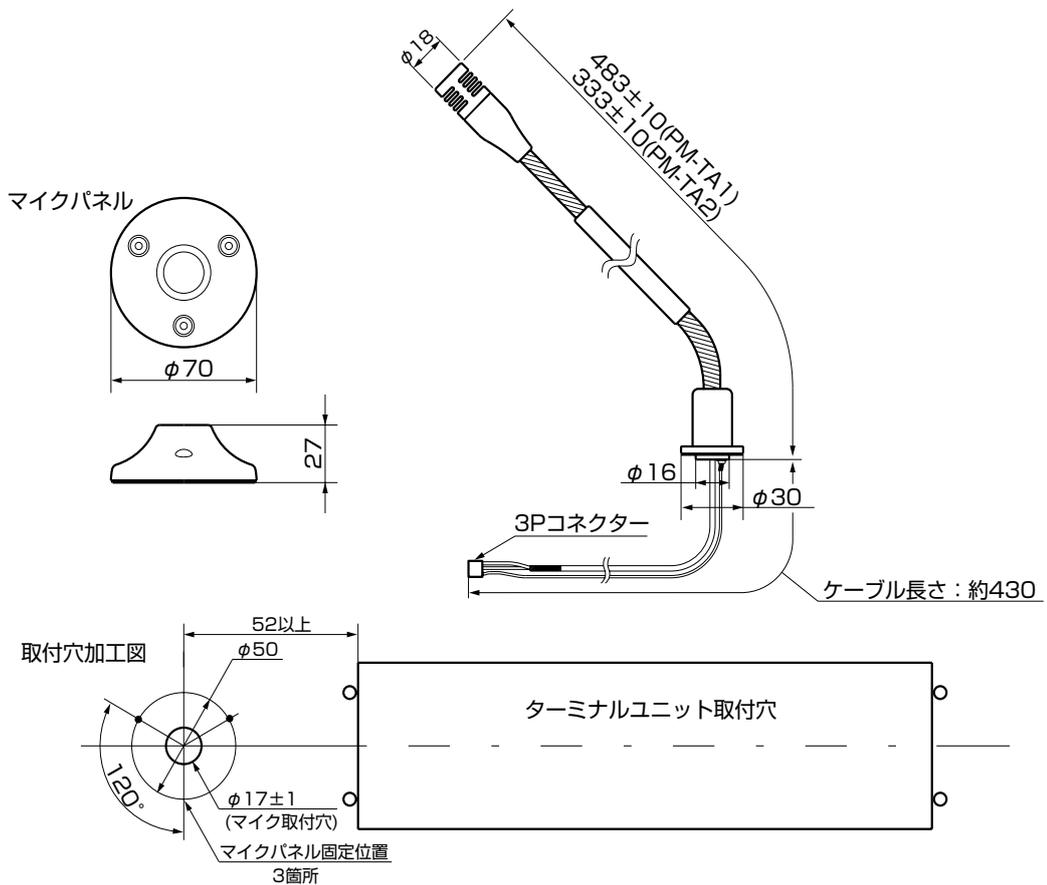
## 18.7 フレキシブルマイクロホン PM-TA1/TA2

### ■ 定格

<p>マイクユニット バックエレクトレット コンデンサー型</p> <p>指向性 単一指向性</p> <p>周波数特性 100Hz~18kHz</p> <p>出力インピーダンス 2.2kΩ (1kHz)</p> <p>感度 -38dB±3dB (0dB=1V/Pa, 1kHz)</p> <p>動作電圧 1.5V~9V</p>	<p>外形寸法 PM-TA1 φ70mm×483mm±10mm PM-TA2 φ70mm×333mm±10mm</p> <p>仕上げ 黒色艶消し焼付塗装</p> <p>質量 PM-TA1:250g PM-TA2:200g</p> <p>付属品 木ねじ(M3.1)×3 ねじかくし×3 風防×1 マイクパネル×1</p>
---	---

18

### ■ 外観寸法図 単位:mm

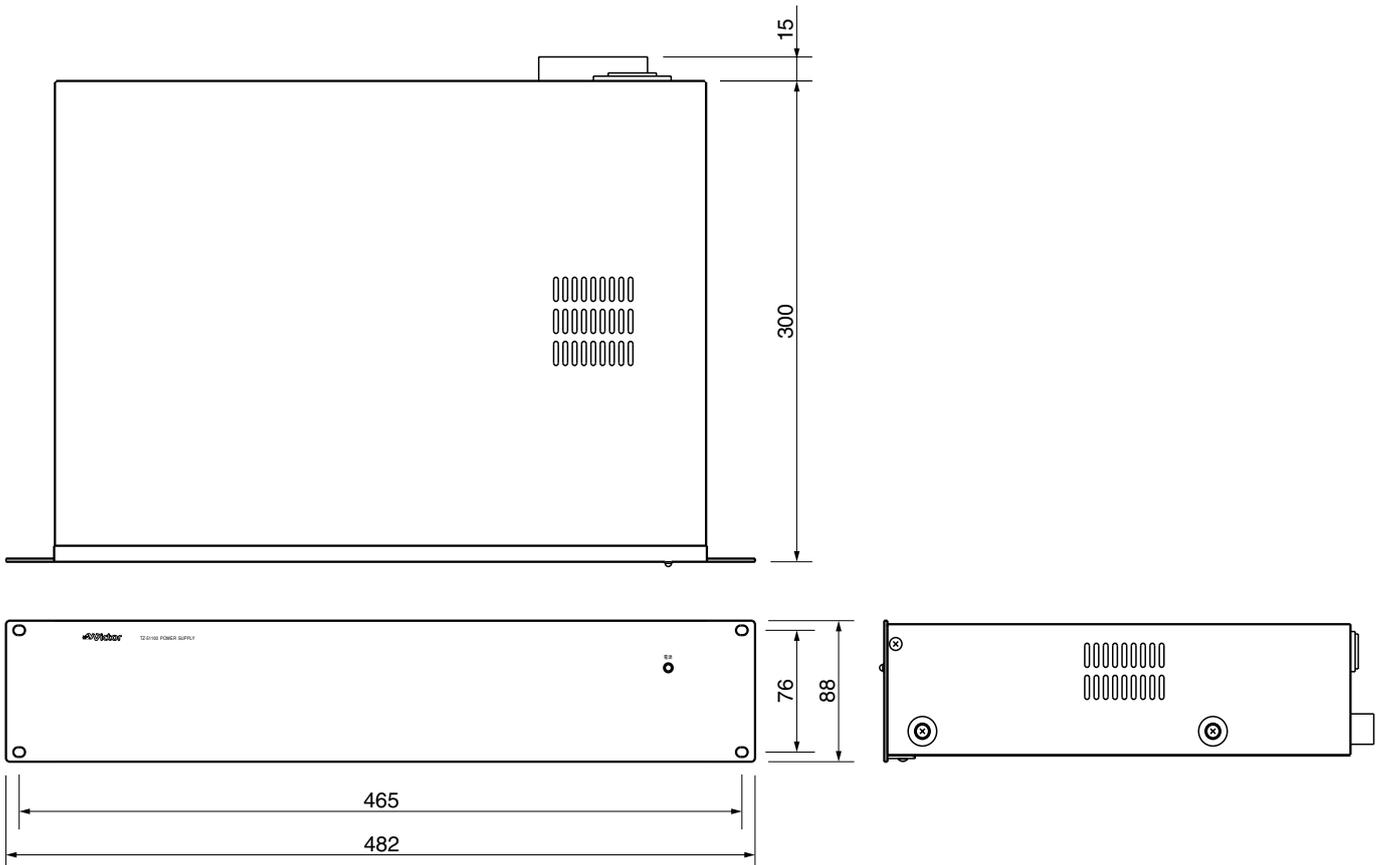


## 18.8 パワーサプライ TZ-51100

### ■ 定 格

出 力	端 子	会 議	ラ イン	出 力	DC+24V/5A
起 動	入 力	DC24V(2Pコネクター)			
電 源		AC100V	50Hz/60Hz		
消 費	電 力	120W(最大140W)			
外 形	寸 法	幅482mm×高さ88mm×奥行300mm			
		(突起物含まず)			
仕 上	げ	黒色半艶塗装仕上(マンセルN-1近似)			
質 量		約4.6kg			
付 属	品	電源コード×1			
		M5ねじ×4			
		2Pコード×1			

### ■ 外観寸法図 単位:mm



# 保証とアフターサービス

## ■保証書の記載内容ご確認と保存について

この商品は、ユニットごとに保証書を別途添付しております。保証書はお買い上げ販売店でお渡ししますので、所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。

## ■保証期間について

保証期間は、お買い上げの日より1年間です。保証書の記載内容により、お買い上げ販売店、保守点検業者、最寄のビクターサービス窓口が修理致します。その他、詳細は保証書をご覧ください。

## ■保証期間経過後の修理について

保証期間経過後の修理については、お買い上げ販売店、保守点検業者、最寄のビクターサービス窓口にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料にて修理致します。

## ■アフターサービスについてのお問合せ先

その他、アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げ販売店、保守点検業者、最寄のビクターサービス窓口にご相談ください。

## ■修理を依頼されるときは

お買い上げ販売店に次のことをお知らせください。

機種名（例、PM-M330等）
故障の状態をできるだけ詳しく
ご購入年月日
ご住所、ご氏名、電話番号

## ■廃棄について

この商品を廃棄する場合は、法令や地域の条例に従って適切に処理してください。

お客様ご相談センター

フリーダイヤル



0120-2828-17

携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は

電話 **(045)450-8950** [代表]

FAX **(045)450-2275**

〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3-12

日本ビクター株式会社

プロシステムカンパニー

〒192-8620 東京都八王子市石川町2969-2

電話(0426)60-7203